はじめに

このマニュアルでは、認証印刷ユニット SecureLoginPrint（XL-SE100F）（以降本製品）を設置した後に行う作業を説明しています（まだ設置や接続が終わっていない場合は、添付の『はじめにお読みください』をご覧になり、設置を行ってください）。設置後に必要な作業は、IP アドレスの設定、ドライバやソフトウェアのインストール、印刷のための設定です。また、上記以外の情報として、本製品の管理方法やトラブルシューティングを記載していますので、必要に応じてご覧ください。

このマニュアルの構成

このマニュアルの記載内容は次のとおりです。

表：このマニュアルの構成

内容
設置後のセットアップを行う際にお読みください
第 1 章　お使いになる前に 本製品に添付されているソフトウェアの概要、インストール手順の流れ、認証方式などについて説明しています。
第 2 章　IP アドレスの設定 「IP アドレス設定ユーティリティ」を使用し、ネットワークに接続した本製品に IP アドレスを設定する方法を説明しています。
第 3 章　ドライバのインストール 指紋センサードライバをインストールする方法を説明しています。
第 4 章　ソフトウェアのインストール 本製品に接続して印刷するためのソフトウェア（「SecureLoginPrint ソフトウェア」）をインストールする方法を説明しています。
第 5 章　設定と印刷 ポートを追加し、実際に印刷を行う方法を説明しています。
運用開始後、必要に応じてお読みください
第 6 章　ソフトウェアの機能と利用方法 本製品に接続して印刷するためのソフトウェア（「SecureLoginPrint ソフトウェア」）の機能や利用方法を説明しています。
第 7 章　Web ブラウザを使用した管理 本製品に内蔵されている Web サーバー機能を利用して、Web ブラウザ画面から本製品を管理する方法を説明しています。
第 8 章　こんなときには 本製品が発するメッセージや、本体前面のステータスランプの表示内容について説明しています。

このマニュアルの表記について

■本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

表：本文中で使用する記号

記号	内容
重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照先を記述しています。
	印刷されたマニュアル（紙のマニュアル）を表しています。
	CD-ROM を表しています。

■製品などの呼び方について

本書では製品名称などを、次のように略して表記しています。

表：製品名称の表記

製品名称	このマニュアルでの表記	
Windows Vista® Ultimate	Windows Vista	Windows
Windows Vista® Enterprise		
Windows Vista® Business		
Windows Vista® Home Premium		
Windows Vista® Home Basic		
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP	
Microsoft® Windows® XP Home Edition		
Windows® Internet Explorer® 7	Internet Explorer 7	
Microsoft® Internet Explorer 6.0	Internet Explorer 6.0	
バイオ認証装置 SecureLoginBox（FMSE-C301）	FMSE-C301	SecureLoginBox
増設用バイオ認証装置 SecureLoginBox（FMSE-C3A1）	FMSE-C3A1	

■画面例、イラストについて

・このマニュアルに掲載されている画面例の IP アドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。
・OS によっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。

■商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Adobe、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2006-2008

目次

はじめに 1
このマニュアルの構成 1
このマニュアルの表記について 2

第 1 章　お使いになる前に

1 本製品の動作環境 8
2 添付 CD-ROM のご紹介 9
3 ソフトウェアの機能概要 11
4 インストール手順の概要 13
5 3 つの認証方式 14
シングル認証モード 14
ダブル認証モード 15
SecureLoginBox 連携認証モード 16
6 SecureLoginPrint の管理者について 18

第 2 章　IP アドレスの設定

1 IP アドレス設定の概要 22
2 1 台ずつ設定する場合 24
3 複数台をまとめて設定する場合 29

第 3 章　ドライバのインストール

1 指紋センサードライバのインストール 34
2 ドライバの確認を行う 36

第 4 章　ソフトウェアのインストール

1 新規インストールと管理者情報の登録 40
2 コンポーネントの変更／修正／削除 54

第 5 章　設定と印刷

1 ポートの追加 60
ポートの追加 60
2 印刷手順 69
シングル認証モードでの印刷 69
ダブル認証モードでの印刷 71
SecureLoginBox 連携認証モードでの印刷 72

第 6 章　ソフトウェアの機能と利用方法

1 SecureLoginPrint Port 74
機能 74
ポートの詳細設定 74
ポートの削除 78
2 SecureLoginPrint JobService ／ SecureLoginPrint エージェント 81
機能と使い方 81
3 SecureLoginPrint ジョブマネージャ 86
機能と起動方法 86
画面の構成 88
4 管理者の変更 92

第 7 章　Web ブラウザを使用した管理

1 Web サーバー機能の概要 98
「SecureLoginPrint Internet Service」の概要 98
動作環境 98
設定できる項目の一覧 99
2 Web サーバー機能の使い方 101
表示方法 101
画面の構成 103
基本操作 104
3 各画面の詳細 109
装置情報 109
接続クライアント一覧（管理者モードのみ） 110
情報更新設定 111
基本情報 112
SNMP 情報 113
ネットワークサービス（管理者モードのみ） 115
管理者情報（管理者モードのみ） 119
システム情報（管理者モードのみ） 120
ログ情報（管理者モードのみ） 122
バージョン情報 123
保守機能（管理者モードのみ） 124
迂回印刷設定（管理者モードのみ） 128
迂回印刷（管理者用）（管理者モードのみ） 129

第 8 章　こんなときには

1 よくあるトラブルと解決のチェックポイント 132
2 メッセージ一覧 148
3 ステータスランプ表示一覧 167
4 ご購入時の状態に戻すには 171
5 指紋センサーの使い方 172
スライドのさせ方 172
使用上の注意 174

索引 176

1

第 1 章

お使いになる前に

本製品に添付されているソフトウェアの概要、インストール手順の流れ、認証方式などについて説明します。

1 本製品の動作環境 8
2 添付 CD-ROM のご紹介 9
3 ソフトウェアの機能概要 11
4 インストール手順の概要 13
5 3 つの認証方式 14
6 SecureLoginPrint の管理者について 18

1 本製品の動作環境

本製品がサポートする環境は次のとおりです。本製品をお使いになる前にご確認ください。

表：本製品の動作環境

項目	サポート内容
サポート OS	Windows Vista® Ultimate Windows Vista® Enterprise Windows Vista® Business Windows Vista® Home Premium Windows Vista® Home Basic Microsoft® Windows® XP Professional Microsoft® Windows® XP Home Edition
サポート指紋センサー	**本体側** 本体に接続できるのは、添付の指紋センサーのみです。 **パソコン側** パソコンに外付けする指紋センサー、またはパソコン内蔵指紋センサーのうち、本製品で使用できるものは次のとおりです。 ・添付の指紋センサー ・指紋認識装置 Fingsensor（FS-300U）（別売） ・FMV-LIFEBOOK（2005 年 4 月以降発表のモデル）内蔵のスライド方式の指紋センサー なお、指紋センサードライバは次の版数である必要があります。 指紋センサードライバ AuthenTec 指紋センサードライバ バージョン 7.8.1.7D 以降 （AuthenTec 指紋センサードライバ バージョン 7.8.1.7D は、「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウの「指紋センサードライバ」メニューよりインストールできます）
SecureLoginBox（バイオ認証装置）	FMSE-C301、または FMSE-C301 ＋ FMSE-C3A1 の組み合わせ（別売） （SecureLoginBox 連携認証モードで使用するためには、Windows Vista の場合は「SMARTACCESS/Premium V2.0L10 以降」を、Windows XP の場合は「SMARTACCESS/Premium V1.1L30 以降」を別途ご用意いただき、パソコンにインストールしておく必要があります）
サポート接続数	最大接続数：20 台 最大認証数：10 台 （20 台のパソコンから同時に印刷した場合、11 台目以降は待ち状態になり認証は行えません）

重要

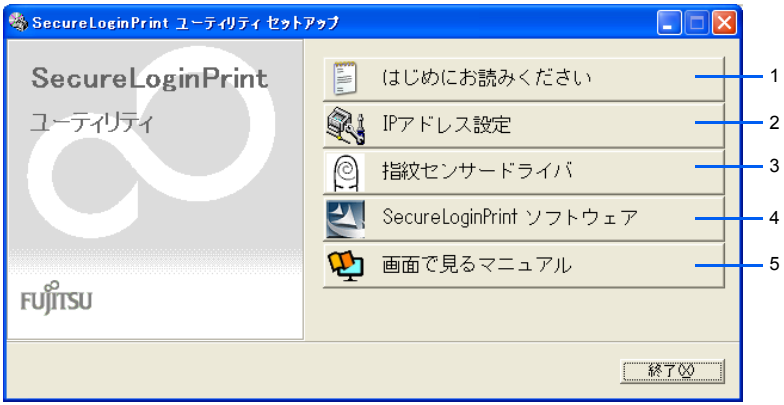
・本製品をお使いの場合、XL シリーズプリンタがサポートする Printianavi 機能はご利用になれません。あらかじめご了承ください。

2 添付 CD-ROM のご紹介

本製品には「SecureLoginPrint ユーティリティ」CD-ROM が添付されています。この CD-ROM には、認証印刷を行うために必要な各種ソフトウェアが収録されています。

■「SecureLoginPrint ユーティリティ」のメニュー

◎「SecureLoginPrint ユーティリティ」をパソコンにセットすると、次の「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。ウィンドウのメニューから、ソフトウェアのインストールなどが行えます。



1 はじめにお読みください

CD-ROM に収録されているソフトウェアの留意事項が表示されます。

2 IP アドレス設定

「IP アドレス設定ユーティリティ」を起動します。

本製品の IP アドレスを設定／変更するときに起動してください。「IP アドレス設定ユーティリティ」を使用して本製品に IP アドレスを設定する方法については、「IP アドレスの設定」（→ P.21）をご覧ください。

3 指紋センサードライバ

指紋センサードライバをインストールします。

本製品に添付されている指紋センサーをパソコンに接続して使用する場合は、必ずインストールしてください。インストール方法は、「指紋センサードライバのインストール」（→ P.34）をご覧ください。

4 SecureLoginPrint ソフトウェア

「SecureLoginPrint Port」および「IP アドレス設定ユーティリティ」をインストールします。

本製品を使用して認証印刷を行う場合は、必ずインストールしてください。インストール方法は「ソフトウェアのインストール」(→ P.39) を、使用方法は「ソフトウェアの機能と利用方法」(→ P.73) をご覧ください。

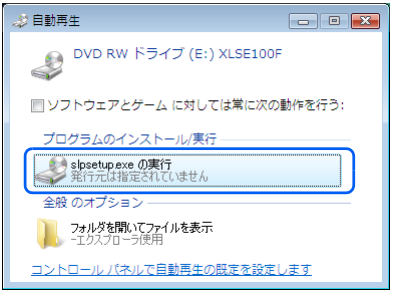
5 画面で見るマニュアル

「画面で見るマニュアル」を選択するウィンドウが表示されます。

POINT

・「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「SLPSETUP.EXE」をダブルクリックしてください。「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが表示されます。

・Windows Vista の場合、自動再生時や「SLPSETUP.EXE」をダブルクリックしたときに、次の「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「SLPSETUP.EXE」であることを確認し、「slpsetup.exe の実行」をクリックしてください。



3 ソフトウェアの機能概要

◎「SecureLoginPrint ユーティリティ」には、次のソフトウェアが収録されています。
ここでは、SecureLoginPrint 関連ソフトウェアの機能概要を説明します。

□ SecureLoginPrint ソフトウェア

表：SecureLoginPrint ソフトウェアの機能

名称	機能	対応 OS	対応パソコン
SecureLoginPrint Port	本製品に接続して印刷するためのソフトウェアです。ポートモニタや印刷したジョブを管理するユーティリティで構成されています。	Windows Vista Windows XP	FMV シリーズ
IPアドレス設定ユーティリティ	本製品の IP アドレスを設定します。	Windows Vista Windows XP	FMV シリーズ

重要

・「SecureLoginPrint ソフトウェア」は、Guests 権限のアカウントでは使用できません。本製品を使用した印刷を行うには、Users 権限以上のアカウントが必要です。
各権限で使用できる機能は次のとおりです。

表：各権限で使用できる機能

権限	「SecureLoginPrint ソフトウェア」のインストール・アンインストール」	管理者の変更	ポートの作成・構成・削除
Administrators	○（可能）	○（可能）	○（可能）
Power Users [注 1]	×（不可）	×（不可）	×（不可）
Users	×（不可）	×（不可）	×（不可）
Guests	×（不可）	×（不可）	×（不可）

表：各権限で使用できる機能

権限	SecureLoginPrint Port 経由での認証印刷	SecureLoginPrint ジョブマネージャ	IP アドレス設定ユーティリティ
Administrators	○（可能）	○（可能）	○（可能）
Power Users [注 1]	○（可能）	○（可能）	○（可能）
Users	○（可能）	○（可能）	○（可能）
Guests	×（不可）	×（不可）	○（可能）

注1　Windows XP のみ（Windows Vista には、Power Users 権限はありません）

・「SecureLoginPrint ソフトウェア」をインストールできるパソコンは、最大 20 台です。
・「SecureLoginPrint Port」を印刷先に設定したプリンタは、共有プリンタとしての運用は行えません（共有先のクライアントから指紋入力・認証が行えません）。

□ 指紋センサードライバ

本製品に添付されている指紋センサーを、パソコンに接続する際に使用するドライバです。指紋認識装置 Fingsensor（FS-300U）（別売）、FMV シリーズのノートパソコンに内蔵されているスライド方式の指紋センサーを使用する場合は、「本製品の動作環境」（→ P.8）をご覧になり、記載されている版数の指紋センサードライバを使用してください。

POINT

・本製品がサポートする指紋センサーについて、詳しくは「本製品の動作環境」（→ P.8）をご覧ください。

■ ソフトウェアや本製品に関する情報の入手方法

最新版の「SecureLoginPrint ソフトウェア」は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/ac001.html）からダウンロードできます。
また、富士通製品情報ページではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供していますので、必要に応じてご覧ください。

POINT

・上記 URL は、このマニュアルの発行時点のものです。
・添付の「SecureLoginPrint ユーティリティ」には、本製品出荷時点での最新版が収められており、富士通製品情報ページからダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのソフトウェアのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

4 インストール手順の概要

本製品設置後のインストール作業は、次の手順で行います。

1 IP アドレスの設定

「IP アドレス設定ユーティリティ」を使用し、ネットワークに接続した本製品に IP アドレスを設定します。本製品が 1 台のみの場合と、複数台ある場合で設定方法が異なります。
設定方法は、「IP アドレスの設定」（→ P.21）をご覧ください。

2 ドライバのインストール

指紋センサードライバのインストールを行います。
指紋センサーの種類により、インストールする指紋センサードライバが異なります。

- 本製品に添付の指紋センサーを接続する場合
  「SecureLoginPrint ユーティリティ」からインストールしてください。インストール方法は、「ドライバのインストール」（→ P.33）をご覧ください。
- 指紋認識装置 Fingsensor（FS-300U）（別売）、FMV シリーズのノートパソコンに内蔵されているスライド方式の指紋センサーを使用する場合
  「本製品の動作環境」（→ P.8）をご覧になり、記載されている版数の指紋センサードライバを使用してください。

3 ソフトウェアのインストール

本製品に接続して印刷するためのソフトウェア（「SecureLoginPrint ソフトウェア」）をインストールします。また、管理者情報の登録も行います。
インストール方法は、「ソフトウェアのインストール」（→ P.39）をご覧ください。
重要：
「SecureLoginBox 連携認証モード」（→ P.16）を使用する場合は、「SecureLoginPrint ソフトウェア」のインストール前に次の操作を行ってください。

1. SecureLoginBox へのユーザー情報の登録
   「ユーザー ID」と「バイオパスワード」は SecureLoginBox の管理者にご確認ください。
2. 「SMARTACCESS/Premium」のインストール
   Windows Vista の場合は「SMARTACCESS/Premium V2.0L10 以降」を、Windows XP の場合は「SMARTACCESS/Premium V1.1L30 以降」をインストールしてください。
3. 「SMARTACCESS/Premium」の SecureLoginBox 連携の設定
4. SecureLoginBox への指紋特徴データの登録

［注］1. について、詳しくは SecureLoginBox の各マニュアルをご覧ください。
［注］2. から 4. について、詳しくは「SMARTACCESS/Premium」の各マニュアルをご覧ください。

4 設定と印刷

ポートの追加を行い実際に印刷を行います。
設定方法と印刷方法は、「設定と印刷」（→ P.59）をご覧ください。

5 3 つの認証方式

本製品では、「シングル認証モード」「ダブル認証モード」「SecureLoginBox 連携認証モード」の 3 つの認証方式を選択できます。認証方式により、用意する機器、設定方法、印刷手順が異なります。

重要

・「SecureLoginPrint ソフトウェア」は、最大 20 台のパソコンにインストールできますが、同時に認証／印刷を行えるのは 10 台です（20 台のパソコンから同時に印刷した場合、11 台目以降は待ち状態になり認証は行えません）。

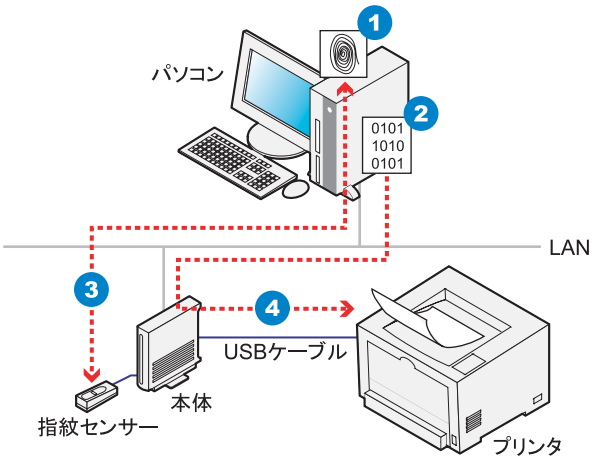
シングル認証モード

パソコンに指紋特徴データを事前に登録しておき、印刷時に入力された指紋特徴データと照合を行うモードです。パソコンと本製品のみで運用可能なため、低コストで印刷セキュリティを導入したい場合に最適です。

POINT

・パソコンに指紋センサーがない場合は、本製品添付の指紋センサーを接続して指紋特徴データを登録できます。

■接続形態と処理の流れ



1 パソコンに指紋特徴データを事前に登録しておきます。
2 アプリケーションから印刷を実行すると、印刷データがパソコンに一時保存されます。
3 指紋センサーで指をスライドさせ、認証を実行します。
4 印刷データが送信されます。

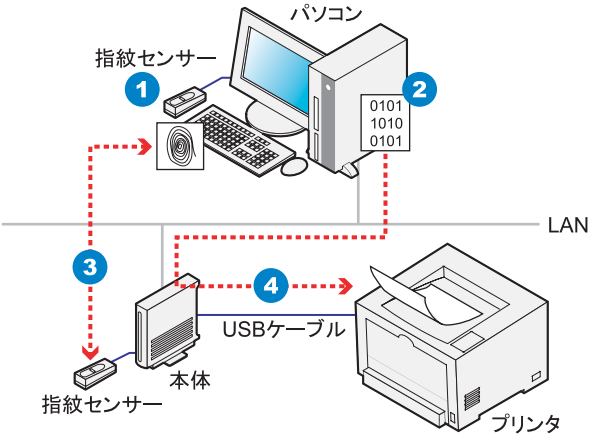
ダブル認証モード

印刷のたびに、パソコン側とプリンタ側の両方で指紋入力を行い、両者の指紋特徴データが一致した印刷データのみ出力するモードです。
パソコン側に指紋センサーが常に必要となりますが、パソコンに指紋特徴データを残したくない場合や、不特定多数のユーザーがプリンタを利用する環境に最適です。

重要

・パソコン側での指紋入力をサポートしている指紋センサーは、次の 2 種類です。他の指紋センサーは本製品では使用できません。
・指紋認識装置 Fingsensor（FS-300U）（別売）
・FMV シリーズのノートパソコンに内蔵されている、スライド方式の指紋センサー（詳しくは、「本製品の動作環境」（→ P.8）をご覧ください）

■接続形態と処理の流れ



1 アプリケーションから印刷を実行した後、パソコン側の指紋センサーで指をスライドさせて、指紋特徴データを入力します。
2 印刷データがパソコンに一時保存されます。
3 本製品側の指紋センサーで指をスライドさせ、認証を実行します。
4 印刷データが送信され、パソコンの指紋特徴データが削除されます。

SecureLoginBox 連携認証モード

別売の SecureLoginBox（FMSE-C301、または FMSE-C301 ＋ FMSE-C3A1 の組み合わせ）と連携し、SecureLoginBox で管理されている指紋特徴データと照合を行うモードです。
印刷時にプリンタ側で指紋入力を行い、SecureLoginBox の登録データと認証を行うことで、より強固なセキュリティ管理ができます。
指紋のデータを安全に一括管理し、Windows ログオンから印刷までを含めた総合的なセキュリティ対策を実施したい場合に最適です。

重要

・本製品を SecureLoginBox 連携認証モードで使用する場合は、インストール開始前に次の操作を行ってください。

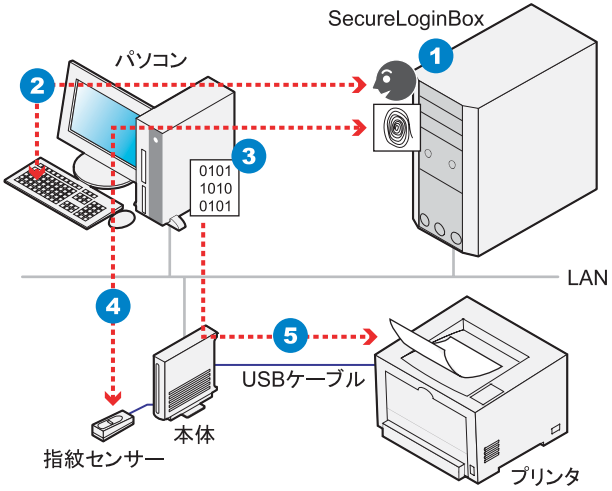
1. SecureLoginBox へのユーザー情報の登録
   「ユーザーID」と「バイオパスワード」は SecureLoginBox の管理者にご確認ください。
2. 「SMARTACCESS/Premium」のインストール
   Windows Vista の場合は「SMARTACCESS/Premium V2.0L10 以降」を、Windows XP の場合は「SMARTACCESS/Premium V1.1L30 以降」をインストールしてください。
3. 「SMARTACCESS/Premium」の SecureLoginBox 連携の設定
4. SecureLoginBox への指紋特徴データの登録

［注］1. について、詳しくは SecureLoginBox の各マニュアルをご覧ください。
［注］2. から 4. について、詳しくは「SMARTACCESS/Premium」の各マニュアルをご覧ください。

POINT

・本製品は、SecureLoginBox と連携する際、ユーザー名と指紋特徴データを併用してデータベース上のデータと照合する 1:1 認証モードで動作します。

■接続形態と処理の流れ



1 SecureLoginBox に事前にユーザー登録しておきます。
ユーザー登録方法は、SecureLoginBox、「SMARTACCESS/Premium」の各マニュアルをご覧ください。

2 アプリケーションから印刷を実行した後に、SecureLoginBoxに登録したユーザー名を入力します。

3 印刷データがパソコンに一時保存されます。

4 指紋センサーで指をスライドさせ、SecureLoginBox と認証を実行します。

5 印刷データが送信されます。

6 SecureLoginPrint の管理者について

ポートの追加や「SecureLoginPrint ソフトウェア」の削除などは、SecureLoginPrint の管理者のみが行えます。ここでは、SecureLoginPrint の管理者の権限について説明します。

☐ 管理者権限の登録

「SecureLoginPrint ポート」のインストール時に管理者情報の登録を行います。本製品で印刷を行うためには、管理者の登録が必要となります。

「SecureLoginPrint ソフトウェア」のインストールと管理者の登録方法は、「ソフトウェアのインストール」（→ P.39）をご覧ください。

☐ 管理者の権限

SecureLoginPrint の管理者は、次のことができます。

- 「SecureLoginPrint Port」の追加、詳細設定
  詳しくは、「ポートの追加」（→ P.60）、「SecureLoginPrint Port」（→ P.74）をご覧ください。
- すべてのポートの未印刷ジョブを削除
  詳しくは、「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」（→ P.86）をご覧ください。
- すべてのポートのジョブ履歴を確認
  詳しくは、「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」（→ P.86）をご覧ください。
- 「SecureLoginPrint Port」の削除
  詳しくは、「ポートの削除」（→ P.78）をご覧ください。
- 管理者情報の変更
  詳しくは、「管理者の変更」（→ P.92）をご覧ください。

□ 管理者の認証

管理者の権限を利用して上記作業を行う場合は、管理者であることを確認するために認証が必要です。

次のウィンドウが表示されたら、登録された指で指紋入力を行います（表示されるウィンドウは、「新規インストールと管理者情報の登録」（→ P.40）の手順 9（→ P.44）の選択内容により異なります）。

■「このパソコンに管理者を登録する」選択時



■「SecureLoginBox より管理者を選択する」選択時



Memo

2

第 2 章

IP アドレスの設定

「IP アドレス設定ユーティリティ」を使用し、ネットワークに接続した本製品に IP アドレスを設定する方法を説明します。

1 IP アドレス設定の概要 22
2 1 台ずつ設定する場合 24
3 複数台をまとめて設定する場合 29

1 IP アドレス設定の概要

◎「SecureLoginPrint ユーティリティ」に収録されている「IP アドレス設定ユーティリティ」を使用すると、ネットワークに接続した本製品に IP アドレスを設定することができます。

重要

・IP アドレスを再設定する場合は、設定前に本製品の初期化を必ず行ってください（→ P.171）。

■設定方法の種類

IP アドレスを設定する方法には、次の 2 つがあります。

・手動設定
「IP アドレス設定ユーティリティ」を利用し、本製品に IP アドレスを直接設定します。

・自動取得設定
ネットワークが DHCP で運用されている場合は、本体に AC アダプタを接続して電源を入れたときに、DHCP サーバーから自動的に取得します。

ご使用の環境に合わせて、いずれかの方法を選択してください。

■「IP アドレス設定ユーティリティ」による設定を行う

「IP アドレス設定ユーティリティ」を利用すると、次のことができます。

・本製品の一覧表示
ネットワークに接続されている本製品を自動検索し、一覧で表示します。

・IP アドレスの設定
一覧ウィンドウから選択した本製品に対し、IP アドレスの設定を行います。

・1 台ずつ、または複数台をまとめて設定
本製品が複数台ある場合に、1 台ずつ設定することも、複数台をまとめて設定することもできます。

□ 準備

IP アドレスを設定する前に、次のことを確認してください。

表：確認事項

確認事項	内容
IP アドレス	本製品に設定する IP アドレス、サブネットマスクを用意しておきます。必要に応じてゲートウェイアドレスも用意してください。
環境	本製品をネットワークに接続し、AC アダプタを接続してください。DHCP による自動取得設定を行う場合は、ネットワーク上に DHCP サーバーが必要です。

POINT

・「IP アドレス設定ユーティリティ」は、「SecureLoginPrint ソフトウェア」をインストールして、パソコンから起動することもできます。
・弊社製プリンタXLシリーズに添付されている、「IPアドレス設定ユーティリティ2」「Printianaviネットワークマネージャ」は使用できません。

2 1 台ずつ設定する場合

IP アドレスを 1 台ずつ設定する方法を説明します。複数台をまとめて設定したい場合は、「複数台をまとめて設定する場合」（→ P.29）をご覧ください。

POINT

- IP アドレスを初めて設定する場合は、同一セグメントに接続したパソコンから設定を行ってください。IP アドレスを設定していないと、別のセグメントからは本製品を検索できません。
- Windows XP（SP2 以降）がインストールされていて検索時に本製品が検出されない、または別のセグメントに接続されている本製品の検索、IP アドレスの変更を行う場合は、「IP アドレス設定ユーティリティ」が Windows ファイアウォールにブロックされないよう、例外設定を行う必要があります。設定手順については、「Windows XP（SP2 以降）使用時の例外設定」（→ P.133）をご覧ください。

1 「SecureLoginPrint ユーティリティ」をセットします。

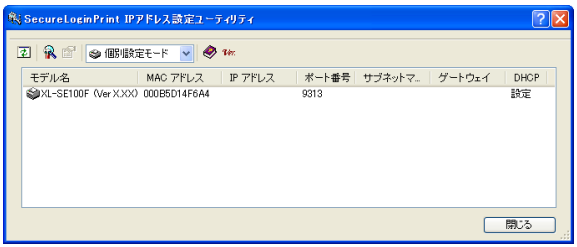
「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- 「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「SLPSETUP.EXE」をダブルクリックしてください。「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが表示されます。
- Windows Vista の場合、自動再生時や「SLPSETUP.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「SLPSETUP.EXE」であることを確認し、「slpsetup.exe の実行」をクリックしてください。

2 メニューから「IP アドレス設定」をクリックします。

「IP アドレス設定ユーティリティ」が起動します。ネットワーク上の本製品が自動検索され、次のウィンドウのように一覧表示されます。



DHCP による自動設定で、DHCP が「設定」になっており、すでに IP アドレスが正しく設定されている場合は以降の設定の必要はありません。「閉じる」をクリックし、「IP アドレス設定ユーティリティ」を終了してください。

■ IP アドレス設定済みの本製品が別のセグメントに接続されていて、一覧に表示されない場合

次の手順で検索範囲を設定し、一覧に表示されるようにします。

1. 一覧ウィンドウの をクリックします。
2. 検索範囲を入力し、「追加」をクリックします。



表：設定項目一覧

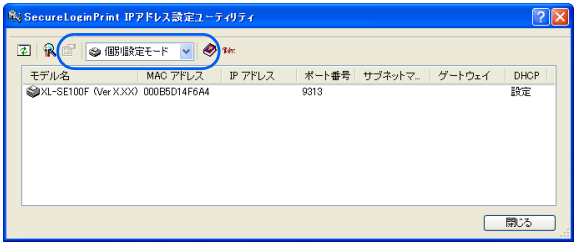
No.	設定項目	説明
1	ローカルネットワークを指定	検索範囲をローカルネットワークに設定する場合に選択します。
2	検索範囲を指定	検索範囲の指定を行う場合に選択します。
3	ネットワークアドレス	本製品の検索範囲に追加するネットワークアドレスを指定します。「0.0.0.0」および「255.255.255.255」は指定できません。
4	サブネットマスク	本製品の検索範囲に追加するサブネットマスクを指定します。「255.255.255.255」は指定できません。
5	検索ポート番号	本製品の検索範囲に追加するポート番号です(「9313」固定)。
6	検索時間	本製品の検索時間（タイムアウト時間）を設定します。 設定範囲：5 ～ 30 秒（初期設定：5 秒）
7	削除	アドレスリストで選択した項目を削除し、1 ～ 6 に反映します。
8	追加	1 ～ 6 で指定した内容を、アドレスリストに追加します。すでに登録されているアドレスを指定した場合は、無効です。

3. 「OK」をクリックした後、をクリックします。

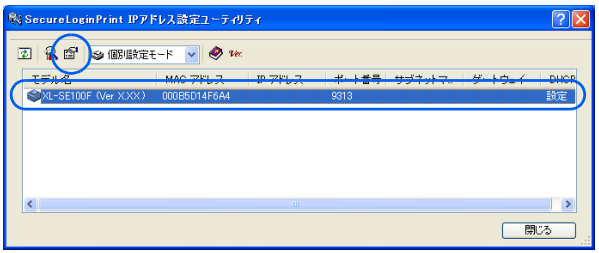
POINT

- ローカルネットワークを追加する場合、「検索時間」のみ入力できます。
- ローカルネットワーク（***.***.***.***）の最後の 1 つを削除することはできません。

3 「個別設定モード」が選択されていることを確認します。

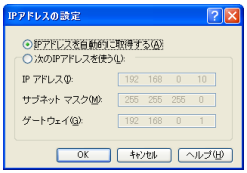


4 一覧から IP アドレスを設定する本製品をクリックし、をクリックします。

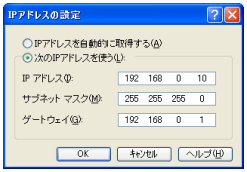


5 IP アドレスを設定し、「OK」をクリックします。

■ 自動取得の場合



■ 手動設定の場合



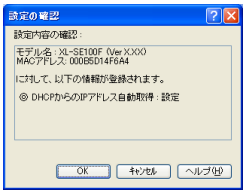
手動設定を選択したときは、各アドレスを指定します。ゲートウェイは省略できます。入力には、次の制限があります。

表：入力内容の制限

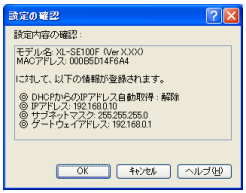
設定項目	制限の内容
IP アドレス	「0.0.0.0」、「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。
サブネットマスク	「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。
ゲートウェイ	空白を含むアドレスは指定できません。

6 次のウィンドウが表示されたら内容を確認し、「OK」をクリックします。

■ 自動取得の場合



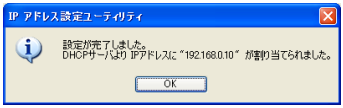
■ 手動設定の場合



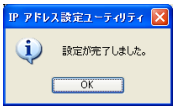
設定が開始され、「装置を再起動中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。しばらくすると「認証ユニットの設定が完了しました。」と表示されます。

7 「OK」をクリックします。

■ 自動取得の場合



■ 手動設定の場合



POINT

- 手順 6（→ P.27）までの操作を行った後、「通信が異常となりました」と表示されたときは、設定が正しく行われていません。設定内容を確認し、再度設定してください。
- 通信が行えない場合は、本製品を初期化し再度設定してください。
  初期化の方法は、「ご購入時の状態に戻すには」（→ P.171）の「本体背面のスイッチで初期化」（→ P.171）をご覧ください。

以上で IP アドレスの設定は完了です。

引き続き、指紋センサードライバのインストールを行います。インストール方法は、「ドライバのインストール」（→ P.33）をご覧ください。

3 複数台をまとめて設定する場合

本製品の設置台数が多い場合は、複数台の IP アドレスをまとめて設定できます。

複数台の本製品をまとめて設定するには、「IP アドレス設定ユーティリティ」を「一括設定モード」にします。一括設定モードでは、ローカルネットワーク内の本製品に対して設定が行えます。

POINT

- IP アドレスを初めて設定する場合は、同一セグメントに接続したパソコンから設定を行ってください。IP アドレスを設定していないと、別のセグメントからは本製品を検索できません。
- Windows XP（SP2 以降）がインストールされていて検索時に本製品が検出されない、または別のセグメントに接続されている本製品の検索、IP アドレスの変更を行う場合は、「IP アドレス設定ユーティリティ」が Windows ファイアウォールにブロックされないよう、例外設定を行う必要があります。設定手順については、「Windows XP（SP2 以降）使用時の例外設定」（→ P.133）をご覧ください。

1 「SecureLoginPrint ユーティリティ」をセットします。

「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

- 「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「SLPSETUP.EXE」をダブルクリックしてください。「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが表示されます。
- Windows Vista の場合、自動再生時や「SLPSETUP.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「SLPSETUP.EXE」であることを確認し、「slpsetup.exe の実行」をクリックしてください。

2 メニューから「IP アドレス設定」をクリックします。

「IP アドレス設定ユーティリティ」が起動します。ネットワーク上の本製品が自動検索され、次のウィンドウのように一覧表示されます。

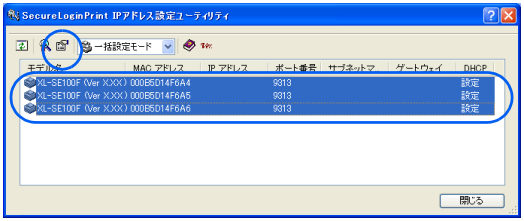


3 「一括設定モード」を選択します。



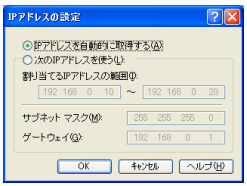
4 【Shift】キー、または【Ctrl】キーを押しながら本製品をクリックし、設定したい本製品を複数台選択します。

5 本製品が選択された状態で、をクリックします。

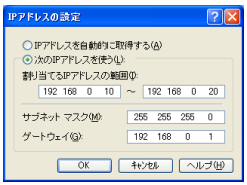


6 IP アドレスを設定し、「OK」をクリックします。

■ 自動取得の場合



■ 手動設定の場合



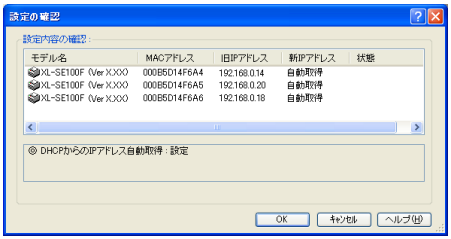
手動設定を選択したときは、設定する IP アドレスの範囲を指定します。ゲートウェイは省略できます。

表：入力内容の制限

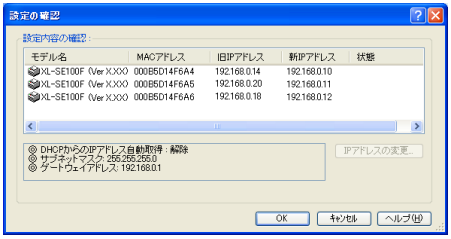
設定項目	制限の内容
設定する IP アドレスの範囲	・「0.0.0.0」、「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。 ・終了アドレスは、開始アドレスより大きな値を指定してください。 ・終了アドレスが開始アドレスのセグメント外となるときは、設定できません。 ・IP アドレスの範囲より本製品の台数が多いときは、設定できません。
サブネットマスク	「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。
ゲートウェイ	空白を含むアドレスは指定できません。

7 次のウィンドウが表示されたら内容を確認し、「OK」をクリックします。

■ 自動取得の場合



■ 手動設定の場合

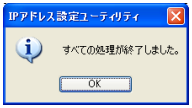


POINT

・設定内容の確認リストに表示されている「新 IP アドレス」を変更する場合は、変更する本製品を選択してから「IP アドレスの変更」をクリックします。

設定が開始されます。しばらくすると「すべての処理が終了しました。」と表示されます。

8 「OK」をクリックします。



POINT

- 手順 7（→ P.31）までの操作を行った後、「通信が異常となりました」と表示されたときは、設定が正しく行われていません。設定内容を確認し、再度設定してください。
- 通信が行えない場合は、設定した値が正しくありません。本製品の LAN 設定を初期化し、再度設定してください。
  初期化の方法は、「ご購入時の状態に戻すには」（→ P.171）の「本体背面のスイッチで初期化」（→ P.171）をご覧ください。

以上で IP アドレスの設定は完了です。

引き続き、指紋センサードライバのインストールを行います。インストール方法は、「ドライバのインストール」（→ P.33）をご覧ください。

3

第 3 章

ドライバのインストール

指紋センサードライバは、本製品に添付されている指紋センサーをパソコンに接続して使用する場合に必要です。ここでは、これらのドライバをインストールする方法を説明します。

1 指紋センサードライバのインストール 34
2 ドライバの確認を行う 36

1 指紋センサードライバのインストール

添付の指紋センサーを使用する場合は、指紋センサーを接続するパソコンに、◎「SecureLoginPrint ユーティリティ」から指紋センサードライバをインストールします。

重要

・本ドライバは、アンインストールできません。
・指紋認識装置 Fingsensor（FS-300U）（別売）、FMV シリーズのノートパソコンに内蔵されているスライド方式の指紋センサーを使用する場合は、「本製品の動作環境」（→ P.8）をご覧になり、記載されている版数の指紋センサードライバを使用してください（ノートパソコン内蔵の指紋センサーを使用する場合、プレインストールされている指紋センサードライバ、またはリカバリを行った状態の指紋センサードライバでは、正しく動作しません）。
・すでに指紋センサーを使用している場合は、指紋センサードライバのインストールを再度行う必要はありません。「ドライバの確認を行う」（→ P.36）に進んでください。
・指紋センサードライバのインストールが完了するまで、指紋センサーはパソコンに接続しないでください。

1 コンピュータの管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 ◎「SecureLoginPrint ユーティリティ」をセットします。

「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

・「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「SLPSETUP.EXE」をダブルクリックしてください。「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが表示されます。
・Windows Vista の場合、自動再生時や「SLPSETUP.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「SLPSETUP.EXE」であることを確認し、「slpsetup.exe の実行」をクリックしてください。

3 メニューから「指紋センサードライバ」をクリックします。

■ Windows Vista の場合

「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。

「Preparing to Install...」が表示され、インストールが開始されます。

「InstallShield Wizard Completed」と表示されたら、インストールは完了です。

■ Windows XP の場合

「Preparing to Install...」が表示され、インストールが開始されます。

「InstallShield Wizard Completed」と表示されたら、インストールは完了です。

4 「Finish」をクリックします。

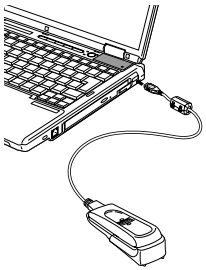
引き続き、ドライバが正しくインストールされたか確認を行います。

2 ドライバの確認を行う

ドライバのインストールが完了したら、指紋センサーをパソコンに接続し、ドライバが正しくインストールされたか確認します。

1 パソコンの USB コネクタに指紋センサーを接続します。

プラグアンドプレイによるハードウェアの検出が始まります。検出が完了するまで、しばらくお待ちください。



2 (スタート)(Windows XP の場合は「スタート」ボタン)→「コントロールパネル」の順にクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

3 次の操作を行い、「デバイスマネージャ」を起動します。

■ Windows Vista の場合

1. 「ハードウェアとサウンド」→「デバイスマネージャ」の順にクリックします。
2. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「続行」をクリックします。「続行」が表示されず「管理者アカウント」が表示された場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックします。
   「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。

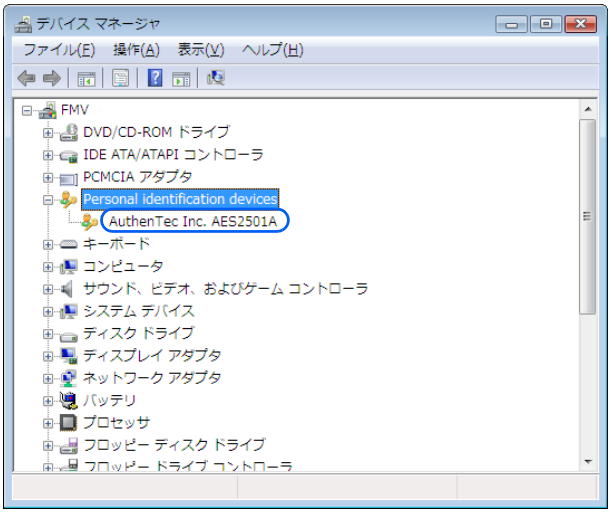
■ Windows XP の場合

1. 「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」の順にクリックします。
   「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
2. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
   「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。

4 「AuthenTec Inc. AES2501A」が表示されていることを確認します。

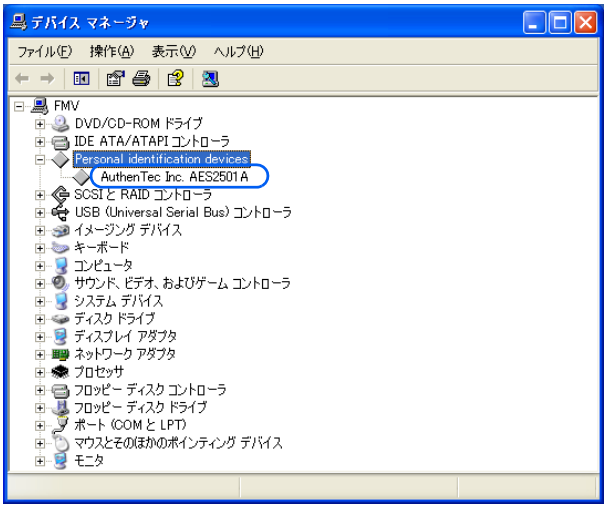
■ Windows Vista の場合

「Personal identification devices」の下に表示されます。



■ Windows XP の場合

「Personal identification devices」の下に表示されます（ドライバのバージョンによっては、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」または「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の下に表示されます）。



次の場合は、ドライバが正しくインストールされていないと考えられます。

・「AuthenTec Inc. AES2501A」の前に「！」が表示されている場合
・「AuthenTec Inc. AES2501A」ではなく、「USB Device」が表示され、その前に「！」が表示されている場合

POINT

・「デバイスマネージャ」で「USB Device」または「その他のデバイス」の下に「Fingerprint sensor」が表示される場合は、指紋センサードライバのインストールが行われていないことが考えられます。「USB Device」または「Fingerprint sensor」を削除した後、◎「SecureLoginPrint ユーティリティ」からインストールしてください（→ P.34）。

4

第 4 章

ソフトウェアのインストール

本製品を使用して印刷を行うためのソフトウェア（「SecureLoginPrint ソフトウェア」）をインストールする方法を説明します。

1 新規インストールと管理者情報の登録 40
2 コンポーネントの変更／修正／削除 54

1 新規インストールと管理者情報の登録

「SecureLoginPrint ソフトウェア」を新規にインストールし、SecureLoginPrint の管理者情報を登録する方法を説明します（SecureLoginPrint の管理者権限については、「SecureLoginPrint の管理者について」（→ P.18）をご覧ください）。

なお、事前に指紋センサードライバのインストールを行い、パソコンに指紋入力ができる状態にしておいてください。

・本製品に添付されている指紋センサーを使用する場合は、「ドライバのインストール」（→ P.33）を行ってください。
・指紋認識装置 Fingsensor（FS-300U）（別売）、FMV シリーズのノートパソコンに内蔵されているスライド方式の指紋センサーを使用する場合は、「本製品の動作環境」（→ P.8）をご覧になり、記載されている版数の指紋センサードライバを使用してください。

重要

・本製品を SecureLoginBox 連携認証モードで使用する場合は、インストール開始前に次の操作を行ってください。
  1. SecureLoginBox へのユーザー情報の登録
     「ユーザーID」と「バイオパスワード」は SecureLoginBox の管理者にご確認ください。
  2. 「SMARTACCESS/Premium」のインストール
     Windows Vista の場合は「SMARTACCESS/Premium V2.0L10 以降」を、Windows XP の場合は「SMARTACCESS/Premium V1.1L30 以降」をインストールしてください。
  3. 「SMARTACCESS/Premium」の SecureLoginBox 連携の設定
  4. SecureLoginBox への指紋特徴データの登録

  ［注］1. について、詳しくは SecureLoginBox の各マニュアルをご覧ください。
  ［注］2. から 4. について、詳しくは「SMARTACCESS/Premium」の各マニュアルをご覧ください。
・SecureLoginBox との通信ができない場合などは、「SecureLoginBox 連携認証モード時のトラブル」（→ P.147）をご覧ください。

1 コンピュータの管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 「SecureLoginPrint ユーティリティ」をセットします。

「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されます。

POINT

・「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されない場合は、「エクスプローラ」などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある「SLPSETUP.EXE」をダブルクリックしてください。「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが表示されます。
・Windows Vista の場合、自動再生時や「SLPSETUP.EXE」をダブルクリックしたときに、「自動再生」ウィンドウが表示されます。実行されるプログラムが「SLPSETUP.EXE」であることを確認し、「slpsetup.exe の実行」をクリックしてください。

3 メニューから「SecureLoginPrint ソフトウェア」をクリックします。

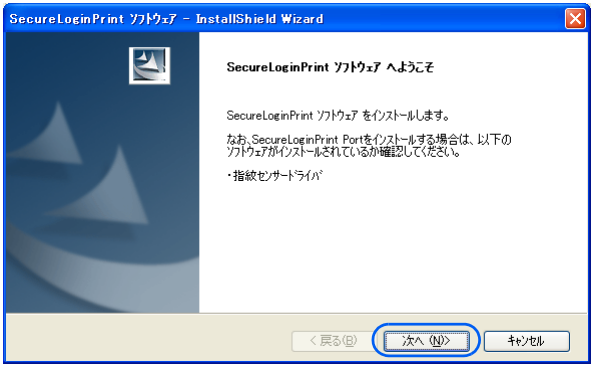
■ Windows Vista の場合

「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。インストーラが起動し、「SecureLoginPrint ソフトウェアへようこそ」と表示されます。

■ Windows XP の場合

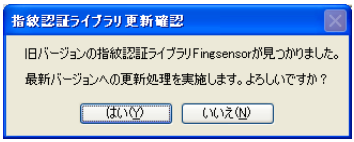
インストーラが起動し、「SecureLoginPrint ソフトウェアへようこそ」と表示されます。

4 「次へ」をクリックします。



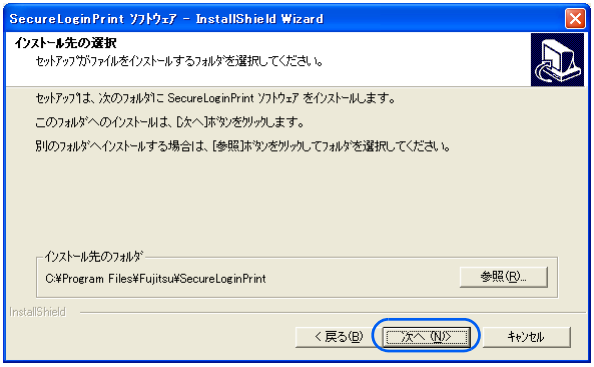
POINT

・古いバージョンの「指紋認証ライブラリ」がインストールされている場合、「次へ」をクリックしたときに、次の画面が表示されます。
「はい」をクリックして「指紋認証ライブラリ」を更新してください。



5 「次へ」をクリックします。

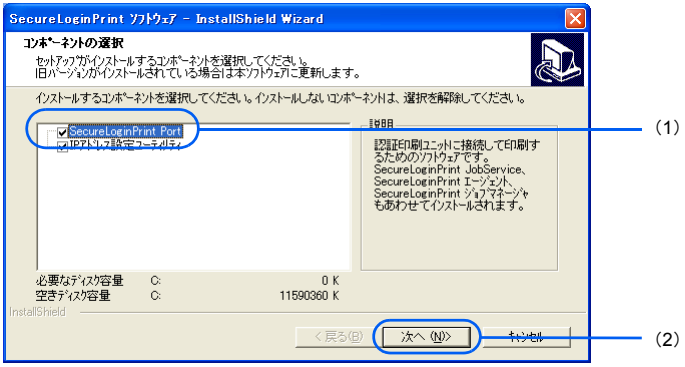
標準のインストール先から変更したい場合は、「参照」をクリックしてフォルダを指定します。



6 (1) インストールするコンポーネントを選択し、(2)「次へ」をクリックします。

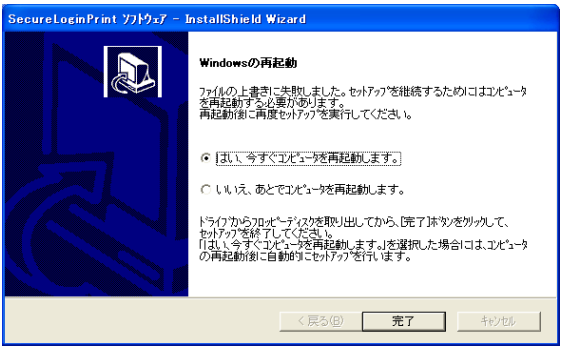
「SecureLoginPrint Port」が ☑ になっていない場合は、クリックして ☑ にしてください(「SecureLoginPrint Port」は本製品を使用して印刷を行うために必要です)。

「IP アドレス設定ユーティリティ」は、必要に応じて ☐ にしてください(インストールしなくても、「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウのメニューから「IP アドレス設定」をクリックして起動できます)。



POINT

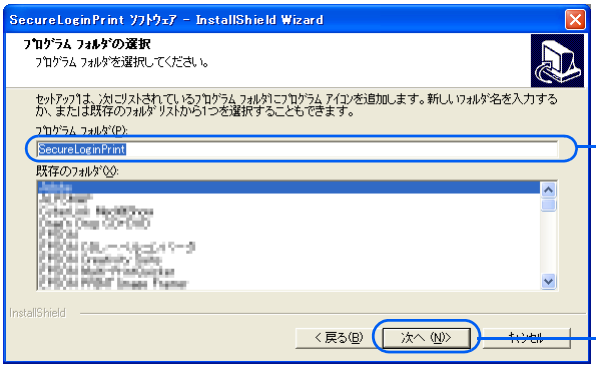
- 「SecureLoginPrint Port」を選択すると、「SecureLoginPrint JobService」「SecureLoginPrint エージェント」「Secure LoginPrint ジョブマネージャ」という 3 つのソフトウェアも同時にインストールされます。これらのソフトウェアについて、詳しくは「ソフトウェアの機能と利用方法」（→ P.73）をご覧ください。
- 「SecureLoginPrint　ソフトウェア」の旧バージョンがインストールされている場合は、「管理者の認証」（→ P.58）が必要です。
- 次の画面が表示された場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択してから「完了」をクリックし、Windows を再起動してください。



再起動後、再度「SecureLoginPrint ソフトウェア」のインストールを行ってください。

7 （1）プログラムフォルダを確認し、（2）「次へ」をクリックします。

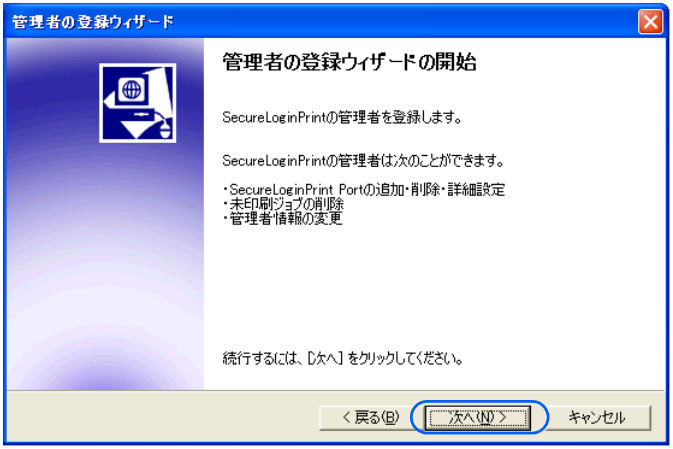
ここで指定した名前が「スタート」メニューに追加されます。標準のフォルダ名から変更したい場合は、名前を入力してから「次へ」をクリックします。



「SecureLoginPrint ソフトウェア」のインストールが開始されます。

インストールが完了すると、「管理者の登録ウィザードの開始」と表示されます。引き続き、SecureLoginPrint の管理者の登録（パスワードと指紋の登録）を行います。

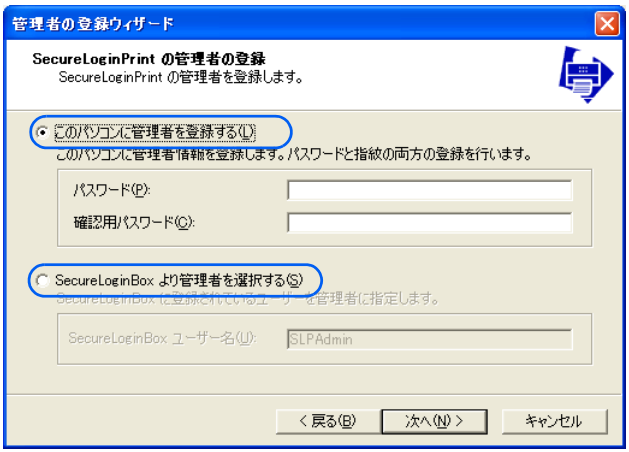
8 「次へ」をクリックします。



重要

・管理者の登録を行わないと、本ソフトウェアはインストールできません（SecureLoginPrint の管理者権限については、「SecureLoginPrint の管理者について」（→ P.18）をご覧ください）。

9 管理者情報をパソコンに登録するか、SecureLoginBox に登録されている情報を利用するかを選択します。



以降、選択内容に応じて、操作が異なります。該当する箇所をご覧ください。

・「「このパソコンに管理者を登録する」を選択した場合」（→ P.45）

・「「SecureLoginBox より管理者を選択する」を選択した場合」（→ P.50）

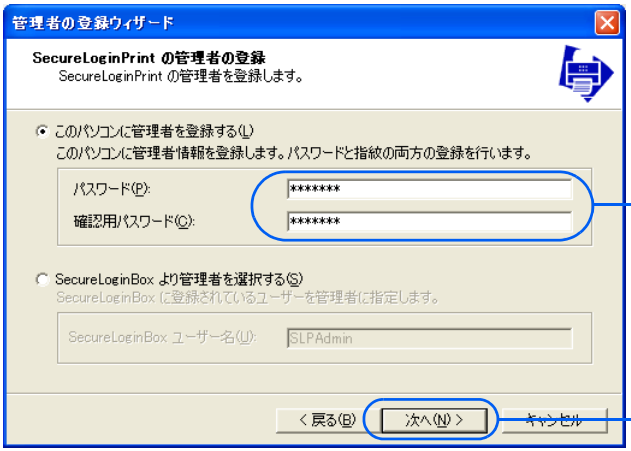
POINT

・「SMARTACCESS/Premium（Windows Vista の場合は V2.0L10 以降、Windows XP の場合は V1.1L30 以降）」がインストールされていない場合、「SecureLoginBox より管理者を選択する」は選択できません。
・「SecureLoginBox より管理者を選択する」を選択すると、「SecureLoginBox ユーザー名」が入力可能になります。

■「このパソコンに管理者を登録する」を選択した場合

管理者の認証を行うときに必要となる、パスワードと指紋特徴データをパソコンに登録します。

1 (1)「パスワード」「確認用パスワード」に同一のパスワード（半角 32 文字以内）をそれぞれ入力し、(2)「次へ」をクリックします。



「指紋の登録／変更」ウィンドウが表示されます。以降の手順で、2 本以上の指紋を登録する必要があります。

2 指紋を登録したい指先をクリックします。



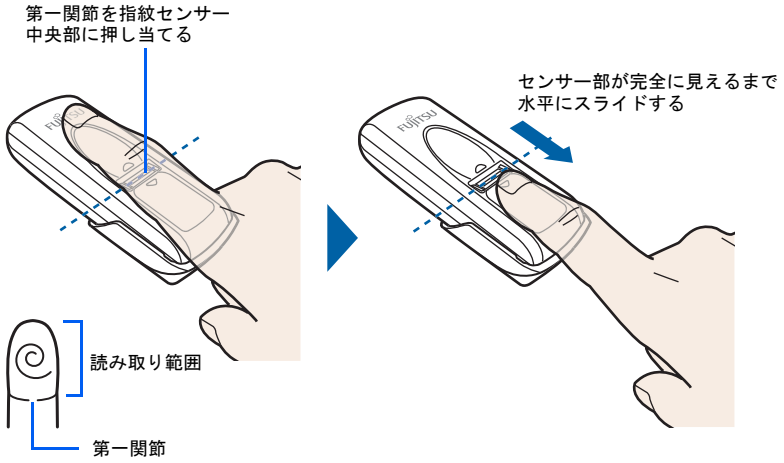
次のウィンドウが表示されます。



3 指紋センサーに指紋を計 4 回入力します。

第一関節を指紋センサー中央部に押し当てると同時に指を動かし、センサー部が完全に見えるまで水平にスライドします。

なお、指紋入力時の注意点など、「指紋センサーの使い方」(→ P.172) もあわせてご覧ください。



正常に指紋の読み込みが完了すると、「良好です。」と表示された後、2 回目の入力ができる状態になります。引き続き指紋の入力を繰り返してください。

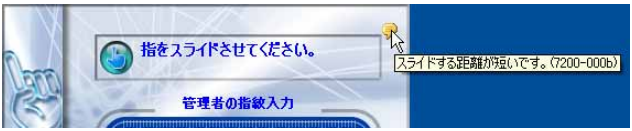


1 回目の読み取りが完了したことを示しています。
読み取りが完了するごとに順に点灯していきます。

4 回目の入力が終わると、「指紋特徴データ登録成功」と表示されます。

POINT

・指紋の入力に失敗した場合、指紋入力ウィンドウのメッセージの横に吹き出しのアイコン（ ）が表示されます。アイコンにマウスカーソルを合わせると、エラー内容を参照できます。エラー内容については、「パソコンからの指紋入力時やパスワード入力時に表示されるメッセージ」（→ P.152）をご覧ください。また、何度も入力に失敗する場合は、「指紋入力時のトラブル」（→ P.135）をご覧ください。



4 2 本目以降の指紋を登録します。

手順 2（→ P.45）～手順 3（→ P.46）の手順を繰り返し、2 本以上の指紋を登録してください。なお、登録が完了した指先には、次の図のようにチェックマークがつきます。



POINT

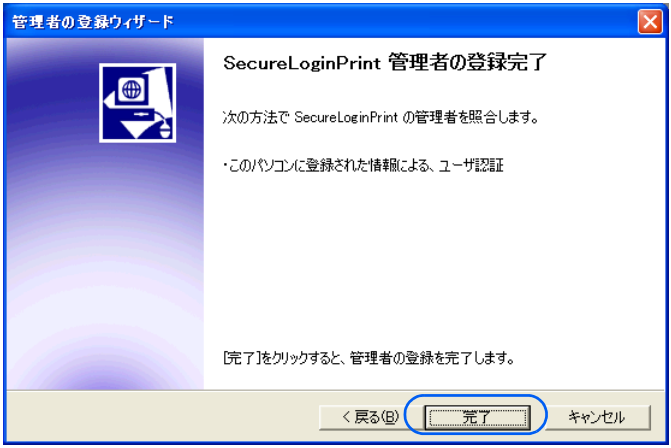
・2 本以上登録しないと、「OK」はクリックできません。
・登録した指先をクリックするとメニューが表示され、登録した指紋の変更や削除ができます。



5 **2 本以上の登録が終わったら、「OK」をクリックします。**



6 「完了」をクリックします。



「SecureLoginPrint ソフトウェアのインストールが完了しました」と表示されます。

7 「完了」をクリックします。

以上で「SecureLoginPrint ソフトウェア」のインストールと SecureLoginPrint の管理者情報の登録は完了です。
引き続き、印刷ポートの追加を行い、実際に印刷を行います。「設定と印刷」（→ P.59）をご覧ください。
インストールしたソフトウェアを変更／修正／削除する場合は、「コンポーネントの変更／修正／削除」（→ P.54）をご覧ください。

■「SecureLoginBox より管理者を選択する」を選択した場合

SecureLoginBox に登録されているユーザーを管理者として使用します。ユーザー名をパソコンに登録し、指紋データ、またはバイオパスワードを入力して、SecureLoginBox とのユーザー確認を行います。

重要

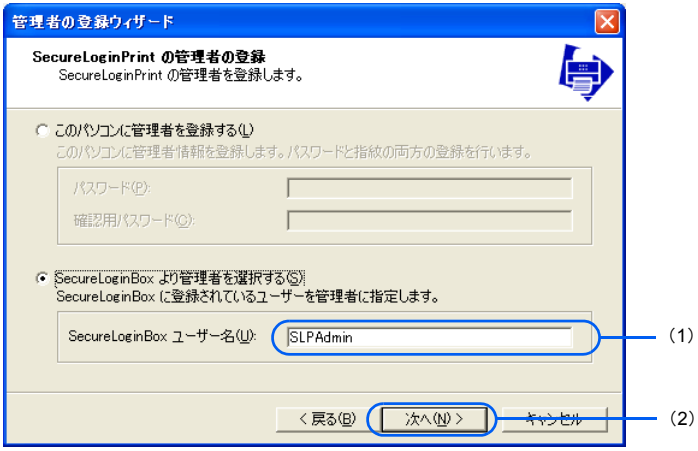
・本製品を SecureLoginBox 連携認証モードで使用する場合は、インストール開始前に次の操作を行ってください。

1. SecureLoginBox へのユーザー情報の登録
   「ユーザーID」と「バイオパスワード」は SecureLoginBox の管理者にご確認ください。
   「SecureLoginPrint ソフトウェア」では管理者名の初期値が「SLPAdmin」と表示されます。あらかじめ、管理者用のユーザー名を「SLPAdmin」で登録しておくと便利です。
2. 「SMARTACCESS/Premium」のインストール
   Windows Vista の場合は「SMARTACCESS/Premium V2.0L10 以降」を、Windows XP の場合は「SMARTACCESS/Premium V1.1L30 以降」をインストールしてください。
3. 「SMARTACCESS/Premium」の SecureLoginBox 連携の設定
4. SecureLoginBox への指紋特徴データの登録

［注］1. について、詳しくは SecureLoginBox の各マニュアルをご覧ください。
［注］2. から 4. について、詳しくは「SMARTACCESS/Premium」の各マニュアルをご覧ください。

・SecureLoginBox との通信ができない場合などは、「SecureLoginBox 連携認証モード時のトラブル」（→ P.147）をご覧ください。

1 （1）SecureLoginBox に登録してあるユーザー名を入力し、（2）「次へ」をクリックします。



SecureLoginBox に登録されているユーザー名との照合が必要なため、次のウィンドウが表示されます。



2 SecureLoginBox のユーザーとして登録した指のいずれかで指紋入力を行います。

POINT

・SecureLoginBox にユーザーが登録されていない場合は、指紋入力ウィンドウで「ユーザーまたは指紋が登録されていません」と表示されます。

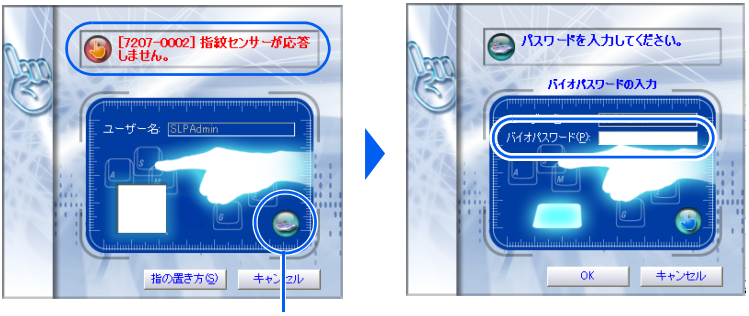


「キャンセル」をクリックすると、次の画面が表示されます。



「OK」をクリックすると、手順 1（→ P.51）の画面に戻ります。SecureLoginBox にユーザー登録を行ってから、再度実行してください。

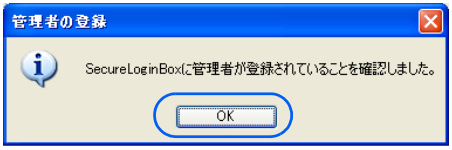
・パソコンに指紋センサーが接続されていない、指紋センサーが故障したなどの理由で指紋入力ができない場合は、「指紋センサーが応答しません」と表示されます。この場合は、パスワード入力ボタンをクリックし、表示されたウィンドウでバイオパスワードを入力することで認証を行うことができます。



パスワード入力ボタン

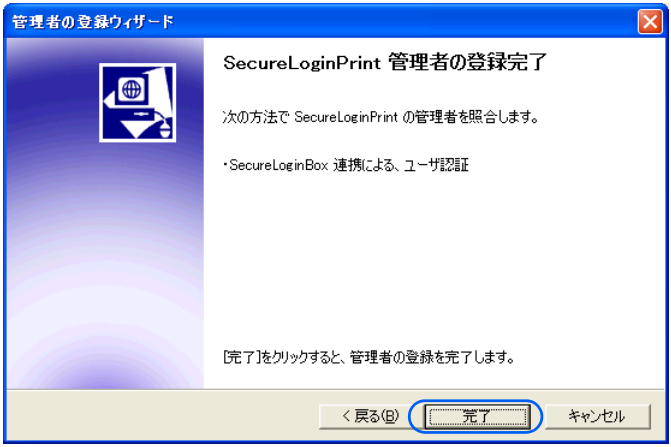
SecureLoginBox との確認が正常に行われると、「SecureLoginBox に管理者が登録されていることを確認しました」と表示されます。

3 「OK」をクリックします。



「SecureLoginPrint 管理者の登録完了」ウィンドウが表示されます。

4 「完了」をクリックします。



「SecureLoginPrint ソフトウェアのインストールが完了しました」と表示されます。

5 「完了」をクリックします。

以上で「SecureLoginPrint ソフトウェア」のインストールと SecureLoginPrint の管理者情報の登録は完了です。
引き続き、印刷ポートの追加を行い、実際に印刷を行います。「設定と印刷」（→ P.59）をご覧ください。
インストールしたソフトウェアを変更／修正／削除する場合は、「コンポーネントの変更／修正／削除」（→ P.54）をご覧ください。

2 コンポーネントの変更／修正／削除

「SecureLoginPrint ソフトウェア」をインストール済みの状態でインストーラを起動すると、「SecureLoginPrint ソフトウェア」コンポーネントの変更、修正、削除（アンインストール）を行うことができます。

なお、事前に指紋センサードライバのインストールを行い、パソコンに指紋入力ができる状態にしておいてください。

・本製品に添付されている指紋センサーを使用する場合は、「ドライバのインストール」(→ P.33）を行ってください。
・指紋認識装置 Fingsensor（FS-300U）（別売）、FMV シリーズのノートパソコンに内蔵されているスライド方式の指紋センサーを使用する場合は、「本製品の動作環境」（→ P.8）をご覧になり、記載されている版数の指紋センサードライバを使用してください。

1 コンピュータの管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 （スタート）（Windows XP の場合は「スタート」ボタン）→「すべてのプログラム」→「SecureLoginPrint」→「セットアップ」の順にクリックします。

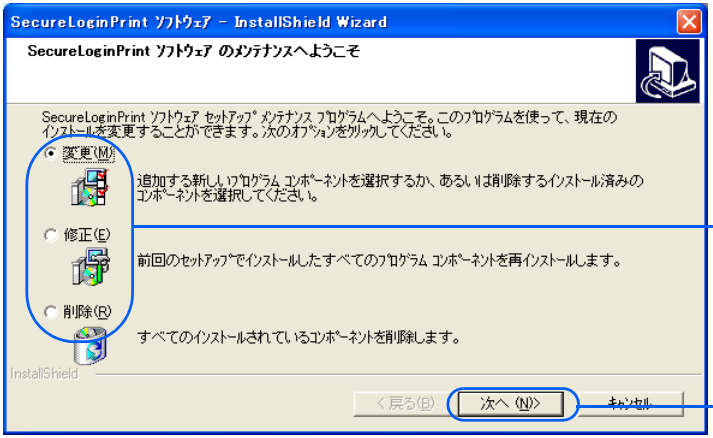
■ Windows Vista の場合

「プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、「続行」をクリックします。インストーラが起動し、「SecureLoginPrint ソフトウェアのメンテナンスへようこそ」と表示されます。

■ Windows XP の場合

インストーラが起動し、「SecureLoginPrint ソフトウェアのメンテナンスへようこそ」と表示されます。

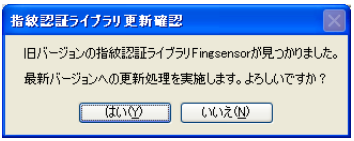
3 (1)「変更」「修正」「削除」のいずれかを選択し、(2)「次へ」をクリックします。



- 変更…コンポーネントを追加したい場合、またはインストール済みのコンポーネントを削除したい場合に選択します。「コンポーネントの追加、削除」(→ P.56)に進んでください。
- 修正…現在インストールされているすべてのコンポーネントを再インストールしたい場合に選択します。「コンポーネントの再インストール」(→ P.58)に進んでください。
- 削除…インストールされているすべてのコンポーネントを削除(アンインストール)したい場合に選択します。「コンポーネントの削除(アンインストール)」(→ P.58)に進んでください。

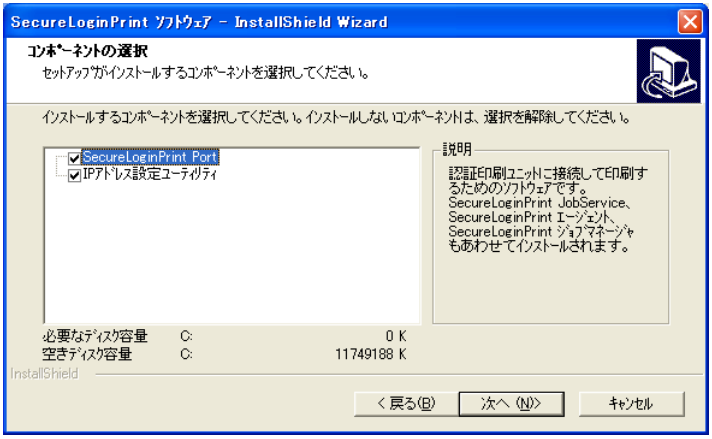
POINT

・古いバージョンの「指紋認証ライブラリ」がインストールされている場合、「変更」を選択して「次へ」をクリックしたときに、次の画面が表示されます。
「はい」をクリックして「指紋認証ライブラリ」を更新してください。



■コンポーネントの追加、削除

「変更」を選択して「次へ」をクリックすると、次のウィンドウが表示されます。



1 **インストールしたいコンポーネントの☐をクリックして☑にする、または削除したいコンポーネントの☑をクリックして☐にします。**

2 **「次へ」をクリックします。**

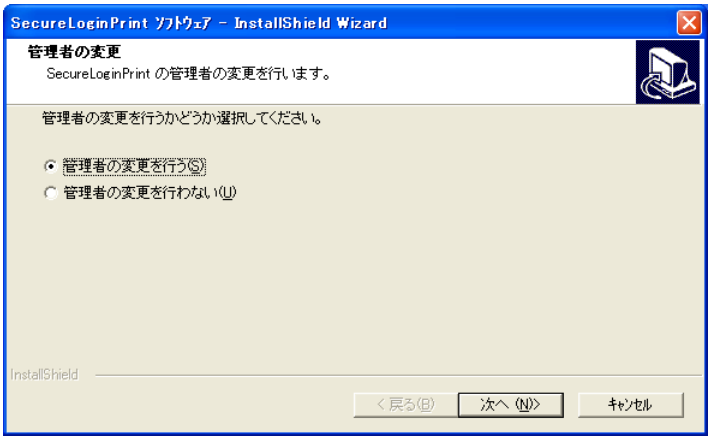
3 **コンポーネントのインストール状態に応じて、次の操作を行います。**

■「SecureLoginPrint Port」がインストールされていない状態で、「SecureLoginPrint Port」を☑にしたとき

「SecureLoginPrint Port」の新規インストールと管理者情報の登録を行います。「新規インストールと管理者情報の登録」(→ P.40) の手順 8 (→ P.44) 以降をご覧ください。

■「SecureLoginPrint Port」がインストールされている状態で、「SecureLoginPrint Port」を ☑ にしたとき

次のウィンドウが表示されます。



・管理者情報を変更したい場合は「管理者の変更を行う」をクリックして、「次へ」をクリックします。以降、「管理者の変更」（→ P.92）の手順 4（→ P.93）から操作を行ってください。

・「管理者の変更を行わない」をクリックして「次へ」をクリックした場合は、「SecureLoginPrint ソフトウェアのメンテナンスが完了しました」と表示されます。「完了」をクリックしてください。

■「SecureLoginPrint Port」がインストールされている状態で、「SecureLoginPrint Port」を ☐ にしたとき

アンインストール処理が開始されます。なお、アンインストール前に管理者の認証が必要です。「管理者の認証」（→ P.58）をご覧ください。アンインストールが完了したら、「完了」をクリックします。

■「IP アドレス設定ユーティリティ」がインストールされていない状態で、「IP アドレス設定ユーティリティ」を ☑ にしたとき

「IP アドレス設定ユーティリティ」のインストールが開始されます。インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

■「IP アドレス設定ユーティリティ」がインストールされている状態で、「IP アドレス設定ユーティリティ」を ☐ にしたとき

「IP アドレス設定ユーティリティ」のアンインストールが開始されます。アンインストールが完了したら、「完了」をクリックします。

□ 管理者の認証

「SecureLoginPrint Port」の削除時には、管理者の認証が必要です。次のウィンドウが表示されたら、登録した指のいずれかで指紋入力を行います（表示されるウィンドウは、「新規インストールと管理者情報の登録」(→ P.40) の手順 9 (→ P.44) の選択内容により異なります）。

■「このパソコンに管理者を登録する」選択時



■「SecureLoginBox より管理者を選択する」選択時



読み込みが正常に行われると、「良好です」と表示されます。
照合に失敗した場合は、「管理者と認証できませんでした。」と表示されます。何度も照合に失敗する場合は、「指紋入力時のトラブル」（→ P.135）をご覧ください。

POINT

- パソコンに指紋センサーが接続されていない、指紋センサーが故障したなどの理由で指紋入力ができない場合は、「指紋センサーが応答しません」と表示されます。この場合は、ウィンドウ右下のパスワード入力ボタンをクリックし、表示されたウィンドウでパスワードを入力することで認証を行うことができます。詳しくは、「指紋センサーが故障し、指紋入力ができません。」（→ P.136）をご覧ください。



■コンポーネントの再インストール

「修正」を選択して「次へ」をクリックすると、インストール済みのコンポーネントの再インストールが開始されます。再インストールが完了したら、「完了」をクリックします。なお、「SecureLoginPrint Port」がインストールされている場合は、「管理者の変更」ウィンドウが表示されます。「管理者の変更」(→ P.92) の手順 4 (→ P.93) 以降の操作をご覧ください。

■コンポーネントの削除（アンインストール）

「削除」を選択して「次へ」をクリックすると、インストール済みのコンポーネントのアンインストールが開始されます。アンインストールが完了したら、「完了」をクリックします。なお、「SecureLoginPrint Port」がインストールされている場合は、アンインストール前に管理者の認証が必要です。「管理者の認証」（→ P.58）をご覧ください。

5

第 5 章

設定と印刷

本製品を使用して印刷を行うためのポートを追加し、実際に印刷を行う方法を説明します。

1 ポートの追加 60
2 印刷手順 69

1 ポートの追加

本製品を利用して印刷を行うために、ポートを追加します。なお、「IP アドレスの設定」(→ P.21)、「ドライバのインストール」(→ P.33)、「ソフトウェアのインストール」(→ P.39) を事前に行い、指紋入力ができる状態にしておいてください。

重要

・ポートの追加前に次の操作を行っておかないと、SecureLoginBox 連携認証モードは選択できません。
・「SMARTACCESS/Premium（Windows Vista の場合は V2.0L10 以降、Windows XP の場合は V1.1L30 以降）」（別途ご用意ください）のパソコンへのインストール

POINT

・パソコンに指紋センサーがない場合は、本製品添付の指紋センサーを接続しておいてください。

ポートの追加

1 コンピュータの管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 プリンタを新規に追加するか、あるいはすでに利用しているプリンタにポートを追加するかに応じて、次の操作を行います。

■ プリンタを新規に追加する場合

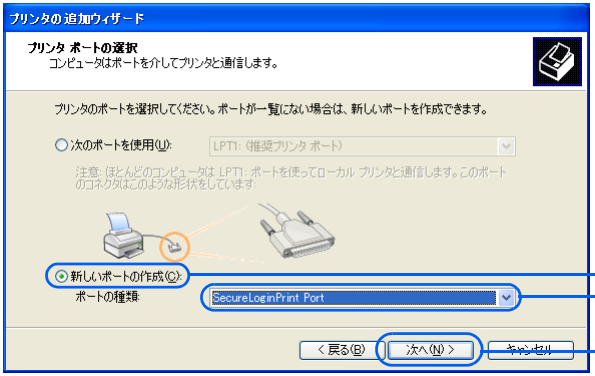
Windows Vista の場合

1. (スタート) →「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
3. 「プリンタのインストール」をクリックします。
   「プリンタの追加」ウィンドウが表示されます。
4. 「ローカルプリンタを追加します」をクリックします。

Windows XP の場合

1. 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。
2. 「ファイル」メニュー→「プリンタの追加」の順にクリックします。
   「プリンタの追加ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。
3. 「次へ」をクリックします。
4. 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択します。このとき、「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」の ☑ をクリックして、☐ にします。

5. (1)「新しいポートの作成」をクリックし、(2)「SecureLoginPrint Port」を選択し、(3)「次へ」をクリックします。
「SecureLoginPrint Port の追加ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。



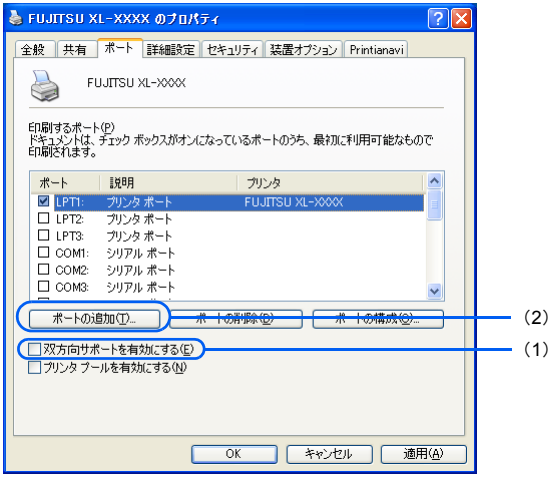
■ すでに利用しているプリンタにポートを追加する場合

Windows Vista の場合

1. (スタート) →「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。
3. 以降、「Windows XP の場合」の手順 3 (→ P.61) ～手順 4 (→ P.62) を行います。

Windows XP の場合

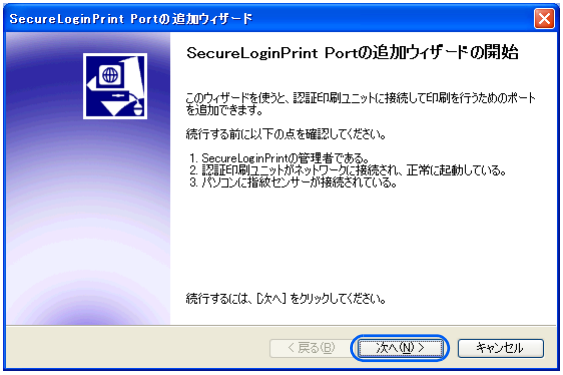
1. 「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。
2. 本製品で利用したいプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「ポート」タブをクリックし、(1)「双方向サポートを有効にする」が ☑ になっている場合はクリックして ☐ にし、(2)「ポートの追加」をクリックします。



4. （1）「SecureLoginPrint Port」をクリックし、（2）「新しいポート」をクリックします。
「SecureLoginPrint Port の追加ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。



3 「次へ」をクリックします。



ポートの追加には管理者の認証が必要なため、次のウィンドウが表示されます（表示されるウィンドウは、「新規インストールと管理者情報の登録」（→ P.40）の手順9（→ P.44）の選択内容により異なります）。

■「このパソコンに管理者を登録する」選択時



■「SecureLoginBox より管理者を選択する」選択時



POINT

・パソコンに指紋センサーが接続されていない、指紋センサーが故障したなどの理由で指紋入力ができない場合は、「指紋センサーが応答しません」と表示されます。この場合は、ウィンドウ右下のパスワード入力ボタンをクリックし、表示されたウィンドウでパスワードを入力することで認証を行うことができます。詳しくは、「指紋センサーが故障し、指紋入力ができません。」（→ P.136）をご覧ください。



4 「SecureLoginPrint　ソフトウェア」のインストール時に管理者情報として登録した指のいずれかで指紋入力を行います。

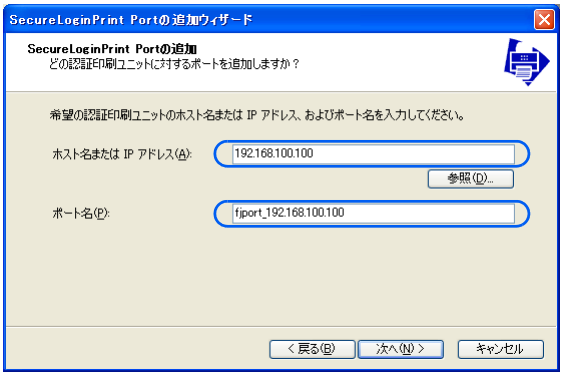
読み込みが正常に行われると、「良好です。」と表示され、「どの認証印刷ユニットに対するポートを追加しますか？」と表示されます。

認証に失敗した場合は、「管理者と認証できませんでした」と表示されます。何度も認証に失敗する場合は、「指紋入力時のトラブル」（→ P.135）をご覧ください。

5 次の手順で本製品の「ホスト名または IP アドレス」「ポート名」を設定します。

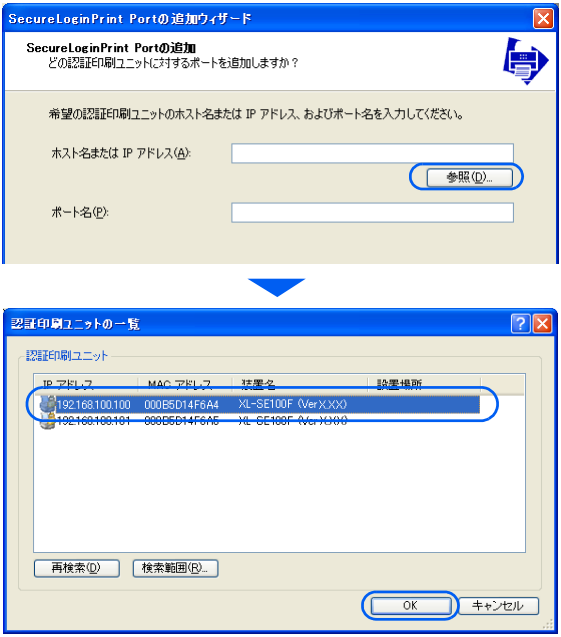
■ 本製品に設定されているホスト名、または IP アドレスがわかっている場合

「基本情報」（→ P.112）で設定したホスト名、または「IP アドレスの設定」（→ P.21）で設定した IP アドレスがわかっている場合は、「ホスト名または IP アドレス」に入力します。「ホスト名または IP アドレス」に入力すると、「ポート名」は自動的に「fjport_（ホスト名または IP アドレス）」になりますが、変更が必要な場合は修正してください。

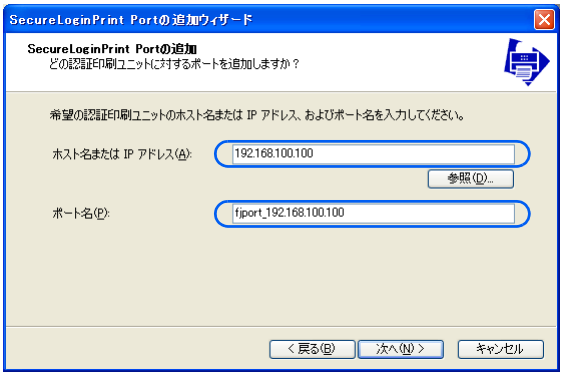


■ 本製品に設定されているホスト名、または IP アドレスが不明な場合、あるいは複数の本製品から選択したい場合

「参照」をクリックしてネットワーク上の本製品を検索し、表示された一覧から選択後、「OK」をクリックします。



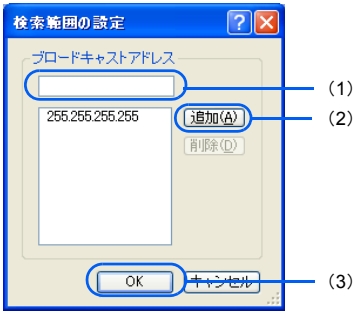
本製品を選択すると、「ホスト名または IP アドレス」、「ポート名」が自動的に設定されます。「ポート名」は変更が必要な場合は修正してください。



POINT

・一覧に表示されない場合は、本製品が正しく接続され、電源が入っているか確認し、「再検索」をクリックしてください。本製品が別のセグメントに接続されている場合は、次の手順で検索範囲を確認してください。

1. 「検索範囲」をクリックします。
2. （1）検索対象となるブロードキャストアドレスを入力し、（2）「追加」をクリックし、（3）「OK」をクリックします。
   なお、最後の 1 つのアドレスは削除できません。



3. 「再検索」をクリックします。

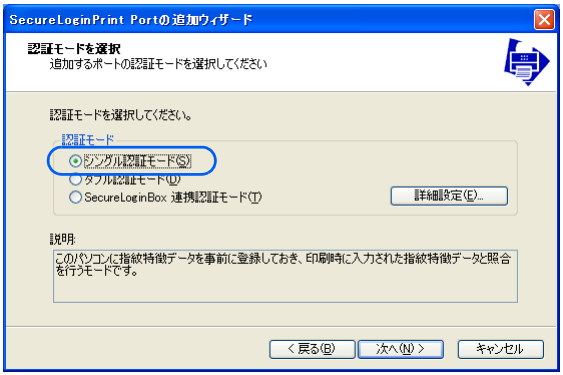
6 「ホスト名または IP アドレス」「ポート名」が設定できたら、「次へ」をクリックします。

7 運用形態に合わせて認証モード（→ P.14）を選択し、選択した認証モードに応じて次の操作を行います。

POINT

・認証モードを選択して「次へ」をクリックする前に「詳細設定」をクリックすると、「SecureLoginPrint Port の構成」ウィンドウが表示され、指紋登録時の入力回数、認証レベル（品質レベル、照合レベル）の設定を変更できます。詳しくは、「ポートの詳細設定」（→ P.74）をご覧ください。

■ シングル認証モードを選択した場合



シングル認証モードの場合、ポートごとにユーザーの指紋特徴データを登録します(印刷時は、本体側で入力した指紋特徴データと、ポートに登録された指紋特徴データを比較するため、パソコン側で指紋を入力する必要はありません)。次の手順で登録してください。

1. **「次へ」をクリックします。**
   「指紋の登録／変更」ウィンドウが表示されます。
2. **「パスワード」「確認用パスワード」に同一のパスワードをそれぞれ入力します。**
   このパスワードは「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」(→ P.86) 使用時に必要ですので、必ず入力してください。



3. 指紋の登録を行います。登録方法は、「「このパソコンに管理者を登録する」を選択した場合」（→ P.45）の手順 2（→ P.45）～手順 5（→ P.48）をご覧ください。なお、手順 2（→ P.45）の指紋登録ウィンドウとは一部異なる箇所があります（下図の囲み部分）が、操作手順は同じです。

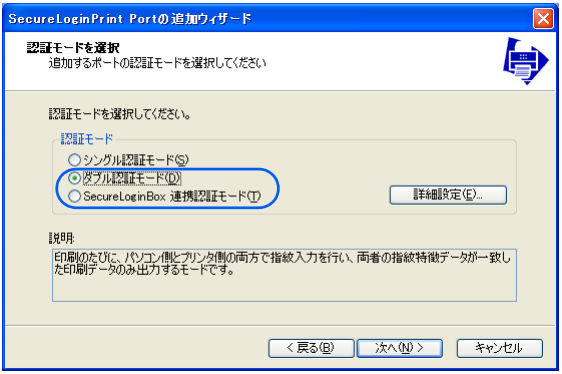


パスワード入力／指紋登録後、「SecureLoginPrint Port 追加ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

POINT

・ここで登録した指紋特徴データのいずれかと一致すると、認証待ちのすべての印刷ジョブが印刷されます。

■ ダブル認証モード／ SecureLoginBox 連携認証モードを選択した場合



1. 「次へ」をクリックします。
「SecureLoginPrint Port 追加ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

8 「完了」をクリックします。

9 「閉じる」をクリックします。



10 **プリンタを新規に追加したか、あるいはすでに利用しているプリンタにポートを追加したかに応じて、次の操作を行います。**

■ プリンタを新規に追加した場合

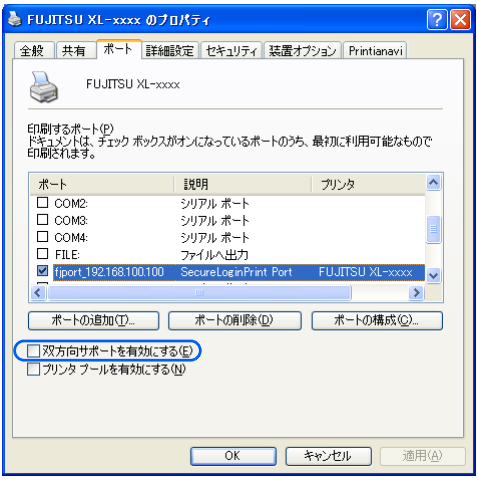
引き続きプリンタドライバのインストールを行います。インストール方法は、お使いのプリンタのマニュアルをご覧ください。

■ すでに利用しているプリンタにポートを追加した場合

プリンタのプロパティウィンドウに戻りますので、「適用」をクリックし、「OK」をクリックします。

POINT

・プリンタの新規追加後、プリンタのプロパティウィンドウで「双方向サポートを有効にする」が☐になっていることを確認してください（☑になっている場合は☐にしてください）。



2 印刷手順

ポートの追加が終わると、本製品を利用して印刷ができるようになります。認証方式ごとに印刷手順を説明します。

POINT

・本製品に指紋センサーを接続し、指紋入力ができる状態にしておいてください。
・添付の指紋センサーをパソコンに接続している場合は、取り外して本製品に接続しておいてください。

シングル認証モードでの印刷

1 アプリケーションから印刷を実行します。

本製品に接続したプリンタを選択して、印刷を実行します。
指紋入力が可能な状態になると、次のポップアップメッセージが表示されます。

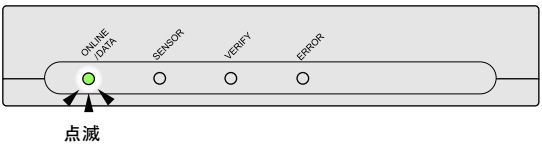


POINT

・上記ポップアップメッセージは、印刷が完了すると自動的に閉じます。

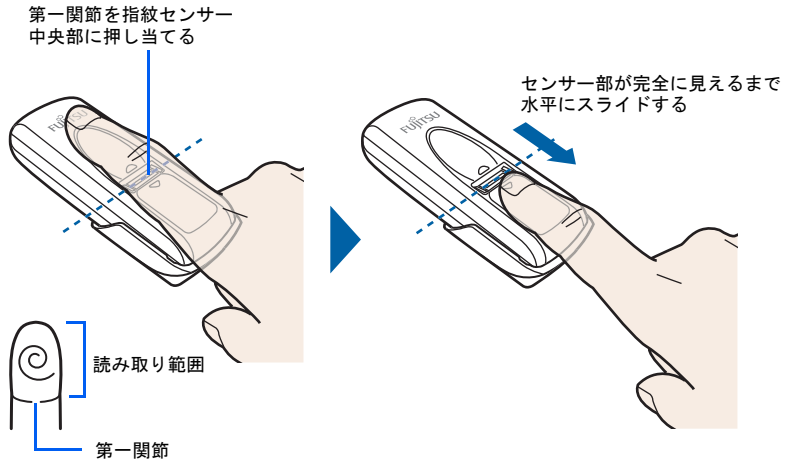
2 本製品の設置場所まで移動し、「ONLINE/DATA」ランプが点滅していることを確認します。

■印刷受付（指紋入力待ち）



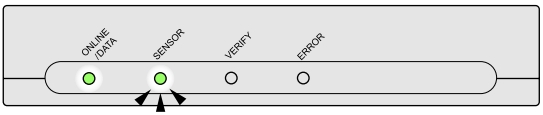
3 指紋センサーに指紋を入力します。

第一関節を指紋センサー中央部に押し当てると同時に指を動かし、センサー部が完全に見えるまで水平にスライドします。
なお、指紋入力時の注意点など、「指紋センサーの使い方」（→ P.172）もあわせてご覧ください。



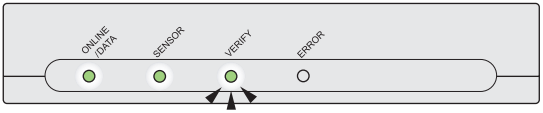
指紋の読み取り中は、「ONLINE/DATA」ランプと「SENSOR」ランプが次の状態になります。

■指紋特徴点検出中



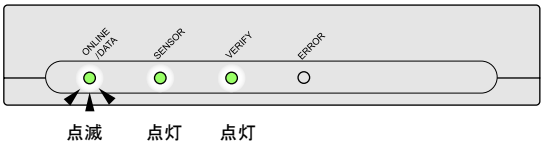
指紋の読み取りが正常に行われると、「ピッ」という音が鳴ってステータスランプが次の状態になり、本人認証が開始されます。

■ユーザー照合中



本人認証が完了すると、「ピー」という音が鳴って「VERIFY」ランプが点滅から点灯状態になり、印刷が開始されます。
印刷中は、ステータスランプが次の状態になります。

■印刷中



印刷が完了すると、「ONLINE/DATA」ランプのみが点灯した状態になります。

POINT

- 「ピッ」という音が鳴らない場合は、指紋が正しく読み取れていません。また、「ピー」という音が鳴らない場合は、認証が正しく行われていません。何度も失敗する場合は、「指紋入力時のトラブル」（→ P.135）をご覧ください。
- 「ERROR」ランプが点灯した場合は、添付の『オペレーターガイド』をご覧になり、エラー内容をご確認ください。
  また、エラーの内容は、「SecureLoginPrint Internet Service」を起動して確認することもできます。「SecureLoginPrint Internet Service」については、「Web ブラウザを使用した管理」（→ P.97）をご覧ください。

5

ダブル認証モードでの印刷

1 アプリケーションから印刷を実行します。

本製品に接続したプリンタを選択して、印刷を実行します。
印刷を実行すると、指紋の入力ウィンドウが表示されます。



2 パソコン側の指紋センサーに指紋を入力します。

- 指紋認識装置 Fingsensor（FS-300U）を接続している場合は、「シングル認証モードでの印刷」（→ P.69）の手順 3（→ P.70）と同様の操作で指紋入力してください。
- FMV シリーズのノートパソコンに内蔵されている、スライド方式の指紋センサーを使用する場合は、パソコンのマニュアルをご覧になり、指紋入力してください。

3 **プリンタ側で指紋照合待ちの状態になりますので、「シングル認証モードでの印刷」(→ P.69) の手順 2 (→ P.69) 以降をご覧になり、印刷してください。**

SecureLoginBox 連携認証モードでの印刷

重要

・印刷開始前に次の操作を行っておかないと、印刷できません。
  ・SecureLoginBox にユーザー登録

1 **アプリケーションから印刷を実行します。**

本製品に接続したプリンタを選択して、印刷を実行します。
印刷を実行すると、ユーザー名の入力ウィンドウが表示されます。

2 **SecureLoginBox に登録してあるユーザー名を入力します。**



3 **プリンタ側で指紋照合待ちの状態になりますので、「シングル認証モードでの印刷」(→ P.69) の手順 2 (→ P.69) 以降をご覧になり、印刷してください。**

6

第 6 章

ソフトウェアの機能と利用方法

「SecureLoginPrint ソフトウェア」をインストールする際に、「SecureLoginPrint Port」を選択してインストールを行うと、5 つのソフトウェアがインストールされます。
ここでは、これらのソフトウェアの機能や利用方法を説明します。

1 SecureLoginPrint Port 74
2 SecureLoginPrint JobService ／ SecureLoginPrint エージェント 81
3 SecureLoginPrint ジョブマネージャ 86
4 管理者の変更 92

1 SecureLoginPrint Port

ここでは、「SecureLoginPrint Port」の機能や設定方法について説明します。

機能

「SecureLoginPrint Port」は次の機能を持ったソフトウェアです。

表：ソフトウェアの機能

機能	説明
ローカルスプーラ機能	認証処理を必要とする印刷データを、ユーザーの指紋特徴データと共に認証が完了するまで一時的に保存します。
検索機能	「SecureLoginPrint Port」が使用する本製品を設定する際に、ネットワーク上に接続されている本製品を検索して一覧表示します。IP アドレスなどを入力することなく、簡単に該当する本製品を指定できます。 なお、検索方法については、「ポートの追加」（→ P.60）の手順 5（→ P.63）をご覧ください。

また、上記の機能に加えて、追加したポートの認証入力待ち時間やセキュリティレベルの設定を行うことができます。これらの設定方法については、「ポートの詳細設定」（→ P.74）をご覧ください。

ポートの詳細設定

「SecureLoginPrint Port」では、ポートごとに認証入力待ち時間やセキュリティレベルを設定できます。
設定方法は、次のとおりです。

1 次の手順で「プリンタ」フォルダを開きます。

■ Windows Vista の場合

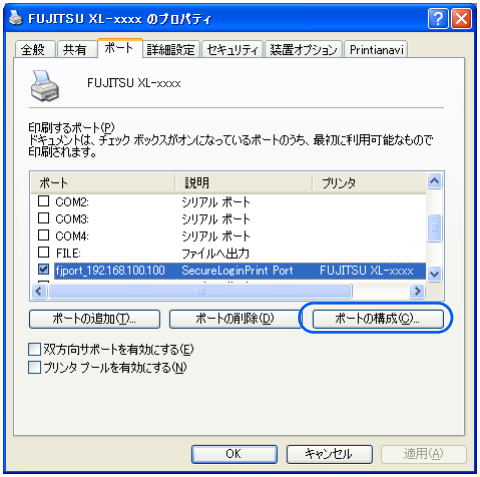
1. （スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

■ Windows XP の場合

「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。

2 本製品に接続しているプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

3 「ポート」タブをクリックし、「ポートの構成」をクリックします。



ポートの詳細設定を行うには管理者の認証が必要なため、次のウィンドウが表示されます（表示されるウィンドウは、「新規インストールと管理者情報の登録」（→ P.40）の手順 9（→ P.44）の選択内容により異なります）。

■「このパソコンに管理者を登録する」選択時



■「SecureLoginBox より管理者を選択する」選択時



POINT

・パソコンに指紋センサーが接続されていない、指紋センサーが故障したなどの理由で指紋入力ができない場合は、「指紋センサーが応答しません」と表示されます。この場合は、ウィンドウ右下のパスワード入力ボタンをクリックし、表示されたウィンドウでパスワードを入力することで認証を行うことができます。詳しくは、「指紋センサーが故障し、指紋入力ができません。」（→ P.136）をご覧ください。



4 **「SecureLoginPrint ソフトウェア」のインストール時に管理者情報として登録した指のいずれかで指紋入力を行います。**

読み込みが正常に行われると、「良好です」と表示され、「SecureLoginPrint Port の構成」ウィンドウが表示されます。
認証に失敗した場合は、「管理者と認証できませんでした」と表示されます。何度も認証に失敗する場合は、「指紋入力時のトラブル」（→ P.135）をご覧ください。

POINT

・「ポートの追加」（→ P.60）の手順 7（→ P.65）のウィンドウで「詳細設定」をクリックした場合も、同じウィンドウが開きます。

5 **設定を変更し、「OK」をクリックします。**

各設定値の意味は、「「基本情報」タブ」（→ P.76）および「「セキュリティ情報」タブ」（→ P.77）をご覧ください。

■「基本情報」タブ



1 **ポート名**

SecureLoginPrint Port 作成時のポート名が表示されます。変更はできません。

2 **ホスト名または IP アドレス**

本製品のホスト名または IP アドレスが表示されます。変更可能です。

3 **参照**

他の本製品を検索するときにクリックします。検索方法については、「ポートの追加」（→ P.60）の手順 5（→ P.63）内の「POINT」をご覧ください。

4 **印刷ポート番号**

本製品と通信を行うためのポート番号です。
1024 ～ 9514、9516 ～ 65534 までの間で任意の番号に変更できます（初期値 19515）。

重要

・印刷ポート番号は、必ず本製品の印刷ポート番号と同じ番号にしてください。印刷ポート番号と本製品の印刷ポート番号が異なっていると印刷が行えません。本製品の印刷ポート番号の変更は、「基本情報」（→ P.112）で行ってください。
・印刷ポート番号を 9100 に設定しないでください。RAW 印刷が使用できなくなります。

5 認証入力待ち時間

パソコンから印刷を行ったとき、本製品から認証結果を受け取るまでの待ち時間を設定します（初期値 30 分）。設定時間を過ぎた場合、印刷データは削除されます。

6 通信タイムアウト時間

パソコンから印刷を行ったとき、本製品からの応答待ち時間を設定します（初期値 90 秒）。設定時間を過ぎた場合、通信エラーとなります（ただし、本製品の電源断や LAN ケーブル抜けなど物理的に接続が切れた場合は、本設定時間に関係なく検出時に通信エラーとなります）。

7 標準に戻す

「印刷ポート番号」、「認証入力待ち時間」、「通信タイムアウト時間」を変更している場合に、初期値に戻します。

■「セキュリティ情報」タブ



1 認証モード

設定されている認証モードが表示されます。認証モードの変更はできません。

2 指紋の登録（シングル認証モード時のみ有効）

ユーザーの指紋の登録状況が表示されます。指紋が登録されていると指のアイコンが青色になり、未登録の場合はグレーになります。
指紋の登録および変更を行う場合はクリックします。クリックすると「指紋の登録／変更」ウィンドウが表示されますので、以降は「「このパソコンに管理者を登録する」を選択した場合」（→ P.45）の手順 2（→ P.45）～手順 5（→ P.48）をご覧ください。

3 指紋登録時の入力回数（シングル認証モード時のみ有効）

シングル認証モードで指紋登録を行うときの、指紋の入力回数を設定します（初期値4回）。入力回数を少なくすると本人の照合率が下がりますので、通常は初期値でお使いください。

4 品質レベル

指紋特徴データを登録するときの基準値を設定します。基準値を上げるには、値を高くします。ここで設定した値より低いレベル（低品質）の指紋情報は、登録できません（初期値は「7」）。

5 照合レベル

本製品で入力した指紋特徴データと登録されている指紋特徴データを照合するときの精度を設定します。精度を上げるには、値を高くします。認証に失敗する場合は、値を低くすると改善される場合があります（初期値は「7」）。

6 標準に戻す

「指紋登録時の入力回数」、「印刷依頼時の品質レベル」、「照合時のセキュリティレベルの設定値」を変更している場合に、初期値に戻します。

重要

・初期値で認証に失敗する場合は、品質レベルの値を下げて指紋を再登録してください。それでも失敗する場合は、照合レベルの値を下げると改善される場合があります。ただし、他人受理率が上がりますので、通常は初期値でお使いください。

ポートの削除

ポートを削除する場合は、次の手順を行ってください。

1 次の手順で「プリンタ」フォルダを開きます。

■ Windows Vista の場合

1. （スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

■ Windows XP の場合

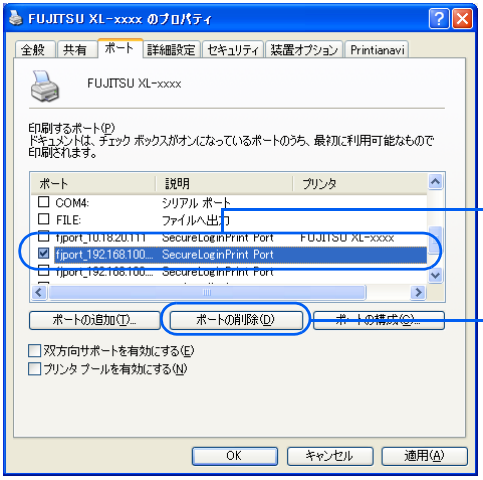
「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。

2 本製品に接続しているプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

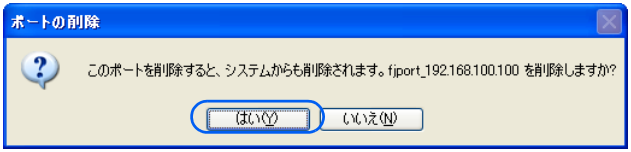
3 「ポート」タブをクリックします。

4 削除したいポート以外のポート（「FILE：」など）の☐をクリックして☑にし、「適用」をクリックします。

5 (1) 削除したいポートを選択して、(2)「ポートの削除」をクリックします。



6 「はい」をクリックします。



ポートの削除には管理者の認証が必要なため、次のウィンドウが表示されます（表示されるウィンドウは、「新規インストールと管理者情報の登録」（→ P.40）の手順9（→ P.44）の選択内容により異なります）。

■「このパソコンに管理者を登録する」選択時



■「SecureLoginBox より管理者を選択する」選択時



POINT

・パソコンに指紋センサーが接続されていない、指紋センサーが故障したなどの理由で指紋入力ができない場合は、「指紋センサーが応答しません」と表示されます。この場合は、ウィンドウ右下のパスワード入力ボタンをクリックし、表示されたウィンドウでパスワードを入力することで認証を行うことができます。詳しくは、「指紋センサーが故障し、指紋入力ができません。」（→ P.136）をご覧ください。

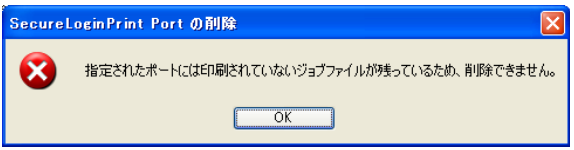


7 「SecureLoginPrint　ソフトウェア」のインストール時に管理者情報として登録した指のいずれかで指紋入力を行います。

読み込みが正常に行われると、「良好です」と表示され、ポートが削除されます。
認証に失敗した場合は、「管理者と認証できませんでした」と表示されます。何度も認証に失敗する場合は、「指紋入力時のトラブル」（→ P.135）をご覧ください。

POINT

・削除しようとするポートにジョブが残っている場合は、次の画面が表示され、ポートを削除できません。



「OK」をクリックすると、「選択されたポートを削除することができません」と表示されるので、「OK」をクリックしてください。その後、「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」を使用してジョブを削除してから、再度ポートの削除を行ってください。「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」については、「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」（→ P.86）をご覧ください。

・削除しようとするポートにプリンタが割り当てられている場合は、次の画面が表示され、ポートを削除できません。



「OK」をクリックすると、「選択されたポートを削除することができません」と表示されるので、「OK」をクリックしてください。その後、プリンタの接続先ポートを変更し、処理を続行してください。

2 SecureLoginPrint JobService ／ SecureLoginPrint エージェント

ここでは、「SecureLoginPrint JobService」「SecureLoginPrint エージェント」の機能や使い方について説明します。

機能と使い方

POINT

・「SecureLoginPrint JobService」と「SecureLoginPrint エージェント」の 2 つのソフトウェアが起動していないと、印刷はできません。

■SecureLoginPrint JobService

「SecureLoginPrint JobService」は、サービスとして Windows に登録され、Windows 起動時に自動的に開始されます。ローカルスプーラの状態を監視して、本製品との通信を行います。「SecureLoginPrint JobService」が停止している場合は、印刷処理が実行できません。次で説明する「SecureLoginPrint エージェント」を使用すれば、サービスが起動しているかどうかを確認できます。起動していない場合は、管理者権限でログオンし「SecureLoginPrint エージェント」アイコンの右クリックメニューから「JobService の開始」をクリックすることで起動できます。

■SecureLoginPrint エージェント

「SecureLoginPrint エージェント」は、Windows 起動時に自動的に開始され、画面右下の通知領域に常駐するソフトウェアです。印刷処理を監視し、本製品との通信や印刷ジョブの状況に応じたポップアップメッセージ（→ P.83）を表示したり、認証が必要になった場合に指紋入力画面を表示したりします。

「SecureLoginPrint エージェント」が起動していない場合は、印刷処理が実行できません。起動していれば、画面右下の通知領域に次のアイコンが表示されています。表示されていない場合は、（スタート）（Windows XP の場合は「スタート」ボタン）→「すべてのプログラム」→「SecureLoginPrint」→「SecureLoginPrint エージェント」の順にクリックすることで起動できます。



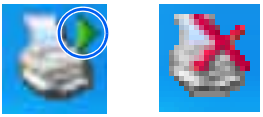
「SecureLoginPrint エージェント」アイコン

□ 通知領域の「SecureLoginPrint エージェント」アイコンからの操作

画面右下の通知領域に表示される「SecureLoginPrint エージェント」アイコンから、次の操作を行うことができます。

・「SecureLoginPrint JobService」の状態確認を行う
「SecureLoginPrint JobService」の起動、異常状態をアイコンの変化で示します。

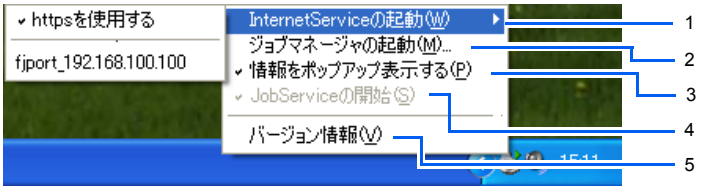
起動中の状態　　異常状態



POINT

・異常状態のアイコンになっている場合は、管理者権限でログオン後「SecureLoginPrint エージェント」アイコンの右クリックメニューから「JobService の開始」をクリックし、「SecureLoginPrint JobService」を起動します。「SecureLoginPrint エージェント」アイコンから起動できない場合は、「コンポーネントの変更／修正／削除」（→ P.54）をご覧になり、「SecureLoginPrint ソフトウェア」の再インストールを行ってください。

・右クリックメニューから、「SecureLoginPrint Internet Service」の起動、「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」の起動、「SecureLoginPrint JobService」の起動を行う



1. 「SecureLoginPrint Internet Service」を起動します。詳しくは、「Web ブラウザを使用した管理」（→ P.97）をご覧ください。
2. 「SecureLoginPrint　ジョブマネージャ」を起動します。詳しくは、「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」（→ P.86）をご覧ください。
3. 状況に応じたポップアップメッセージ（→ P.83）を表示します。クリックして ✓ の状態にするとポップアップします。✓ がつかない状態の場合は、ポップアップしません。
4. 「SecureLoginPrint JobService」を起動します。クリックして ✓ の状態にするとサービスを起動します（起動中は文字がグレー表示になります）。✓ がつかない状態の場合は、サービスが停止中であることを示します。

5.「SecureLoginPrint エージェント」のバージョン情報を表示します。



POINT

・「SecureLoginPrint Internet Service」の「ネットワークサービス（管理者モードのみ）」（→ P.115）で「Internet Service（HTTPS）」を「無効」に設定している場合は、「https を使用する」をクリックして ✔ がつかない状態にしてから、起動してください。



□「SecureLoginPrint エージェント」のポップアップメッセージについて

「SecureLoginPrint エージェント」アイコンを右クリックして表示されるメニューで、「情報をポップアップ表示する」を ✔ の状態にしていると、「SecureLoginPrint エージェント」からは、状況に応じて次の例のようなポップアップメッセージが表示されます。
表示されるメッセージの一覧と説明・対処方法については、「メッセージ一覧」（→ P.148）をご覧ください。

・印刷実行後、認証印刷可能（本製品側での指紋入力待ち）状態になったとき



・接続待ち（同時接続数 11 以上の印刷待ち合わせ）などにより、設定タイムアウト時間が経過し印刷ジョブが削除されたとき



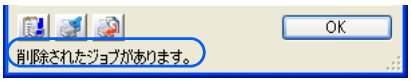
・通信エラーになったとき



・接続待ち（同時接続数が 11 以上の場合の印刷待ち合わせ）



印刷ジョブが削除されたときは、ウィンドウ左下に「削除されたジョブがあります」と表示され、「OK」をクリックするまで閉じません。

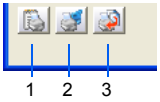


それ以外（「削除されたジョブがあります」が表示されていない）のメッセージは、同じウィンドウに発生した状態を示すメッセージが表示され、次のいずれかの状態になると自動的に閉じます。

- 印刷が完了した場合
- ユーザー（または管理者）が「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」から印刷ジョブを削除し、残りのジョブがなくなった場合

□「SecureLoginPrint エージェント」のポップアップメッセージのボタンについて

ポップアップメッセージの左下に表示されるボタンは、それぞれ次の機能を持っています。



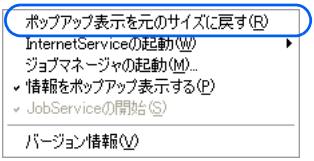
1 「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」を起動します。

2 「SecureLoginPrint Internet Service」を起動します。

3 Web ブラウザを起動し迂回印刷ページを表示します。
迂回印刷ページについて、詳しくは「指紋センサーが故障し、指紋入力ができません。」（→ P.136）をご覧ください。

POINT

- 「SecureLoginPrint エージェント」のポップアップメッセージから、上記 2 のボタンをクリックして「SecureLoginPrint Internet Service」を起動したり、3 のボタンをクリックして迂回印刷ページを表示したりするためには、「SecureLoginPrint Internet Service」の「ネットワークサービス設定」（→ P.115）で「Internet Service（HTTPS）」が「有効」に設定されている必要があります（ご購入時の設定では有効になっています）。
- 「SecureLoginPrint エージェント」のポップアップメッセージで「OK」をクリックしてメッセージを閉じた場合、画面右下の通知領域に表示される「SecureLoginPrint エージェント」アイコンを右クリックすると、右クリックメニューに「ポップアップ表示を元のサイズに戻す」が追加されています。



印刷完了または印刷ジョブが削除されるまでの間は、追加されたメニューを選択することで、再度ポップアップメッセージを表示させることができます。

3 SecureLoginPrint ジョブマネージャ

ここでは、「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」の機能や使い方について説明します。

機能と起動方法

「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」は、印刷のジョブを一覧表示したり、ジョブの取り消しを行ったりするソフトウェアです。次の手順で起動できます。

1 次のいずれかの操作を行います。

・画面右下の通知領域にある「SecureLoginPrint エージェント」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「ジョブマネージャの起動」をクリックします。



・画面右下の通知領域にある「SecureLoginPrint エージェント」アイコンをダブルクリックします。

・(スタート)(Windows XP の場合は「スタート」ボタン)→「すべてのプログラム」→「SecureLoginPrint」→「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」の順にクリックします。

・「SecureLoginPrint エージェント」のポップアップメッセージ(→ P.83)が表示されている場合は、メッセージウィンドウ左下のボタンをクリックします。



指紋入力画面が表示されます。



2 指紋センサーに指紋を入力します。

認証が完了すると、パソコンに登録されているポートのうち、認証されたユーザーが参照・操作可能なポートの一覧が表示されます。

POINT

- シングル認証モードで運用している場合で、パソコンに指紋センサーが接続されていない、指紋センサーが故障したなどの理由で指紋入力ができないときは、2 つあるボタンの左側（下図の囲み部分の左側）をクリックし、パスワードを入力して認証を行うことができます。このとき入力するパスワードは、ポートの追加時に指定したものです（→ P.66）。
- 指紋センサーが故障したなどの理由で指紋入力ができないときは、2 つあるボタンの右側（下図の囲み部分の右側）をクリックし、パスワードを入力して認証を行うことができます（管理者のみ）。



3 (1) ジョブ一覧を表示させたいポートをクリックし、(2)「OK」をクリックします。



「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」ウィンドウが表示されます。

POINT

- 管理者はすべてのポートを一覧表示できます。
  シングル認証モード時は、ユーザー登録した人だけポートが表示されます。
  ダブル認証モード、SecureLoginBox 連携認証モード時はすべてのポートが表示されます。ただし、選択後に表示される印刷ジョブは印刷したユーザーのみです。
- ポート名の前に表示されているアイコンは、それぞれ次の意味を表しています。
  …シングル認証モードのポート
  …ダブル認証モードのポート
  …SecureLoginBox 連携認証モードのポート

画面の構成

「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」ウィンドウ各部の機能は次のとおりです。



1 ポート名

選択中のポート名が表示されます。

2 メニューバー

メニューバーの各項目から、次の操作ができます。

表：メニューバーの機能

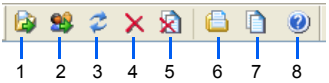
メニュー		説明
操作	ポートの選択	認証中のユーザーが表示・操作可能なポートの選択画面を表示します。ジョブ一覧の表示を行うポートを変更することができます。
	ユーザーの切替	現在認証中のユーザーを変更するための指紋入力ウィンドウを表示します。認証後、変更したユーザーが表示・操作可能なポートの選択画面が表示されますので、ジョブ一覧を表示するポートを選択してください。
	印刷ジョブの削除	選択したジョブを削除します。[注 1]
	印刷履歴の削除	すべての印刷履歴を削除します。[注 2]
	印刷履歴の保存	表示中の印刷ジョブの履歴を CSV ファイルに保存します。[注 2]
表示	ツールバー	ツールバーの表示、非表示を切り替えます。
	ステータスバー	ステータスバーの表示、非表示を切り替えます。
	グリッドラインの表示	ジョブ一覧の「枠線」の表示、非表示を切り替えます。
	スプール中のジョブを表示/印刷ジョブの履歴を表示	ジョブ一覧に表示する内容を切り替えます。[注 2]
	最新の情報	ジョブ一覧の内容を最新情報に更新します。
ヘルプ	目次	「トピックスの検索」を表示します。
	バージョン情報	「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」のバージョン情報を表示します。

注 1　一般ユーザーは、印刷時に入力した指紋（ダブル認証モード時）またはユーザー名（SecureLoginBox 連携認証モード時）に一致する指紋のジョブのみ削除できます。

注 2　管理者とポート管理者のみ、印刷履歴を表示、保存、削除できます。

3 ツールバー

メニューバーの項目のうち、よく使用する機能がアイコンの状態で並んでいます。



表：ツールバーの機能

No	説明
1	ジョブ一覧の表示を行うポートを切り替えます。
2	認証中のユーザーを切り替えます。
3	ジョブ一覧の内容を最新情報に更新します。
4	選択したジョブを削除します。
5	すべての印刷履歴を削除します。
6	スプール中のジョブを表示します。
7	印刷ジョブの履歴を表示します。
8	「トピックスの検索」を表示します。

4 ジョブ一覧

スプール中のジョブ、または印刷ジョブの履歴が表示されます。ジョブ一覧には次の項目が含まれます。

スプール中のジョブ一覧

表：スプール中のジョブの詳細項目

情報名	説明
文書名	印刷データの名前が表示されます。状態に応じて、文書名の左側に表示されるアイコンも次のように変化します。 **シングル認証モード時** ・  ：スプール中－印刷待機中 ・  ：印刷待機中 ・  ：印刷中 **ダブル認証モード時** ・  ：スプール中－指紋入力待ち ・  ：スプール中－印刷待機中 ・  ：指紋入力待ち ・ ：印刷待機中 ・  ：印刷中 **SecureLoginBox 連携認証モード時** ・  ：スプール中－ユーザー名入力待ち ・  ：スプール中－印刷待機中 ・  ：ユーザー名入力待ち ・  ：印刷待機中 ・  ：印刷中
状態	印刷を行ったドキュメントの状態が表示されます。「指紋入力待ち」「印刷中」「印刷待機中」のいずれかが表示されます。また、印刷データが大きい場合など、処理状態によっては「スプール中」が表示されます。
所有者	印刷を実行したユーザー名が表示されます。
ホスト名	印刷を実行したパソコンのホスト名が表示されます。
受付時刻	印刷を実行した時間が表示されます。
プリンタ名	印刷を実行した Windows に登録されているプリンタ名が表示されます。

POINT

- スプール中のジョブ一覧上でジョブを右クリックすると、メニューが表示されます。この右クリックメニューからは、メニューバーやツールバーと同じ機能を実行できます。

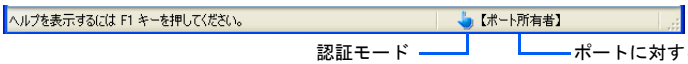
印刷ジョブの履歴一覧

表：印刷ジョブの詳細項目

情報名	説明
分類	印刷が完了したか、ジョブが削除されたかの情報が表示されます。 情報によって左側のアイコンは次のようになります。 ：印刷完了 ：認証入力待ち時間を超えたためにジョブが削除されたとき ：次の理由により、ジョブが削除またはキャンセルされたとき ・「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」からジョブを削除した ・パソコンでの指紋入力待ち、またはユーザー名入力待ち時にキャンセルボタンが押された ・印刷中の通信エラーによってジョブが削除された ・パソコン再起動などにより「SecureLoginPrint JobService」が開始されたためジョブが削除された
発生時刻	印刷完了時刻、またはジョブ削除時刻が表示されます。
文書名	印刷データの名前が表示されます。
所有者	印刷を実行したユーザー名が表示されます。
ホスト名	印刷を実行したパソコンのホスト名が表示されます。
受付日時	印刷を実行した時間が表示されます。
プリンタ名	印刷を実行した Windows に登録されているプリンタ名が表示されます。

5 ステータスバー

ジョブ一覧を表示しているポートの認証モード、および表示しているユーザーの、ポートに対する権限が表示されます。



ポートに対する権限は、それぞれ次の意味になります。

表：ポートに対する権限の説明

権限	説明
【管理者】	「SecureLoginPrint Port」の管理者です。
【ポート所有者】	シングル認証モードの登録ユーザーです。
【一般ユーザー】	ダブル認証モードや SecureLoginBox 連携認証モードで印刷を行った一般ユーザーです。

4 管理者の変更

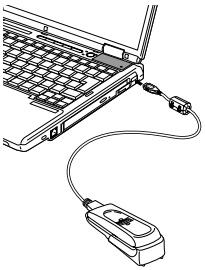
ここでは、SecureLoginPrint の管理者情報を変更する方法を説明します。管理者自体を変更したり、管理者情報として登録した指紋・パスワードを変更したりできます。

管理者情報の変更は、次のいずれかのタイミングで行えます。
・「SecureLoginPrint ソフトウェア」インストール時
・コンポーネントの追加・修正時
・「SecureLoginPrint ソフトウェア」インストール後に「管理者の登録ウィザード」を起動

ここでは、「管理者の登録ウィザード」を起動して変更する方法を説明します。

1 コンピュータの管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

2 指紋センサーを内蔵していないパソコンの場合は、USB　コネクタに指紋センサーを接続します。



3 （スタート）（Windows XP の場合は「スタート」ボタン）→「すべてのプログラム」→「SecureLoginPrint」→「管理者の変更」の順にクリックします。

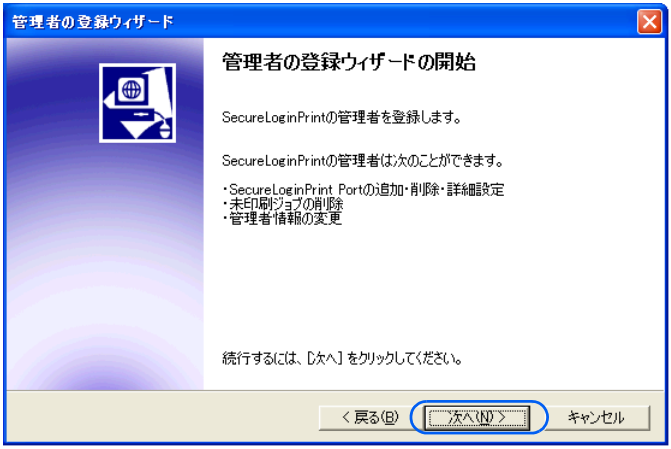
■ Windows Vista の場合

1. 「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています」と表示されたら「許可」をクリックします。
2. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「続行」をクリックします。「続行」が表示されず、「管理者アカウント」が表示された場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックします。
   「管理者の登録ウィザードの開始」と表示されます。

■ Windows XP の場合

インストーラが起動し、「管理者の登録ウィザードの開始」と表示されます。

4 「次へ」をクリックします。



管理者の変更には管理者の認証が必要なため、次のウィンドウが表示されます（表示されるウィンドウは、「新規インストールと管理者情報の登録」（→ P.40）の手順9（→ P.44）の選択内容により異なります）。

■「このパソコンに管理者を登録する」選択時



■「SecureLoginBox より管理者を選択する」選択時



POINT

・パソコンに指紋センサーが接続されていない、指紋センサーが故障したなどの理由で指紋入力ができない場合は、「指紋センサーが応答しません」と表示されます。この場合は、ウィンドウ右下のパスワード入力ボタンをクリックし、表示されたウィンドウでパスワードを入力することで認証を行うことができます。詳しくは、「指紋センサーが故障し、指紋入力ができません。」（→ P.136）をご覧ください。



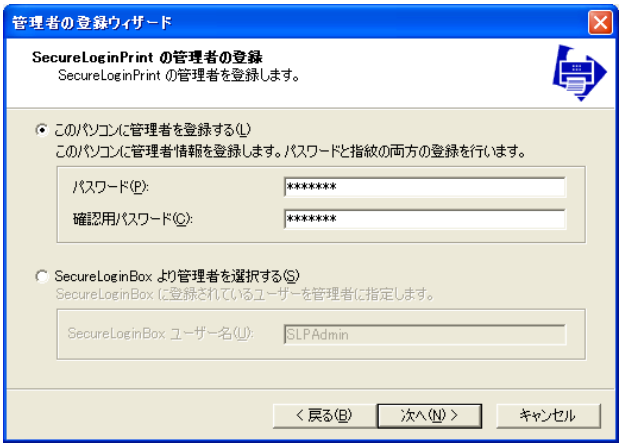
5 「SecureLoginPrint　ソフトウェア」のインストール時に管理者情報として登録した指のいずれかで指紋入力を行います。

読み込みが正常に行われると、「良好です。」と表示されます。
認証に失敗した場合は、「管理者と認証できませんでした」と表示されます。何度も認証に失敗する場合は、「指紋入力時のトラブル」（→ P.135）をご覧ください。

6 管理者の登録方法やパスワードを変更し、「次へ」をクリックします。

■「このパソコンに管理者を登録する」場合

操作方法は、「「このパソコンに管理者を登録する」を選択した場合」（→ P.45）をご覧ください。



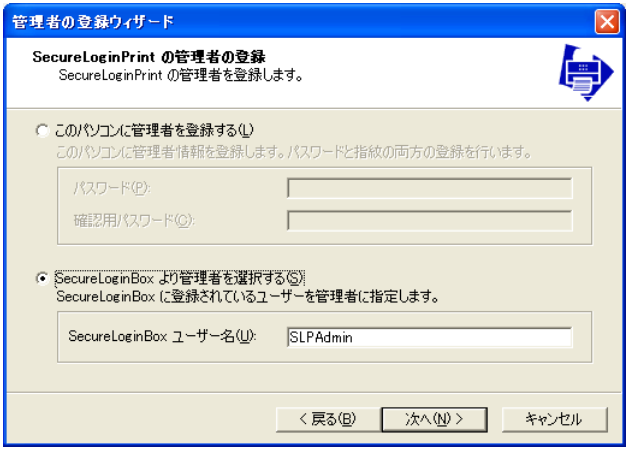
POINT

・登録した指先をクリックするとメニューが表示され、登録した指紋の変更や削除ができます。



■「SecureLoginBox より管理者を選択する」場合

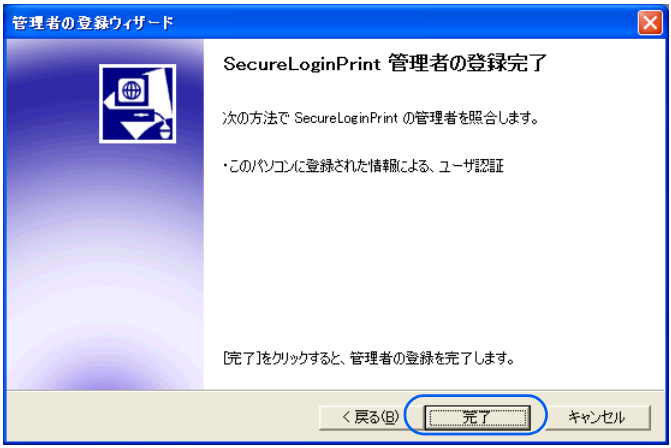
操作方法は、「「SecureLoginBox より管理者を選択する」を選択した場合」（→ P.50）をご覧ください。



POINT

・SecureLoginBox に登録されているユーザー情報の変更／追加は、「SMARTACCESS/Premium（Windows Vista の場合は V2.0L10 以降、Windows XP の場合は V1.1L30 以降）」で行ってください。

7 「完了」をクリックします。



以上で SecureLoginPrint の管理者情報の変更は完了です。

Memo

7

第 7 章

Web ブラウザを使用した管理

本製品に内蔵されている Web サーバー機能を利用して、Web ブラウザ画面から本製品の状態を参照したり、設定を変更したりする方法を説明します。

1 Web サーバー機能の概要 98
2 Web サーバー機能の使い方 101
3 各画面の詳細 109

1 Web サーバー機能の概要

本製品に内蔵されている Web サーバー機能を「SecureLoginPrint Internet Service」と呼びます。ここでは、「SecureLoginPrint Internet Service」を利用するための動作環境などについて説明します。

「SecureLoginPrint Internet Service」の概要

「SecureLoginPrint Internet Service」は、ネットワークに接続された本製品の状態を参照したり、本製品の設定を変更したりするためのコンテンツです。
本製品に Web サーバー機能として搭載されているため、Web ブラウザから本製品の設定変更などが可能です。

動作環境

「SecureLoginPrint Internet Service」は、「Internet Explorer 7」および「Internet Explorer 6.0」で動作します。
なお、Web ブラウザの次の機能を使用可能にしておいてください（各機能の設定方法については、Web ブラウザのヘルプなどをご覧ください）。

- JavaScript（必須）
  ステータス表示の自動更新や設定時の処理に JavaScript を使用しているため、JavaScript 未対応のブラウザでは正しく動作しません。
- スタイルシート（推奨）
  スタイルシートが使用できない場合でも、「SecureLoginPrint Internet Service」の機能には差し支えありませんが、表示が見にくくなる場合があります。
- Cookie の使用（任意）
  Cookie が使用可能な場合は、ユーザー（Web ブラウザ）ごとにステータス表示の自動更新に関する設定を行うことができます。Cookie を使用したくない場合は、本製品側に設定された初期設定で動作するようにも設定できます。
  「情報更新設定」（→ P.111）参照
  「管理者情報（管理者モードのみ）」（→ P.119）参照

設定できる項目の一覧

「SecureLoginPrint Internet Service」で設定できる項目は次のとおりです。詳しくは、「各画面の詳細」（→ P.109）をご覧ください。
なお、設定の変更は、「管理者モード」に切り替えてから行ってください（→ P.104）。

表：「SecureLoginPrint Internet Service」設定項目一覧

メニュー名			設定できる項目	設定値（ご購入時の初期設定）
ステータス情報	情報更新設定		自動更新	チェックあり
			更新間隔	5 秒
ネットワーク情報	基本情報	基本情報	Ethernet タイプ	自動認識
		TCP/IP 情報	DHCP 自動取得	設定
			ホスト名	設定なし
			IP アドレス	設定なし
			サブネットマスク	設定なし
			ゲートウェイ	設定なし
			印刷ポート番号	19515
	SNMP 情報	コミュニティ名	トラップ発行	public
			MIB 参照	public
		情報	システム管理者	設定なし
			装置名	設定なし
			設置場所	設定なし
		トラップ通知先	IP アドレス	設定なし
			トラップ発行条件	設定なし
			（トラップ通知先 1 ～ 4）	設定なし
	ネットワークサービス	ネットワークサービス設定	Internet Service（HTTP）	有効
			Internet Service（HTTPS）	有効
			SNMP	有効
			RAW	有効
			装置検索	有効
			アクセス制御	すべてのアクセスを許可
			制御設定	許可
			アクセス制御リスト	設定なし

表：「SecureLoginPrint Internet Service」設定項目一覧

メニュー名			設定できる項目	設定値（ご購入時の初期設定）
オプション情報	管理者情報		管理者のパスワード	設定なし
	システム情報	プリンタパワーセーブ解除	プリンタパワーセーブ解除	有効
		暗号化方式	暗号化方式	ALL
		ブザー	ブザー	設定
		システム時刻	NTP サーバ	解除
			サーバアドレス	設定なし
			システム時刻	2006/01/01 00:00:00
		サーバ証明書	国コード	設定なし
			都道府県名	設定なし
			市町村名	設定なし
			組織名	設定なし
			部署名	設定なし
			装置名	XL-SE100F
			E メールアドレス	設定なし
			有効期限	2030/12/31
	ログ情報	SYSLOG	SYSLOG サーバ	解除
			ログレベル	印刷履歴
			サーバアドレス	設定なし
迂回印刷	迂回印刷設定		シングル認証モード	設定
			SecureLoginBox 連携認証モード	設定
	迂回印刷（管理者用）		パソコンの IP アドレス（変更：）	設定なし

2 Web サーバー機能の使い方

「SecureLoginPrint Internet Service」の表示方法や基本的な操作方法は次のとおりです。

表示方法

POINT

- 「SecureLoginPrint Internet Service」を開始する前に、本製品に IP アドレスが設定されていることを確認してください。IP アドレスの設定方法については、「IP アドレスの設定」（→ P.21）をご覧ください。
- 本製品がネットワークに接続され、AC アダプタが接続されていることを確認してください。

■Web ブラウザから直接表示

Web ブラウザを起動し、アドレス欄に次のいずれかの URL を入力して表示します。

POINT

- 本製品は http と https の切り替えが可能です。https を使用すると、全通信が暗号化されます。http と https の切り替え方法は、「ネットワークサービス（管理者モードのみ）」（→ P.115）をご覧ください。

- DNS サーバーで登録した名前を指定する
  「http://」の後に、DNS サーバーで設定したホスト名＋ドメイン名を指定します。
  例：http://xl.security.fujitsu.com
  （ホスト名：xl、ドメイン名：security.fujitsu.com の場合。https でお使いの場合は「http」が「https」になります。）
  なお、本製品につけるホスト名は、「基本情報」（→ P.112）で設定できます。
- IP アドレスを指定する
  「http://」の後に、直接本製品の IP アドレスを指定します。
  例：http://192.168.0.11
  （本製品の IP アドレスを 192.168.0.11 に設定している場合。https でお使いの場合は「http」が「https」になります。）

■「SecureLoginPrint エージェント」アイコンから表示

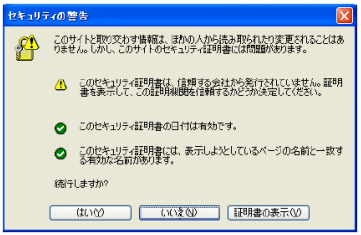
「SecureLoginPrint ソフトウェア」をインストールすると、画面右下の通知領域に「SecureLoginPrint エージェント」アイコンが表示されるようになります。このアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「InternetService の起動」→「(ポート名)」の順にクリックします。

なお、「SecureLoginPrint ソフトウェア」のインストール方法については、「新規インストールと管理者情報の登録」(→ P.40) をご覧ください。

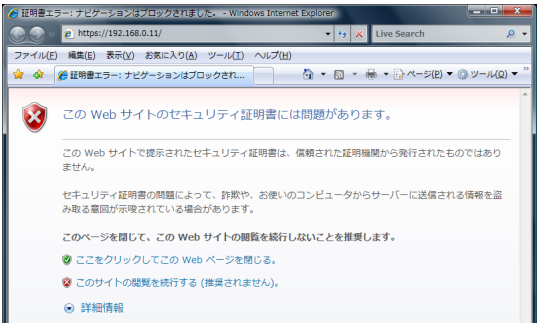


POINT

- 「https を使用する」に ✔ がついていると、「SecureLoginPrint Internet Service」は「https」で表示されます。クリックして ✔ をはずすと、「http」で表示されます。
- 「https」で表示する場合、ブラウザの設定によっては次の画面が表示されることがあります。この場合は、「はい」をクリックしてください。



- Internet Explorer 7 では、「https を使用する」に ✔ がついていると「SecureLoginPrint Internet Service」起動時に次の画面が表示されます。



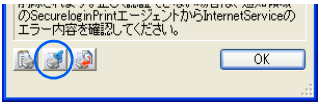
上記画面は、本製品のサーバー証明書が自己証明書のため、信頼されていない証明機関とみなされて表示されるものですが、使用上問題ありませんので、「このサイトの閲覧を続行する」をクリックしてください。

また、「このサイトの閲覧を続行する」をクリックすると、証明書エラーのためアドレスバーが赤く表示されますが、使用上問題ありません。

・「ネットワークサービス（管理者モードのみ）」（→ P.115）で「Internet Service（HTTPS）」を「無効」に設定している場合は、「https を使用する」をクリックして がつかない状態にしてから、起動してください。

■「SecureLoginPrint エージェント」のポップアップメッセージから表示

「SecureLoginPrint エージェント」のポップアップメッセージの左下に表示されるボタンをクリックします。



画面の構成

本製品に正しく接続されると、次のような画面が表示されます。



1 タイトル

タイトルロゴと本製品のモデル名が表示されます。

2 ユーザーモード切り替えボタン

ユーザーモードと管理者モードを切り替えます。切り替え方法については、「管理者モードとユーザーモードの切り替え」（→ P.104）をご覧ください。

3 メニュー

「SecureLoginPrint Internet Service」で利用できる機能が並んでいます。ユーザーモードと管理者モードで表示される項目が一部変わります。メニュー項目について、詳しくは「メニュー項目の選択」（→ P.105）をご覧ください。

4 情報・設定項目

メニューから機能を選択すると、情報や設定項目が表示されます。設定方法については、「情報の参照や設定の変更」（→ P.107）をご覧ください。

基本操作

「SecureLoginPrint Internet Service」の操作は次の流れで行います。

1. 管理者モードとユーザーモードを切り替える（→ P.104）
2. 左側のメニューから、表示や設定したい項目を選択する（→ P.105）
3. 右側の画面で、情報を参照したり、設定を変更したりする（→ P.107）

■管理者モードとユーザーモードの切り替え

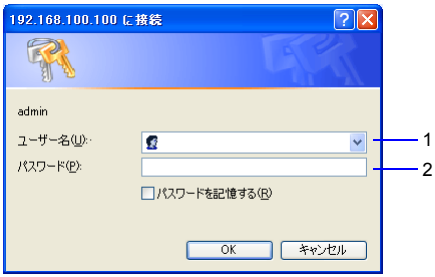
ユーザーモード切り替えボタンの文字色が黄色い方が現在のモードです。



・ユーザーモードでは、プリンタの状態や設定の表示のみ行えます。
・管理者モードでは、プリンタの状態表示と設定の変更を行えます。

□ 管理者モードに切り替える

「管理者モード」をクリックすると、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。「ユーザー名」に「slpadmin」を、「パスワード」にパスワード（ご購入時の状態では未設定）を入力して「OK」をクリックすると、管理者モードの画面に切り替わります。



1 ユーザー名

「slpadmin」固定です。

2 パスワード

ご購入時の状態では設定されていません。パスワードを設定したい場合は、「管理者情報（管理者モードのみ）」（→ P.119）をご覧ください。

POINT

・ここでのパスワードは「SecureLoginPrint Internet Service」用のもので、「SecureLoginPrint ソフトウェア」インストール時に設定したパスワードではありません。

□ ユーザーモードに切り替える

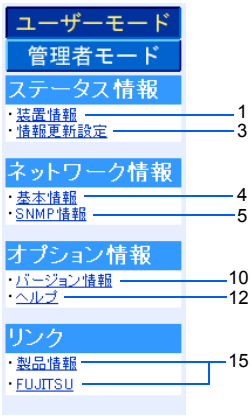
「ユーザーモード」をクリックすると、ユーザーモードの画面に切り替わります。

■ メニュー項目の選択

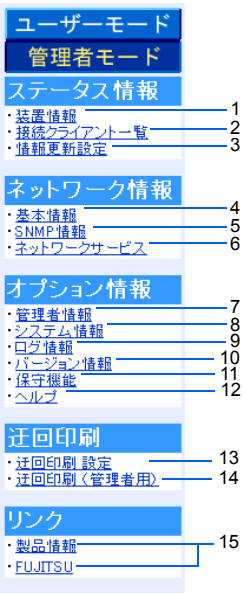
画面左側のメニュー項目から表示または設定したい項目をクリックすると、画面右側の内容が切り替わります。

メニュー項目の内容は次のとおりです。

■ユーザーモード時



■管理者モード時



1 装置情報

本体、指紋センサー、およびプリンタのステータスを表示します。詳しくは、「装置情報」（→ P.109）をご覧ください。

2 接続クライアント一覧（管理者モードのみ）

印刷を行っているクライアントの一覧を表示します。詳しくは、「接続クライアント一覧（管理者モードのみ）」（→ P.110）をご覧ください。

3 情報更新設定

「SecureLoginPrint Internet Service」で表示される情報を自動更新するための設定を行います。詳しくは、「情報更新設定」（→ P.111）をご覧ください。

4 基本情報

本製品のネットワークに関する基本情報を表示、設定します。詳しくは、「基本情報」(→ P.112) をご覧ください。

5 SNMP 情報

SNMP に関する情報を表示します。詳しくは、「SNMP 情報」(→ P.113) をご覧ください。

6 ネットワークサービス（管理者モードのみ）

本製品のネットワーク、アクセス制御に関する情報を設定します。詳しくは、「ネットワークサービス（管理者モードのみ）」(→ P.115) をご覧ください。

7 管理者情報（管理者モードのみ）

管理者情報の変更や情報更新を設定します。詳しくは、「管理者情報（管理者モードのみ）」(→ P.119) をご覧ください。

8 システム情報（管理者モードのみ）

暗号化方式、ブザー、システム時刻、サーバー証明書に関する情報を設定します。詳しくは、「システム情報（管理者モードのみ）」(→ P.120) をご覧ください。

9 ログ情報（管理者モードのみ）

SYSLOG サーバーの設定、送信するログの種類を設定します。詳しくは、「ログ情報（管理者モードのみ）」(→ P.122) をご覧ください。

10 バージョン情報

ファームウェア、BootROM、「SecureLoginPrint Internet Service」の各バージョン情報を表示します。画面例は、「バージョン情報」(→ P.123) をご覧ください。

11 保守機能（管理者モードのみ）

再起動、設定の初期化、ファームウェアの更新などを設定します。詳しくは、「保守機能（管理者モードのみ）」(→ P.124) をご覧ください。

12 ヘルプ

「SecureLoginPrint Internet Service」のヘルプを表示します。

POINT

・各画面にある [?] をクリックして、表示することもできます。

13 迂回印刷設定（管理者モードのみ）

「迂回印刷」（指紋認証なしで印刷すること）を行うかどうかを設定します。詳しくは、「迂回印刷設定（管理者モードのみ）」(→ P.128) をご覧ください。

14 迂回印刷（管理者用）（管理者モードのみ）

指定したパソコンの、すべての認証印刷データを迂回印刷します。詳しくは、「迂回印刷（管理者用）（管理者モードのみ）」(→ P.129) をご覧ください。

15 リンク

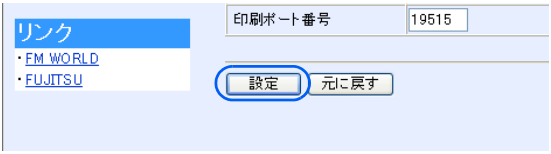
富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）および富士通ホームページ（http://jp.fujitsu.com/）を表示します。

■情報の参照や設定の変更

左側のメニュー項目を選択すると、情報や設定項目が表示されます。
管理者モードの場合は、必要に応じて設定を変更できます。

□ 設定の変更（管理者モードのみ）

設定を変更したら、「設定」をクリックします。「設定」をクリックする前に「元に戻す」をクリックすると、それまでの入力内容を破棄して変更前の状態に戻ります。



POINT

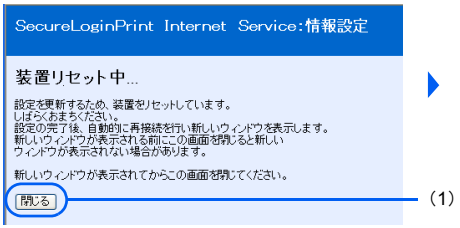
- 「設定」をクリックせずに他の項目を表示すると、入力した値は設定されることなく削除されます。他の項目に移る前に、必ず「設定」をクリックして設定を更新してください。
- 本製品の再起動時に、ネットワーク接続に時間がかかることがあります。再起動後、ブラウザ画面に「サーバが見つかりません」と表示された場合は、しばらく待ってからブラウザの再読み込み（更新）を行ってください。
  なお、本製品のIPアドレスを変更した場合は、新しいIPアドレスを指定して「SecureLoginPrint Internet Service」を表示し直してください。

「設定」をクリックすると、設定を反映するために本製品がリセットされます。リセット中、およびリセット後の動作は、設定変更を行った項目により異なります。

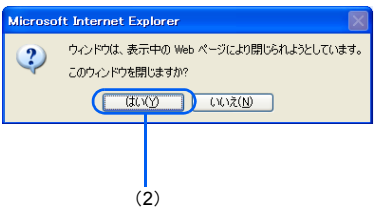
・次の項目の設定変更を行った場合、リセット後、新規ウィンドウで同じ項目の画面が表示されます。
  -「基本情報」（→ P.112）
  -「システム情報（管理者モードのみ）」（→ P.120）
  -「再起動」（→ P.125）
  -「設定の初期化」（→ P.125）
  -「ファームウェアの更新」（→ P.126）

  リセット中は次の画面が表示されます。新規ウィンドウが表示されたら、(1)「閉じる」をクリックし、(2) 続いて表示される画面で「はい」をクリックしてください。

■リセット中の画面（新規ウィンドウ下に隠れている場合があります）



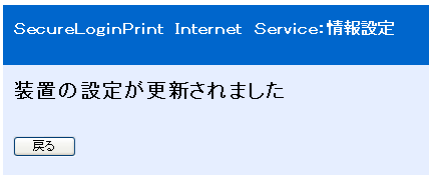
■「閉じる」クリック後の画面



・上記項目以外の設定変更を行った場合、リセット中は次の画面が表示されます。



リセットが完了すると、次の画面が表示されます。「戻る」をクリックすると、「装置情報」画面が表示されます。

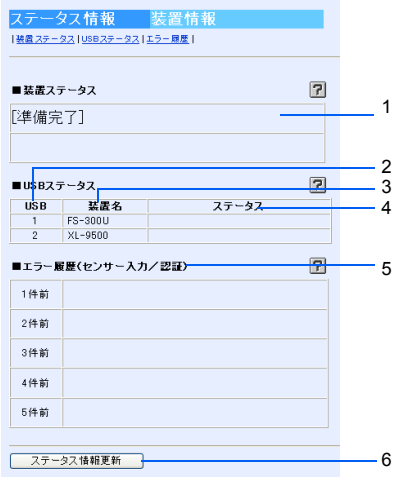


3 各画面の詳細

ここでは、各メニュー項目の詳細について説明します。

装置情報

本体、指紋センサー、およびプリンタのステータスを参照できます。



□ 装置ステータス

1 装置ステータス

本体、指紋センサー、プリンタの状態（正常かエラーか）が表示されます。エラーの場合は、対処方法も表示されます。なお、エラーは、優先度が高いものが表示されます。表示内容と意味（エラーの場合は対処方法）については、「メッセージ一覧」(→ P.148) をご覧ください。

□ USB ステータス

2 USB

USB コネクタ番号が表示されます。

3 装置名

USB コネクタに接続されている装置名（プリンタまたは指紋センサー）が表示されます。

4 ステータス

USB コネクタに接続されている装置の状態が表示されます。表示メッセージと状態は、次のとおりです。

・表示なし：正常
・未接続：接続されていません
・未サポートの装置が接続されています：未サポート装置接続時

□ エラー履歴

5 エラー履歴

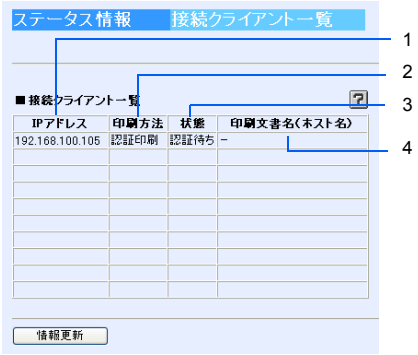
指紋センサーの入力／認証に関するエラーのうち、最新の 5 件が表示されます。
認証に成功すると、エラー履歴はすべて消去されます。

6 ステータス情報更新

ステータス情報を最新の情報に更新します。

接続クライアント一覧（管理者モードのみ）

本製品を使用して印刷を行っているクライアントの一覧を表示します。



1 IP アドレス

クライアントの IP アドレスが表示されます。

2 印刷方法

印刷方法（認証印刷、RAW 印刷、または迂回印刷）が表示されます。

3 状態

認証から印刷までの処理状況が表示されます。

・認証待ち：アプリケーションで印刷が実行され、本製品での認証待ちの状態です。
・印刷待ち：認証が完了し、プリンタでの印刷開始を待っている状態です。
・印刷中：プリンタで印刷を行っている状態です。

4 印刷文書名（ホスト名）

印刷中の文書名、およびホスト名が表示されます。

POINT

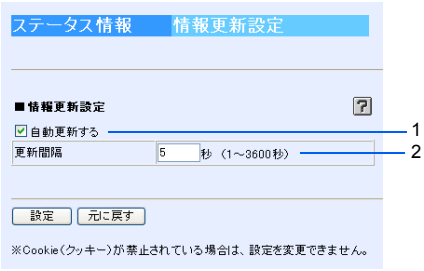
・印刷方法が「RAW 印刷」、状態が「認証待ち」の場合は、印刷文書名（ホスト名）は表示されません。
・指紋センサーが故障したなどの理由で指紋入力ができない場合は、印刷するポートを RAW 印刷のポートに変更することで、認証を行わずに印刷することができます。詳しくは、「指紋センサーが故障し、指紋入力ができません。」（→ P.136）をご覧ください。

情報更新設定

本製品の状態表示を自動更新するかどうかや、更新間隔の設定を Web ブラウザごとに行うことができます。ユーザーモードと管理者モードのどちらでも設定できます。

POINT

・本機能は、管理者がユーザー固有の情報更新設定を許可しているときに設定できます。また、本機能を使用するには、あらかじめ Web ブラウザで Cookie の使用を許可しておく必要があります。
設定を行わない場合や、Cookie の使用を禁止している場合は、管理者が設定した初期設定で動作します。
「管理者情報（管理者モードのみ）」（→ P.119）参照



□ 情報更新設定

1 自動更新する

自動更新するときに☑にします。

2 更新間隔

自動更新するときの更新間隔を 1 ～ 3600 秒の範囲で設定します。

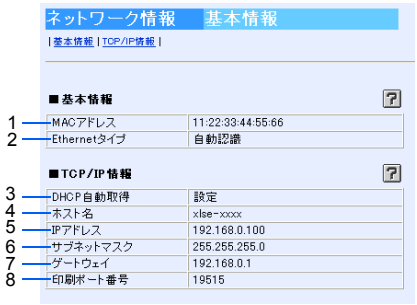
POINT

・更新間隔を短く設定すると、画面をスクロールしにくくなることがあります。その場合は、更新間隔を長くしてください。

基本情報

ネットワーク情報を表示、設定します。なお、設定は管理者モードのみ行えます。

■ユーザーモード時



■管理者モード時



☐ 基本情報

ネットワーク関連の基本的な情報を表示、設定します。

1 MAC アドレス

MAC アドレスが表示されます。変更はできません。

2 Ethernet タイプ

次のうちから 1 つの Ethernet タイプを表示、設定します。

自動認識（初期値）、100Mbps Full、100Mbps Half、10Mbps

☐ TCP/IP 情報

TCP/IP 関連の情報を表示、設定します。

3 DHCP 自動取得

DHCP による IP アドレス自動取得の状態を表示、設定します。

・設定（初期値）：IP アドレスを DHCP により取得します。

・解除：IP アドレスを直接設定します。

4 ホスト名

DNS サーバーへ登録するホスト名を表示、設定します（半角英数 31 文字以内。最初と最後の文字以外は「-」（半角ハイフン）も使用可能）。

「DHCP 自動取得」が「設定」のときのみ有効です。

5 IP アドレス

IP アドレスを表示、設定します。

6 サブネットマスク

サブネットマスクを表示、設定します。

7 ゲートウェイ

ゲートウェイアドレスを表示、設定します。

8 印刷ポート番号

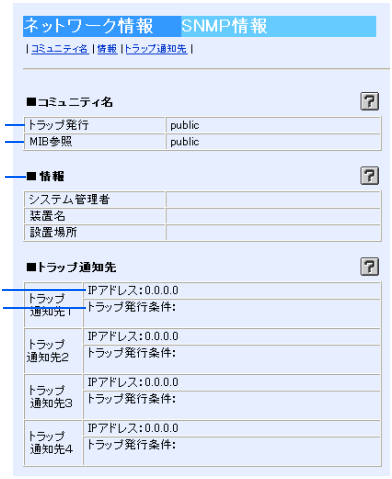
印刷を受け付ける際に使用するポート番号を表示、設定（1024 ～ 9514、9516 ～ 65534）します（初期値：19515）。ポート番号を 9100 に設定すると RAW 印刷が使用できなくなります。

また、印刷ポート番号は、必ず「SecureLoginPrint Port」の印刷ポート番号と同じ設定にしてください。「SecureLoginPrint Port」の印刷ポート番号の変更は、「「基本情報」タブ」（→ P.76）で行ってください。

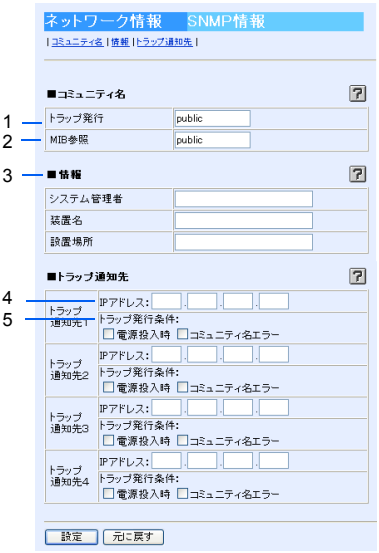
SNMP 情報

本製品の SNMP 関連の情報を表示、設定します。設定は管理者モードのみ行えます。

■ユーザーモード時



■管理者モード時



□ コミュニティ名

SNMP のコミュニティ情報を表示、設定します。

POINT

- 発行されたトラップを SNMP マネージャが受信するためには、両方が同じコミュニティ（管理グループ）に存在することが必要です。コミュニティ名が空白または不一致の場合は、SNMP マネージャはトラップを受信できませんのでご注意ください。
- 初期値は「public」です。セキュリティ対策のため、変更することをお勧めします。

1 トラップ発行

トラップ発行時のコミュニティ名を表示、設定（半角英数 15 文字以内）します。

2 MIB 参照

MIB 参照時のコミュニティ名を表示、設定（半角英数 15 文字以内）します。

□ 情報

SNMP マネージャに通知する情報を表示、設定します。

POINT

- 情報の設定は、全角 31 文字以内での入力も可能ですが、記号（㈱や℡など）や半角カナには対応していません。また、お使いの環境によっては正しく表示されない場合がありますので、半角英数字での入力をお勧めします。

3 システム管理者、装置名、設置場所

SNMP マネージャに通知する情報（システム管理者、装置名、設置場所）を表示、設定（各項目半角 63 文字以内）します。

□ トラップ通知先

4ヶ所までのトラップ通知先と発行条件を表示、設定します。

4 IP アドレス

トラップ発行先 IP アドレスを表示、設定します。

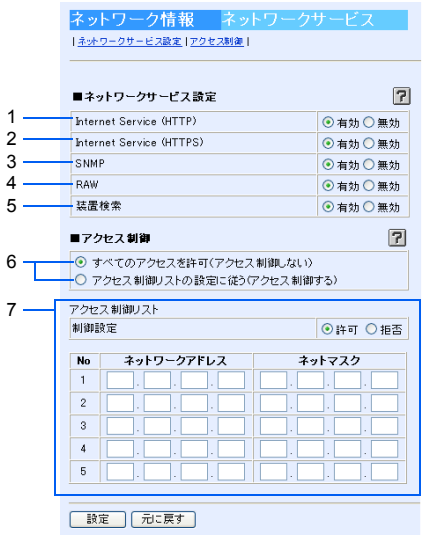
5 トラップ発行条件

トラップ発行条件を表示、設定します（設定は、通知する条件を☑にします）。

- 電源投入時：本製品の電源を入れたときにトラップを発行します。
- コミュニティ名エラー：SNMP マネージャが本製品にアクセスする際、コミュニティ名が異なっているとトラップを発行します。

ネットワークサービス（管理者モードのみ）

本製品のセキュリティ機能を強化するために、ネットワーク機能やアクセス制限に関する設定や表示を行います。



□ ネットワークサービス設定

ネットワークサービスと印刷ポートの有効／無効を個別に設定します。

1 Internet Service(HTTP)

「SecureLoginPrint Internet Service」への HTTP 接続の有効／無効を設定します（初期設定：有効）。なお、「HTTP」「HTTPS」の両方を無効に設定することはできません。

HTTP を無効にした場合は、「http:// ～」から始まる URL を指定してアクセスすると「404 Not Found」と表示され、「SecureLoginPrint Internet Service」が利用できません。その場合は、「https:// ～」で指定してください。

2 Internet Service(HTTPS)

「SecureLoginPrint Internet Service」への HTTPS 接続の有効／無効を設定します（初期設定：有効）。

HTTPS を無効にした場合は、「https:// ～」から始まる URL を指定してアクセスすると「404 Not Found」と表示され、「SecureLoginPrint Internet Service」が利用できません。その場合は、「http:// ～」で指定してください。

3 SNMP

「SNMP 情報」（→ P.113）で設定した内容の有効／無効を設定します（初期設定 ： 有効）。無効に設定すると、次のように動作します。

・ SNMP マネージャにトラップを送信しなくなります。
・ SNMP マネージャからの MIB 情報が参照できなくなります。

4 RAW

RAW 印刷の有効／無効を設定します（初期設定 : 有効）。無効に設定して RAW 印刷を行った場合、エラーとなり印刷ができなくなります。

POINT

・指紋センサーが故障したなどの理由で指紋入力ができない場合は、印刷するポートを RAW 印刷のポートに変更することで、認証を行わずに印刷することができます。詳しくは、「指紋センサーが故障し、指紋入力ができません。」（→ P.136）をご覧ください。

5 装置検索

「IP アドレス設定ユーティリティ」「SecureLoginPrint Port」による、本製品検索の有効／無効を設定します（初期設定 : 有効）。

□ アクセス制御

本製品にアクセスできるパソコン（IP アドレス）を制限します。

ネットワークアドレスとネットマスクを使用した「アクセス制御リスト」を設定することで、本製品へのアクセス許可を IP アドレスで管理できます。

6 すべてのアクセスを許可（アクセス制御しない）／アクセス制御リストの設定に従う（アクセス制御する）

本製品にアクセスできるパソコンを IP アドレスにより制限する／しないを設定します（初期設定：すべてのアクセスを許可（アクセス制御しない））。詳しくは、「アクセス制御の設定方法」（→ P.116）をご覧ください。

7 アクセス制御リスト

本製品にアクセスできるパソコンの IP アドレス範囲を登録します。

IP アドレスによるアクセス制御の設定例については、「アクセス制御の設定方法」（→ P.116）をご覧ください。

■ アクセス制御の設定方法

「ネットワークサービス（管理者モードのみ）」（→ P.115）画面の「アクセス制御」を次のように設定します。

・すべてのアクセスを許可（アクセス制御しない）／アクセス制御リストの設定に従う（アクセス制御する）

表 :「アクセス制御」の詳細項目

項目	説明
すべてのアクセスを許可（アクセス制御しない）	アクセス制御を行わない場合に選択します。 アクセス制御リストの設定にかかわらず、どのパソコン（または IP アドレス）からもアクセス可能です。
アクセス制御リストの設定に従う（アクセス制御する）	アクセス制御を行う場合に選択します。 アクセスを許可、または拒否したい IP アドレスを登録したアクセス制御リストに従って、アクセス制御を行います。

・アクセス制御リスト

表：「アクセス制御リスト」の詳細項目

項目	説明
制御設定	アクセス制御リストに登録したネットワークアドレスに対して、アクセスを許可するか拒否するかを設定します。
ネットワークアドレス ネットマスク	アクセスを許可または拒否したい IP アドレス範囲を設定します。

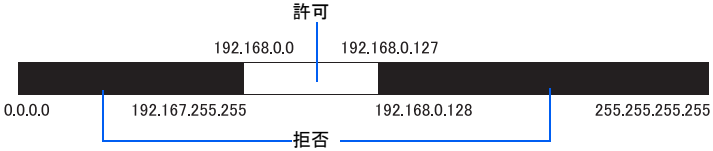
□ アクセス制御の設定例 1（192.168.0.0 ～ 192.168.0.127 の IP アドレスからのアクセスを許可したいとき）

1 **「制御設定」で「許可」をクリックして◉にします。**

2 **アクセス制御リストの No.1 の「ネットワークアドレス」に「192.168.0.0」を、「ネットマスク」に「255.255.255.128」と入力します。**

3 **「アクセス制御リストの設定に従う（アクセス制御する）」をクリックして◉にし、「設定」をクリックします。**

次のようにアクセス制御されます。



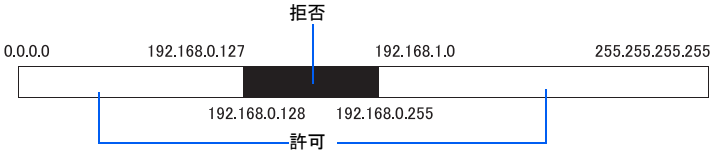
□ アクセス制御の設定例 2（192.168.0.128 ～ 192.168.0.255 の IP アドレスからのアクセスを拒否したいとき）

1 **「制御設定」で「拒否」をクリックして◉にします。**

2 **アクセス制御リストのNo.1の「ネットワークアドレス」に「192.168.0.128」を、「ネットマスク」に「255.255.255.128」と入力します。**

3 **「アクセス制御リストの設定に従う（アクセス制御する）」をクリックして◉にし、「設定」をクリックします。**

次のようにアクセス制御されます。



□ アクセス制御の設定例 3（192.168.0.0 ～ 192.168.1.127 の IP アドレスからのアクセスを許可したいとき）

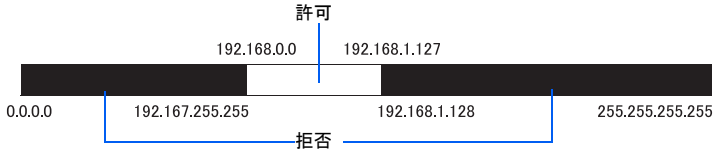
1 「制御設定」で「許可」をクリックして◉にします。

2 アクセス制御リストの No.1 の「ネットワークアドレス」に「192.168.0.0」を、「ネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

3 アクセス制御リストの No.2 の「ネットワークアドレス」に「192.168.1.0」を、「ネットマスク」に「255.255.255.128」と入力します。

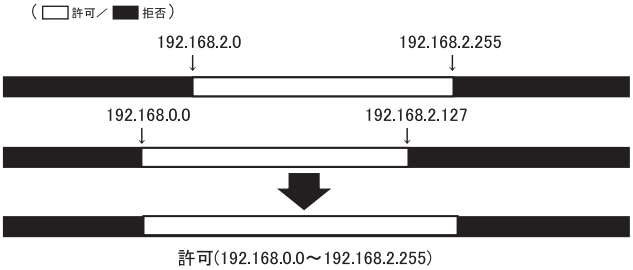
4 「アクセス制御リストの設定に従う（アクセス制御する）」をクリックして◉にし、「設定」をクリックします。

次のようにアクセス制御されます。



POINT

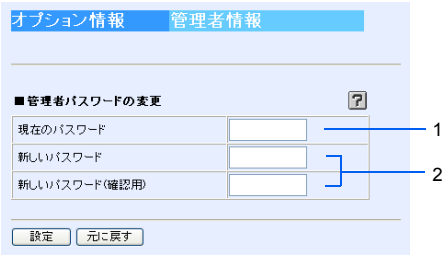
・アクセス制御リストで重複したアドレス範囲を設定した場合の例を示します。



・アクセス制御リストを設定していない状態で、「アクセス制御」の「アクセス制御リストの設定に従う（アクセス制御する）」を選択しようとすると、「有効なアクセス制御リストがありません。」というエラーが表示されます。このときは、「OK」をクリックして元の画面に戻り、有効なアクセス制御リストを設定してください。

管理者情報（管理者モードのみ）

管理者モードに切り替える際に入力するパスワードを設定します。



□ 管理者パスワードの変更

1 現在のパスワード

現在設定されているパスワードを入力します。ご購入時の状態では何も設定されていません。

2 新しいパスワード／新しいパスワード（確認用）

変更したいパスワードを入力します（半角英数字 15 文字以内）。

システム情報（管理者モードのみ）

プリンタパワーセーブ解除、暗号化方式、ブザー、システム時刻、サーバ証明書の 5 項目について、情報を設定します。



□ プリンタパワーセーブ解除

1 プリンタパワーセーブ解除

認証印刷前に、プリンタのパワーセーブ解除を行うかどうかを設定します（初期設定 : 有効）。

・有効：パワーセーブ解除を行います。
・無効：パワーセーブ解除を行いません。

重要

・Color Printia LASER XL-C7400G は、未対応です。

□ 暗号化方式

2 暗号化方式

パソコンと本製品間で通信するときの暗号化方式を「ALL」「DES」「3DES」から選択します（初期設定 :ALL）。

□ ブザー

3 ブザー

本製品がエラー時などに発するブザー音を、設定／解除します（初期設定 : 設定）。

□ システム時刻

本製品のシステム時刻を設定します。

4 NTP サーバ

NTP サーバーからの時刻取得の設定／解除を設定します（初期設定 : 解除）。

5 サーバアドレス

NTP サーバーの IP アドレスを設定します。

6 システム時刻

システム時刻の設定を行います。
ログ機能などを利用する場合は、必ず設定してください（初期設定 :2006/01/01 00:00:00）。

□ サーバ証明書

本製品と HTTPS で通信するときに使用する「サーバー証明書」を作成します。

7 国コード

国コードを設定します（半角英 2 文字）。
例：日本 「jp」

8 都道府県名

都道府県名を設定します（半角英数 63 文字以内）。
例：神奈川 「KANAGAWA」

9 市町村名

市町村名を設定します（半角英数 63 文字以内）。
例：川崎 「KAWASAKI」

10 組織名

組織名を設定します（半角英数 63 文字以内）。
例：富士通 「FUJITSU」

11 部署名

部署名を設定します（半角英数字 63 文字以内）。
例：プリンタ開発部 「PrinterDev」

12 装置名

装置名を設定します（半角英数 63 文字以内）。必ず入力してください（初期設定 :XL-SE100F）。

13 E メールアドレス

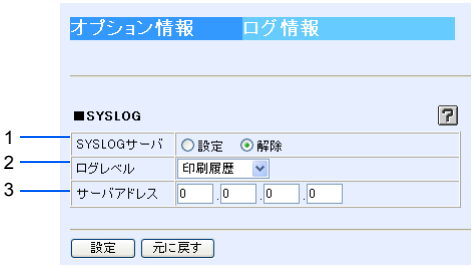
E メールアドレスを設定します（英数 63 文字以内）。

14 有効期限

有効期限を設定します（最長で 2037/12/31 まで）。必ず入力してください。

ログ情報（管理者モードのみ）

SYSLOG 情報を表示、設定します。



☐ SYSLOG

ログ情報を送信する SYSLOG サーバーに関する設定を行います。

1 SYSLOG サーバ

ログ情報を SYSLOG サーバーへ送信設定／送信解除します。ログ情報について、詳しくは「SYSLOG 一覧」（→ P.160）をご覧ください（初期設定 : 解除）。

2 ログレベル

採取するログ情報の内容を設定します（初期設定 : 印刷履歴）。

・印刷履歴 : 印刷履歴のみのログを採取します。
・印刷 + 認証 : 印刷と認証のログを採取します。
・すべて : エラーなども含んだ、すべてのログを採取します。

3 サーバアドレス

ログ情報を送信する SYSLOG サーバーの IP アドレスを設定します。

バージョン情報

ファームウェア、BootROM、「SecureLoginPrint Internet Service」の各バージョン情報が表示されます。



□ バージョン情報

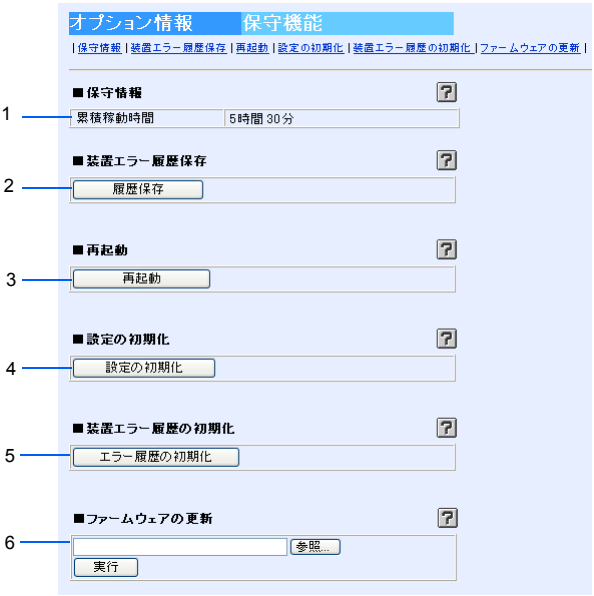
1 ファームウェア
2 BootRom
3 SecureLoginPrint Internet Service

保守機能（管理者モードのみ）

「保守機能」、「装置エラー履歴保存」、「再起動」、「設定の初期化」、「装置エラー履歴の初期化」、「ファームウェアの更新」の 6 項目があります。

重要

・保守機能の実行は、印刷中でないことを確認してから開始してください。



□ 保守機能

1 累積稼動時間（管理者モードのみ）

本製品の最初の起動から現在までの累積稼働時間が表示されます。表示は 30 分ごとに更新され、30 分単位で表示されます。

POINT

・本体から電源ケーブルを抜いて電源を切っても、累積稼働時間は保持されます。

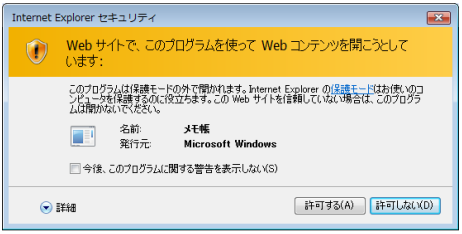
□ 装置エラー履歴保存

2 履歴保存（管理者モードのみ）

「履歴保存」をクリックすると、本製品に保存された装置エラー情報をパソコンに保存します。ログの内容は、「ログ情報（管理者モードのみ）」（→ P.122）の「ログレベル」で設定した項目になります。

POINT

・装置エラー情報は 30 分ごとに装置内部に記憶されます。
・本体背面のスイッチを押すと、押した時点での情報が装置内部に記憶されます。
・「履歴保存」をクリックしたときに、ファイルを保存するためのウィンドウが表示されず、「メモ帳」が起動してログの内容が表示されることがあります。また、Windows Vista では、次の「Internet Explorer セキュリティ」ウィンドウが表示されることがあります。



これらの場合には、プログラムとファイルの関連付けの設定を変更してください。

Windows Vista の場合

(スタート) →「既定のプログラム」→「ファイルの種類またはプロトコルのプログラムへの関連付け」の順にクリックします。「名前」から「.log」をクリックし、「プログラムの変更」をクリックします。「ほかのプログラム」の右端にある をクリックし、「ワードパッド」をクリックして、「OK」をクリックします。

Windows XP の場合

「エクスプローラ」の「ツール」メニュー→「フォルダ オプション」→「ファイルの種類」タブの順にクリックします。「拡張子」から「LOG」をクリックし、「詳細設定」をクリックします。「ダウンロード後に開く確認をする」が☐になっている場合は、クリックして☑にします。なお、LOG ファイルと関連付けられたアプリケーションによっては、詳細設定が行えない場合があります。このようなときは、LOG ファイルの関連付けをいったん「Notepad」に変更し、「ダウンロード後に開く確認をする」を☑にしてから関連付けを戻してください。

☐ 再起動

3 再起動

本製品を再起動します。「再起動」をクリックし、「再起動を行ってもよろしいですか？」と表示されたら、「OK」をクリックします。

☐ 設定の初期化

4 設定の初期化

「SecureLoginPrint Internet Service」で設定できる情報のすべてを初期化します。「設定の初期化」をクリックし、「初期化を行ってもよろしいですか？」と表示されたら、「OK」をクリックします。

POINT

・「SecureLoginPrint Internet Service」を使用せずに、本体背面のスイッチで初期化することもできます。「本体背面のスイッチで初期化」（→ P.171）をご覧ください。
・本製品の IP アドレスを手動設定していた場合などは、初期化後に IP アドレスを再設定してください（→ P.21）。

□ 装置エラー履歴の初期化

5 エラー履歴の初期化

本製品の装置エラー履歴を初期化します。「エラー履歴の初期化」をクリックし、「装置エラー履歴の初期化を行ってもよろしいですか？」と表示されたら、「OK」をクリックします。

POINT

・本製品の廃棄時など装置内の情報を完全に消去する場合には、「設定の初期化」と「履歴の初期化」を実行してください。

□ ファームウェアの更新

6 ファームウェアの更新

本製品に搭載されているファームウェアを最新版に更新します。更新方法は、「ファームウェアの更新方法」（→ P.126）をご覧ください。

■ファームウェアの更新方法

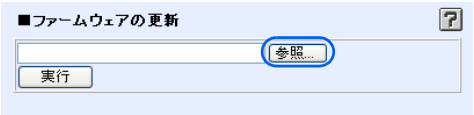
ファームウェアの更新方法は、次のとおりです。

重要

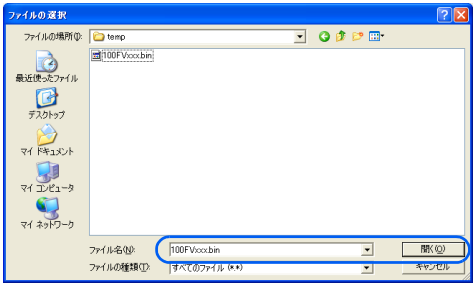
・ファームウェアの更新中は、絶対に本体から AC アダプタを取り外さないでください。ファームウェアの更新に失敗し、お客様による復旧ができない状態になります。復旧できない状態になった場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。「富士通ハードウェア修理相談センター」については、『はじめにお読みください』をご覧ください。

1 富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）からファームウェアをダウンロードします。

2 「保守機能」画面で、「■ファームウェアの更新」の「参照」をクリックします。



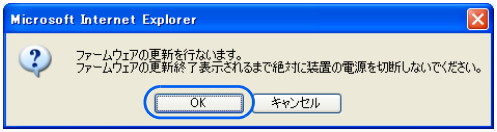
3 **更新するファームウェアのファイルを選択し、「開く」をクリックします。**



4 **「実行」をクリックします。**



5 **「OK」をクリックします。**



6 **ファームウェアの版数を確認し、「OK」をクリックします。**



ファームウェアの更新が開始されます。
更新中は、「ステータス：」に「ファームウェアを更新しています ...」と表示されます。更新には約 5 分かかりますので、完了するまでしばらくお待ちください。
更新が完了すると「ファームウェアの更新が完了しました」と表示されます。

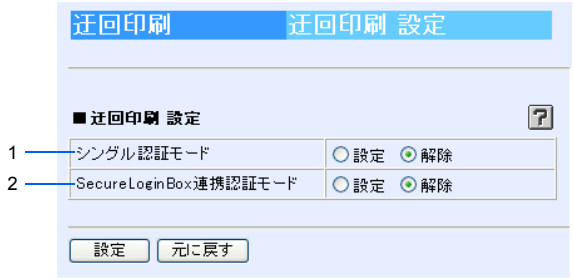
重要

・ファームウェアの更新中に「キャンセル」をクリックすると、本製品が正常に動作しない場合があります。
やむを得ずキャンセルした場合は、キャンセル後に必ず本製品を再起動してください。再起動は、AC アダプタをいったん取り外してから再度接続することで行ってください。

7 **「OK」をクリックします。**
本製品が再起動し、更新が完了します。

迂回印刷設定（管理者モードのみ）

迂回印刷とは、指紋センサーが故障するなどして指紋認証ができなくなった場合に、指紋認証を行わずに印刷を行える機能です(シングル認証モード／SecureLoginBox連携認証モード印刷時)。迂回印刷設定では、迂回印刷を行えるようにするかどうかの設定を行います。



□ 迂回印刷

1 シングル認証モード

シングル認証モードでの迂回印刷を設定／解除します。「設定」を選択すると、常に迂回印刷が可能な状態になります。

2 SecureLoginBox 連携認証モード

SecureLoginBox 連携認証モードでの迂回印刷を設定／解除します。「設定」を選択すると、常に迂回印刷が可能な状態になります。

詳しくは、「指紋センサーが故障し、指紋入力ができません。」（→ P.136）をご覧ください。

重要

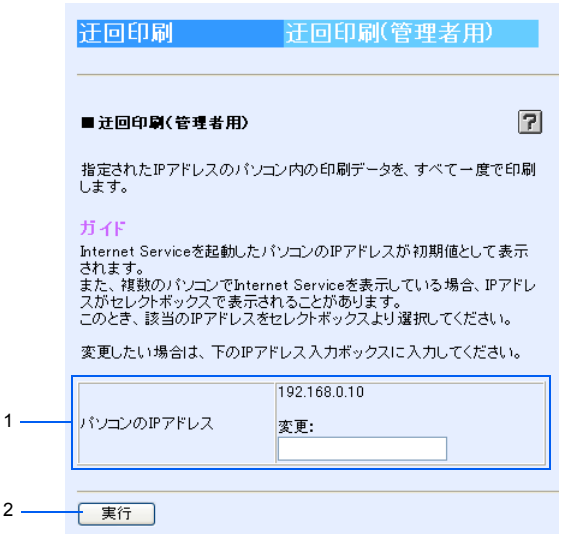
・迂回印刷は、指紋センサーが故障するなどして指紋入力ができない場合でも印刷を行えるようにするための回避機能です。プリンタ側での認証を行わないため、印刷物の出力に立ち会うことなく印刷が行われてしまいます。通常は、本設定を「解除」にすることをお勧めします。

迂回印刷（管理者用）（管理者モードのみ）

管理者が指定したパソコンからは、次の認証方式であっても迂回印刷ができます。

・ダブル認証モード

・「迂回印刷設定（管理者モードのみ）」（→ P.128）を「解除」にしてあるシングル認証モード、または SecureLoginBox 連携認証モード



□ 迂回印刷（管理者用）

1 パソコンの IP アドレス

「SecureLoginPrint Internet Service」を起動しているパソコンの IP アドレスが表示されます。

他のパソコンからの印刷データを迂回印刷する場合は、そのパソコンの IP アドレスを入力ボックスに入力します。

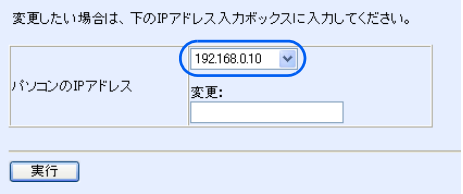
2 実行

クリックすると、指定したパソコンからの印刷要求を迂回印刷します。

詳しくは、「指紋センサーが故障し、指紋入力ができません。」（→ P.136）をご覧ください。

POINT

・複数のパソコンで「SecureLoginPrint Internet Service」を起動している場合、IP アドレスがセレクトボックスで表示されることがあります。その場合は、該当する IP アドレスを選択してください。



重要

・プロキシサーバー経由で本製品に接続している場合、パソコンの IP アドレスが正常に表示されないことがあります。その場合は、パソコンの IP アドレスを入力ボックスに入力してください。

8

第 8 章

こんなときには

トラブルへの対処方法、本製品が発するメッセージ、本体前面のステータスランプの表示内容、および初期化方法について説明します。また、指紋入力時のポイントや注意事項を記載していますので、指紋が認識されないときなどにご確認ください。

1 よくあるトラブルと解決のチェックポイント 132
2 メッセージ一覧 148
3 ステータスランプ表示一覧 167
4 ご購入時の状態に戻すには 171
5 指紋センサーの使い方 172

1 よくあるトラブルと解決のチェックポイント

ここでは代表的なトラブルと、解決のためのチェックポイントを説明します。

■トラブルが起きたらまず確認してください

指紋入力がうまくできないなど、何らかのトラブルが発生したら、まず次の点をご確認ください。

・本体前面にある「ERROR」ランプが点灯していないか確認してください。点灯していたら、「ステータスランプ表示一覧」(→ P.167) をご覧ください。さらに詳しい内容については、「SecureLoginPrint Internet Service」画面を開き、エラーメッセージを確認してください。メッセージの内容と対処方法については、「メッセージ一覧」(→ P.148) をご覧ください。

・各ケーブルが正しく接続されているか、電源は入っているか、など基本的な点を確認してください。

- 本体に指紋センサー、プリンタが正しく接続されていますか。
- 本体に AC アダプタが接続され、「ONLINE/DATA」ランプが点灯していますか。
- 本体は LAN ケーブルでネットワークに接続され、本体背面にある「LINK」ランプが点灯していますか。
- プリンタの電源が入っていて、オンライン状態になっていますか。
- ネットワーク自体は正しく稼働していますか (パソコンとサーバー間は通信ができているか、などを確認してください)。
- USB ケーブルは断線していませんか (パソコンに接続してみるなどして、正常に使えるかどうか確認してください)。
- 本製品に IP アドレスを設定していますか (「IP アドレス設定ユーティリティ」を使用して確認してください)。

■本製品検索時のトラブル

□ IP アドレスの設定時や、ポートの追加時に本製品が一覧表示されません。

IP アドレスの設定時やポートの追加時に、検索しても本製品が一覧表示されない場合は次の点を確認してください。

・本体に AC アダプタが接続され、「ONLINE/DATA」ランプが点灯していますか。

・本体は LAN ケーブルでネットワークに接続され、本体背面にある「LINK」ランプが点灯していますか。

・本製品が別のセグメントに接続されていませんか。「検索範囲」でネットワークの検索範囲を拡大してください。
また、Windows XP (SP2 以降) がインストールされている場合は、「IP アドレス設定ユーティリティ」が Windows ファイアウォールにブロックされないよう、例外設定 (→ P.133) を行ってください。

・検索範囲を拡大しても、別のセグメントに接続されている本製品が一覧表示されない場合、本製品に IP アドレスを設定していますか。IP アドレスが未設定の場合は、同一セグメントからしか検索できません。「IP アドレス設定ユーティリティ」を使用して確認してください。
・Windows XP（SP2 以降）がインストールされていませんか。
上記環境の場合は、「IP アドレス設定ユーティリティ」が Windows ファイアウォールにブロックされないよう、次の手順で例外設定を行ってください。

□ Windows XP（SP2 以降）使用時の例外設定

1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 クラシック表示になっていない場合は、画面左側の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。

3 「Windows ファイアウォール」をダブルクリックします。

4 「例外」タブをクリックし、「プログラムの追加」をクリックします。

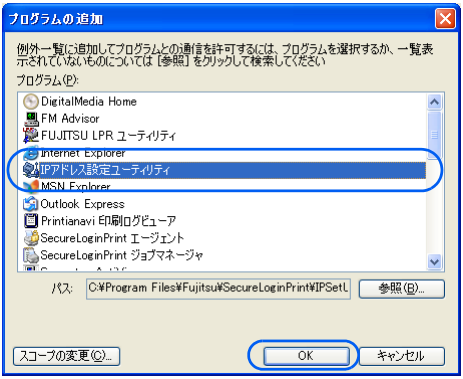
5 例外プログラムとして「IP アドレス設定ユーティリティ」を指定します。

■「IP アドレス設定ユーティリティ」をパソコンにインストールしていない場合

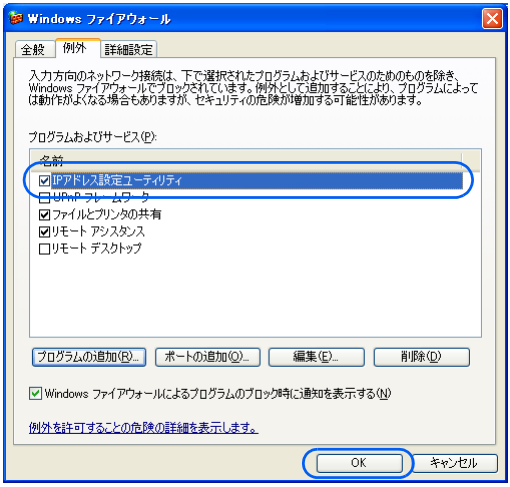
1. 「SecureLoginPrint ユーティリティ」をセットします。
「SecureLoginPrint ユーティリティセットアップ」ウィンドウが自動的に表示されたら、「終了」をクリックして閉じます。
2. 「参照」をクリックし、「SecureLoginPrint ユーティリティ」内の「D:¥IPSET¥FjxlIPDC.exe」（CD-ROM ドライブが D: の場合）を選択し、「開く」をクリックします。
3. 「FjxlIPDC.exe」をクリックし、「OK」をクリックします。

■「IP アドレス設定ユーティリティ」をパソコンにインストール済みの場合

「IP アドレス設定ユーティリティ」をクリックし、「OK」をクリックします。



6 **「FjxIIPDC.exe」または「IP アドレス設定ユーティリティ」が追加されていることを確認し、「OK」をクリックします。**



■指紋センサー、指紋センサードライバのインストール時のトラブル

□ 添付品以外の指紋センサーを使用したいのですが。

・指紋認識装置 Fingsensor（FS-300U）（別売）、FMV シリーズのノートパソコンに内蔵されているスライド方式の指紋センサーを使用できます。本製品がサポートする指紋センサーについては、「本製品の動作環境」（→ P.8）をご覧ください。
なお、指紋センサードライバは、「本製品の動作環境」（→ P.8）に記載されている版数である必要があります。次の手順で確認してください。

1. 「ドライバの確認を行う」（→ P.36）の手順 2 ～手順 3 を行い、「デバイスマネージャ」ウィンドウを表示します。
2. 「Personal identification devices」の下（ドライバのバージョンによっては、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」または「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の下）に表示されている「AuthenTec Inc. AES2501A」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。



3.「ドライバ」タブをクリックし、「バージョン」を確認します。



■「SecureLoginPrint ソフトウェア」インストール時のトラブル

□ インストールが中断されました。

・インストール前に、指紋センサードライバをインストールしておいてください。
インストールされていない状態で「SecureLoginPrint ソフトウェア」のインストールを行うと、次のウィンドウが表示されます。



指紋センサードライバのインストール方法については、「ドライバのインストール」（→ P.33）をご覧ください。

重要

・FMV シリーズのノートパソコンに内蔵されているスライド方式の指紋センサーを使用する場合、プレインストールされている指紋センサードライバ、またはリカバリを行った状態の指紋センサードライバでは、上記のウィンドウが表示されることがあります。「本製品の動作環境」（→ P.8）をご覧になり、記載されている版数の指紋センサードライバをインストールしてください。

・スプーラサービスが停止していませんか。パソコンを再起動してください。

■指紋入力時のトラブル

□ 指紋登録などの際、指紋入力でエラーになります。

・「指紋センサーの使い方」（→ P.172）をご覧になり、指の置き方、スライドのさせ方などを確認してください。
・「指紋センサーのセンサー部の清掃について」（→ P.174）をご覧になり、指紋センサーの汚れの状態と、指の状態を確認してください。
・登録する指を変えてみてください。

POINT

・指紋の入力に失敗した場合、指紋入力ウィンドウのメッセージの横に吹き出しのアイコン（ ）が表示されます。アイコンにマウスカーソルを合わせると、エラー内容を参照できます。



□ 印刷時の認証などの際、指紋入力でエラーになります。

・「指紋センサーの使い方」（→ P.172）をご覧になり、指の置き方、スライドのさせ方などを確認してください。
・指紋センサーは正しく接続されていますか。指紋センサーを接続するか、認証ウィンドウ内のパスワード入力ボタンをクリックして、パスワードによる認証を行ってください。パスワードによる認証については、「指紋センサーが故障し、指紋入力ができません。」（→ P.136）をご覧ください。
・指紋センサーが故障していませんか？「指紋センサーが故障し、指紋入力ができません。」（→ P.136）をご覧になり、パスワードによる認証を行ってください。
・「指紋センサーのセンサー部の清掃について」（→ P.174）をご覧になり、指紋センサーの汚れの状態と、指の状態を確認してください。
・登録済みの他の指で試してみてください。
・登録した指で入力していますか。
・登録自体を行っていますか。
・「ポートの詳細設定」（→ P.74）の「「セキュリティ情報」タブ」（→ P.77）で、照合レベルの値を低くしてください。
・印刷ジョブがスプール中ではありませんか？スプールが完了してから、本製品で指紋入力を行ってください。
・印刷中に認証を行っていませんか。印刷が完了してから、認証を行ってください。
・SecureLoginBox 連携認証モードの場合は、SecureLoginBox にユーザー登録されているか確認してください。詳しくは、SecureLoginBox のマニュアル、または「SMARTACCESS/Premium」のマニュアルをご覧ください。

□ 認証画面でエラーが表示されます。

「「SecureLoginPrint ソフトウェア」メッセージ一覧」（→ P.152）をご覧になり、対処を行ってください。

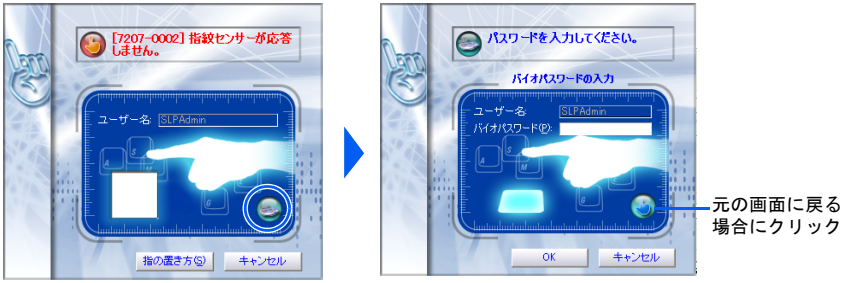
□ 指紋センサーが故障し、指紋入力ができません。

指紋入力ウィンドウにパスワード入力用ボタン（次の図の囲んだ部分）が表示されている場合は、ボタンをクリックするとパスワード入力で認証を行うことができます（管理者のみ）。

■「このパソコンに管理者を登録する」選択時



■「SecureLoginBox より管理者を選択する」選択時



パスワード認証では、「SecureLoginPrint Port」のポートの追加／削除や、設定変更ができますが、印刷はできません。

印刷するポートを RAW 印刷のポートに変更する（→ P.137）か、迂回印刷を行う（→ P.142）ことで、認証を行わずに印刷することができます。

RAW 印刷のポートに変更する場合

1 「SecureLoginPrint Internet Service」の「ネットワークサービス設定」－「RAW」を「有効」に設定します。

ご購入時の設定は「有効」です。詳しくは、「ネットワークサービス（管理者モードのみ）」（→ P.115）をご覧ください。

2 「IP アドレス設定ユーティリティ」を使用して、本製品の IP アドレスを確認しておきます。

3 次の手順で「プリンタ」フォルダを開きます。

■ Windows Vista の場合

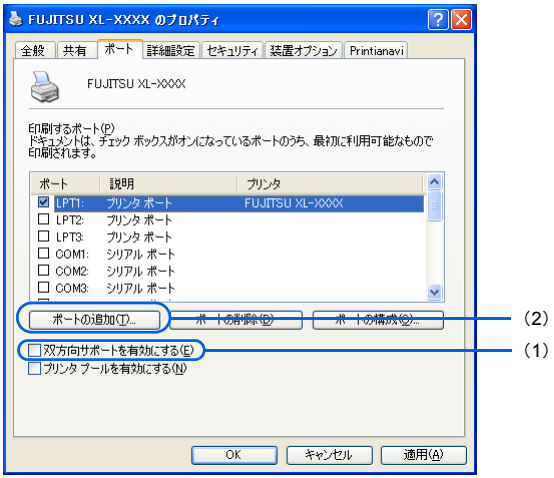
1. （スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

■ Windows XP の場合

「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。

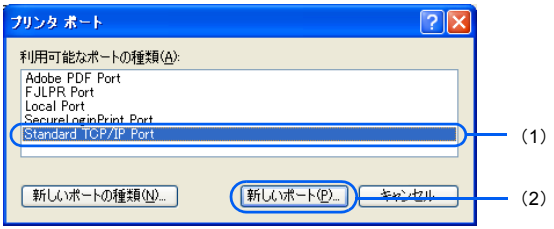
4 **本製品で利用したいプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。**

5 **「ポート」タブをクリックし、(1)「双方向サポートを有効にする」が ☑ になっている場合はクリックして ☐ にし、(2)「ポートの追加」をクリックします。**

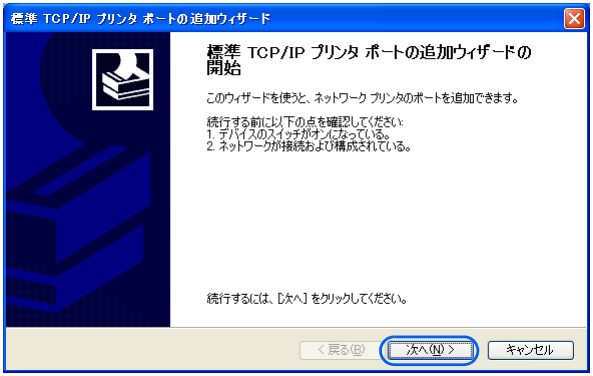


6 **(1)「Standard TCP/IP Port」をクリックし、(2)「新しいポート」をクリックします。**

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。

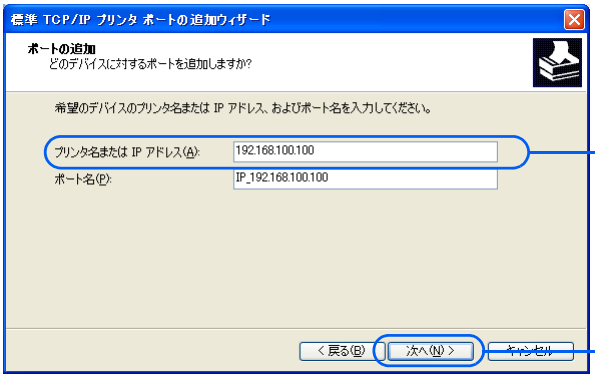


7 「次へ」をクリックします。

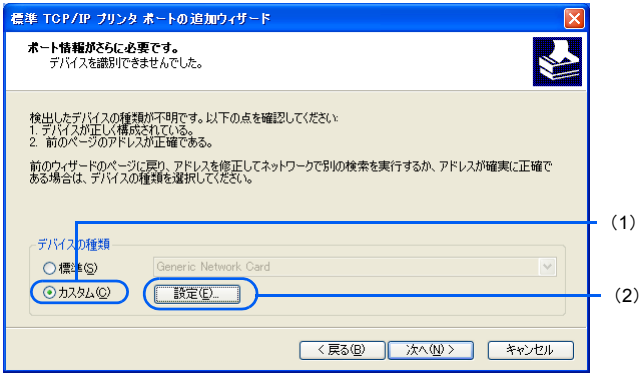


8 (1)「プリンタ名または IP アドレス」に本製品の IP アドレスを入力し、(2)「次へ」をクリックします。

IP アドレスを入力すると、「ポート名」は自動的に「IP アドレス」(Windows XP の場合は「IP_(IP アドレス)」) になります。



9 **(1)「カスタム」をクリックし、(2)「設定」をクリックします。**



10 **(1)「ポート名」「プリンタ名または IP アドレス」を確認し、(2)「プロトコル」を「Raw」、「ポート番号」を「9100」、「SNMP ステータスを有効にする」を☐にし、(3)「OK」をクリックします。**



手順 9（→ P.140）の画面に戻ります。

11 **「次へ」をクリックします。**

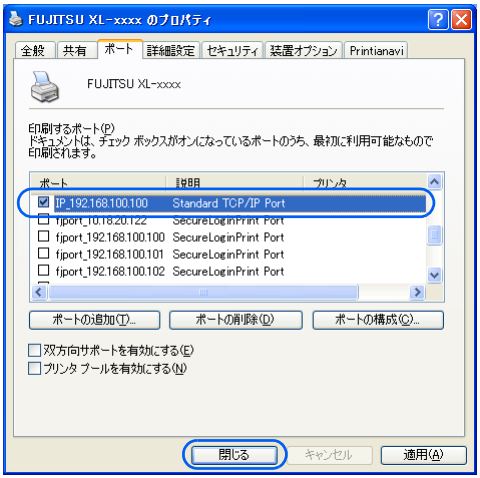
12 「完了」をクリックします。



13 「閉じる」をクリックします。



14 追加したポートが選択されていることを確認し、「閉じる」をクリックします。



迂回印刷を行う場合

認証モードにより、手順が異なります。

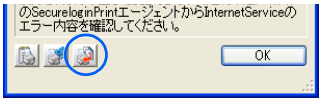
シングル認証モード／ SecureLoginBox 連携認証モードで印刷している場合：

シングル認証モード／ SecureLoginBox 連携認証モードで印刷している場合は、印刷を行ったユーザーが、「SecureLoginPrint エージェント」のポップアップメッセージから迂回印刷を行うことができます。

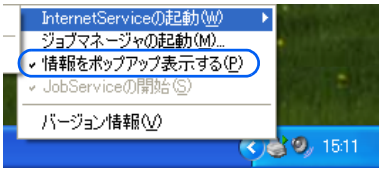
重要

- 迂回印刷を行うためには、あらかじめ、「SecureLoginPrint Internet Service」の「迂回印刷設定」で迂回印刷を「設定」にしておく必要があります（→ P.128）。
  迂回印刷を「解除」にしている場合は、管理者のみが「SecureLoginPrint Internet Service」から迂回印刷を行うことができます（→ P.129）。
- 迂回印刷は、プリンタ側での認証を行わないため、印刷物の出力に立ち会うことなく印刷が行われてしまいます。セキュリティ保持のため、迂回印刷実行後はすぐにプリンタの設置場所に移動し、印刷物を回収してください。

1 「SecureLoginPrint　エージェント」のポップアップメッセージで、迂回印刷ボタンをクリックします。



ポップアップメッセージが表示されない場合は、画面右下の通知領域にある「SecureLoginPrint エージェント」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「情報をポップアップ表示する」をクリックし、✔をつけてください。



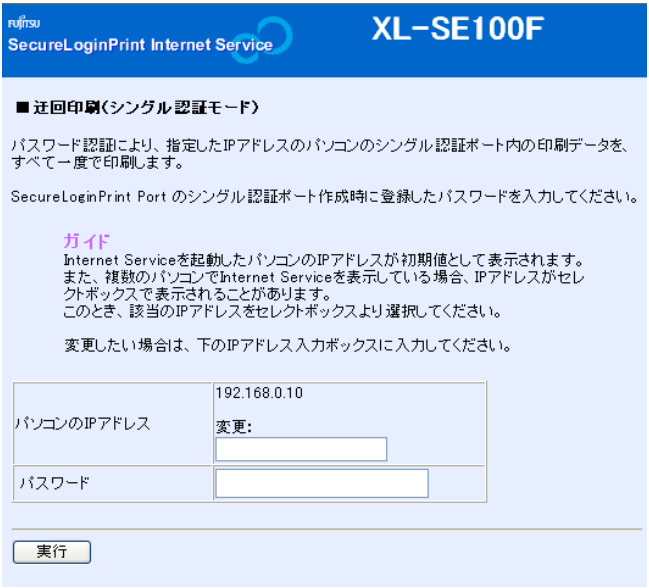
2 必要な情報を入力し、「実行」をクリックします。

迂回印刷が行われます。

POINT

- 別のパソコンから送信された印刷データを処理中の場合、迂回印刷は実行できません。
  「装置が使用中のため迂回印刷を行うことができません。しばらく待ってから、再度［実行］ボタンを押してください。」と表示された場合は、しばらく待ってから実行してください。

■ シングル認証モード時



表：設定項目

項目	説明
パソコンの IP アドレス	「SecureLoginPrint Internet Service」を起動しているパソコンの IP アドレスが表示されます。 他のパソコンから迂回印刷を行う場合は、そのパソコンの IP アドレスを入力ボックスに入力します。
パスワード	「SecureLoginPrint Port」のシングル認証モードのポート作成時に登録したパスワード（→ P.66）を入力します。

POINT

・パソコンの IP アドレスを調べる方法は、次のとおりです。

1. （スタート）（Windows XP の場合は「スタート」ボタン）→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
2. 「ipconfig」と入力し、Enter を押します。
3. 「IPv4 アドレス」または「IP Address」を確認します。

■ SecureLoginBox 連携認証モード時



表：設定項目

項目	説明
パソコンの IP アドレス	「SecureLoginPrint Internet Service」を起動しているパソコンの IP アドレスが表示されます。 他のパソコンから迂回印刷を行う場合は、そのパソコンの IP アドレスを入力ボックスに入力します。
ユーザ名	SecureLoginBox に登録されているユーザー名を入力します。
バイオパスワード	SecureLoginBox に登録されているパスワードを入力します。

ダブル認証モードで印刷している場合／管理者が迂回印刷を行う場合：

次の手順で、「SecureLoginPrint Internet Service」から管理者が迂回印刷を行うことができます。

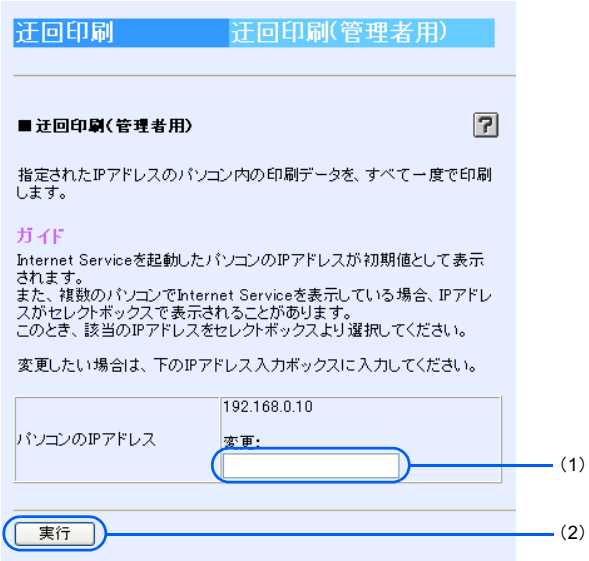
1 「SecureLoginPrint Internet Service」を起動します。

起動方法は、「表示方法」（→ P.101）をご覧ください。

2 「管理者モード」に切り替え、メニューから「迂回印刷（管理者用）」をクリックします。

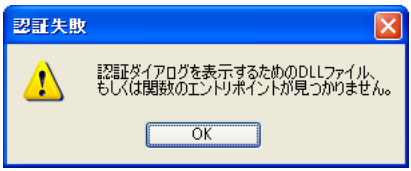
3 （1）パソコンの IP アドレスまたはホスト名を入力し、（2）「実行」をクリックします。

迂回印刷が行われます。



■ポート作成時のトラブル

□ ポートを作成しようとしたら、次の画面が表示されました。



作成前に、指紋センサードライバをインストールしておいてください。インストール方法については、「ドライバのインストール」（→ P.33）をご覧ください。

■印刷時のトラブル

□ 印刷できません。

・アプリケーションから印刷を実行したときに、本体前面の「ONLINE/DATA」ランプは点滅しますか。点滅しない場合は、本製品に IP アドレスやホスト名が正しく設定されているか確認してください（「SecureLoginPrint Internet Service」画面が開ければ、正常です）。
・アプリケーションから印刷を実行するときに、本製品を選択していますか（他のプリンタから出力されていませんか）。
・「SecureLoginPrint Job Service」、「SecureLoginPrint エージェント」は正常に起動していますか。
- 画面右下の通知領域にある「SecureLoginPrint エージェント」アイコンが停止状態になっていませんか。
- 画面右下の通知領域にある「SecureLoginPrint エージェント」アイコンが異常状態になっていませんか。
- 画面右下の通知領域に「SecureLoginPrint エージェント」アイコンが表示されていますか。

詳しくは、「SecureLoginPrint JobService ／ SecureLoginPrint エージェント」（→ P.81）をご覧ください。
・印刷ジョブが削除されていないか「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」で確認してください。印刷ジョブは、次のときに削除されます。
- タイムアウト設定時間を経過したとき
  通信タイムアウト時間については、「ポートの詳細設定」（→ P.74）の「「基本情報」タブ」（→ P.76）をご覧ください。
  なお、認証待ち時間を経過したジョブは自動的に削除されます。

・「SecureLoginPrint Port」で設定している IP アドレス、ホスト名、ポート番号の設定が正しいかどうか確認してください。
詳しくは、「ポートの追加」（→ P.60）をご覧ください。
・Guests 権限のアカウントで使用していませんか。
「SecureLoginPrint ソフトウェア」は Guests 権限のアカウントでは使用できません。本製品を使用した印刷を行うには、Users 権限以上のアカウントが必要です。

□ 印刷を行うと、イベントログに「「Printianavi LM」のシステムエラー （1905-0000）」（または「「Printianavi2 LM」のシステムエラー （1905-0000）」）というエラーが採取されます。

プリンタのプロパティウィンドウで「双方向サポートを有効にする」が☐になっていることを確認してください（☑になっている場合は☐にしてください）。

■SecureLoginBox 連携認証モード時のトラブル

□ SecureLoginBox との通信ができません。

・パソコン、SecureLoginBox の LAN ケーブルは接続されていますか。
・SecureLoginBox の電源は入っていますか。また、SecureLoginBox の状態は「稼働中」になっていますか。
・「SMARTACCESS/Premium（Windows Vista の場合は V2.0L10 以降、Windows XP の場合は V1.1L30 以降）」は正しくインストールされていますか。
・「SMARTACCESS/Premium」の SecureLoginBox 連携の設定で、SecureLoginBox の「IP アドレスまたは名称」が正しく設定されているか、次の手順で確認してください。

1. コンピュータの管理者権限を持ったユーザー（「SMARTACCESS/Premium」インストール時のユーザー）でログオンします。
2. （スタート）（Windows XP の場合は「スタート」ボタン）→「すべてのプログラム」→「SMARTACCESS」→「環境設定」の順にクリックします。
3. (1)「ポリシー」→「指紋」を選択し、(2)「IP アドレスまたは名称」に SecureLoginBox の IP アドレスまたは名称（任意に登録したバイオ認証装置の名前）が正しく設定されているか確認します。
   (3) SecureLoginBox でクライアント ID が割り当てられている場合は、ID が「クライアント ID」に正しく設定されているかどうかも確認します。



注：画面は「SMARTACCESS/Premium V1.1L30」のものです。

□ SecureLoginBox にユーザー登録していますが、管理者として登録できません。

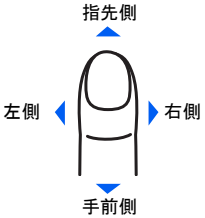
「「SecureLoginBox より管理者を選択する」を選択した場合」（→ P.50）の操作を行い、SecureLoginBox に登録してあるユーザー名を入力しても、「SecureLoginBox に管理者が登録されていません」などのエラーが表示されることがあります。
次の点を確認してください。
・「SecureLoginBoxユーザー名」で指定したユーザー名が正しいかどうか確認してください。
・SecureLoginBox に登録した指と同じ指で認証しているかどうか確認してください。
・「SMARTACCESS/Premium」で SecureLoginBox と認証できるかどうか確認してください。
詳しくは、SecureLoginBox、「SMARTACCESS/Premium」の各マニュアルをご覧ください。

2 メッセージ一覧

認証・印刷処理中やエラー発生時に、「SecureLoginPrint Internet Service」画面に各種メッセージが表示されます。ここでは、メッセージの内容、およびエラー発生時の原因や対処方法を掲載しています。
また、クライアントに表示されるメッセージと SYSLOG の一覧も掲載しています。

POINT

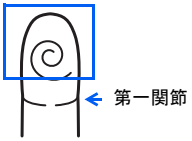
・メッセージ中の表現について
メッセージ中の「指先側」「手前側」「右側」「左側」は、手の甲が上を向いた状態での位置関係を示しています。



・メッセージと対処の例
「手前側が映っていません」というメッセージの場合は、指先側のみが読み取られている状態です。センサー中央部に第一関節が来るように指を置きスライドしてください。

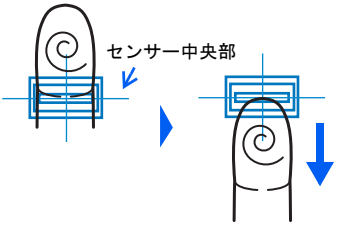
■読み取り結果

指先のみ読み取られ、
手前側が映っていない



■対応

第一関節をセンサー中央部に置き
スライド



■「SecureLoginPrint Internet Service」メッセージ一覧

「SecureLoginPrint Internet Service」画面に表示されるメッセージは次のとおりです。
「SecureLoginPrint Internet Service」画面の開き方は、「表示方法」(→ P.101) をご覧ください。
なお、ステータスランプの点灯／点滅状態について、詳しくは「点灯／点滅状態の詳細」(→ P.167) をご覧ください。

表：「SecureLoginPrint Internet Service」メッセージ一覧

メッセージ	処理内容、およびエラー原因と対処方法
[準備完了]	システムが正常に起動し、印刷準備が完了しました。
[指をスライドさせてください]	指をスライドさせて指紋を入力してください。
[指をセンサーから離してください]	指紋センサーに指を置いている場合は離してください。
[指紋データを抽出しています]	指紋データを抽出しています。
[照合しています]	指紋照合中です。
[照合できました。印刷を開始します]	照合が終わり、印刷を開始します。
[印刷中…]	印刷中です。
[0100-0000 エラー] プリンタでエラーが発生しています。	プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。対処方法はプリンタのマニュアルをご覧ください。
[0100-0008 オフライン] プリンタがオフラインとなっています。	プリンタがオフライン状態になっています。プリンタのマニュアルをご覧になり、オンライン状態にしてください。
[0100-0020 用紙なし] 指定した用紙がありません。	用紙を補給してください。
[0105-0000 プリンタ未接続] プリンタが接続されていません。	プリンタが接続されていないか、電源が入っていません。確認してください。
[0105-0001 通信エラー] プリンタとの通信が異常となりました。	本体とプリンタ間の USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
[0200-0000 指紋入力エラー] 指紋特徴データが無効です。(低品質指紋)	・登録する指紋の品質レベル (→ P.78) を下げて、再度登録してください。 ・「指紋センサーの使い方」(→ P.172) の指紋入力時の注意事項をご覧になったうえで、再度指紋を入力してください。

表：「SecureLoginPrint Internet Service」メッセージ一覧

メッセージ	処理内容、およびエラー原因と対処方法
[0200-0001 指紋入力エラー] 充分な特徴点を得られませんでした。	・指が濡れていませんか。乾いたハンカチなどで指の湿りけを拭き取ることで改善されることがあります。 ・指に傷があったり、指紋が薄くなったりしていないか確認し、他の指で登録してください。 ・シングル認証モード時／ SecureLoginBox 連携認証モード時： 登録している別の指で試してください。それでも改善されない場合は、印刷を中止して異なる指の指紋を登録し直してください。 ・ダブル認証モード時 印刷を中止して異なる指の指紋を登録し直してください。
[0200-0002 指紋入力エラー] 指先側が映っていません。	指先まで映るように、指をスライドさせてください。
[0200-0003 指紋入力エラー] 手前側が映っていません。	指を水平にして、指紋の中心が読み取れるようにまっすぐスライドさせてください。
[0200-0004 指紋入力エラー] 指が左側にずれています。	指の中央が指紋センサーの中央に合うようにしてください。
[0200-0005 指紋入力エラー] 指が右側にずれています。	指の中央が指紋センサーの中央に合うようにしてください。
[0200-0006 指紋入力エラー] 指が左側に動きすぎています。	指を水平にして、指紋の中心が読み取れるようにまっすぐスライドさせてください。
[0200-0007 指紋入力エラー] 指が右側に動きすぎています。	指を水平にして、指紋の中心が読み取れるようにまっすぐスライドさせてください。
[0200-0008 指紋入力エラー] 指の動きが速すぎます。	もう少しゆっくり指をスライドさせてください。
[0200-0009 指紋入力エラー] 指の動きが遅すぎます。	もう少し速く指をスライドさせてください。
[0200-000a 指紋入力エラー] 指が止まったままです。	指をスライドさせてください。
[0200-000b 指紋入力エラー] スライドする距離が短いです。	指をもう少しセンサーに押しつけて、第一関節から指の先端までをしっかりスライドさせてください。
[0200-000c 指紋入力エラー] 指の動かし方が適切ではありません。	「指紋センサーの使い方」（→ P.172）の指紋入力時の注意事項をご覧になったうえで、再度指紋を入力してください。
[0200-000d 指紋入力エラー] センサーの左側しか触れていません。	指の中央が指紋センサーの中央に合うようにしてください。

表：「SecureLoginPrint Internet Service」メッセージ一覧

メッセージ	処理内容、およびエラー原因と対処方法
[0200-000e 指紋入力エラー] センサーの右側しか触れていません。	指の中央が指紋センサーの中央に合うようにしてください。
[0200-000f 指紋入力エラー] 指が乾きすぎています。	手を洗ったり、指に息を吹きかけたりしてから、再度スライドさせてください。
[0200-0010 指紋入力エラー] 指が湿りすぎています。	乾いたハンカチなどで指の湿りけを拭き取ってから、再度スライドさせてください。
[0200-0011 指紋入力エラー] 押し方が弱いです。	もう少しセンサーに押しつけてセンサーの中央を指紋の中心が通るようにまっすぐ引いてください。
[0200-0012 指紋入力エラー] センサーが汚れているかもしれません。	乾いた柔らかい布で、センサー表面を拭き取ってください。
[0200-0100 照合エラー] 照合できません。登録されている指紋と一致しません。	原因として次のことが考えられます。 ・指が違っています。 ・指紋が登録されていないユーザーです。 ・ユーザーの印刷データがありません。 ・「指紋登録時／照合時のご注意」（→ P.174）をご覧になり、登録や照合が正しく行えているか確認してください。 ・「「セキュリティ情報」タブ」（→ P.77）をご覧になり、品質レベル／照合レベルを調整してみてください。
[0200-0101 照合エラー] 迂回印刷で入力したパソコンの IP アドレス、またはパスワードが間違っています。	迂回印刷で入力した内容が違っていると表示されます。 ・迂回印刷（シングル認証モード）時：パソコンの IP アドレス、パスワードを確認してください（→ P.143）。パスワードは、「SecureLoginPrint Port」のシングル認証モードのポート作成時に登録したパスワード（→ P.66）を入力します。 ・迂回印刷（SLB 連携認証モード）時：パソコンの IP アドレス、SecureLoginBox に登録されているユーザ名、バイオパスワードを確認してください（→ P.144）。
[0201-nnnn 指紋認識ドライバエラー] 指紋認識ドライバで異常が発生しています。 （nnnn：0000～0017までの16進数）	本体の電源ケーブルをコンセントから抜き、再度接続して電源を入れ直してください。
[0207-0000 指紋センサーエラー] 指紋センサーが接続されていません。	本体に指紋センサーを接続してください。

表：「SecureLoginPrint Internet Service」メッセージ一覧

メッセージ	処理内容、およびエラー原因と対処方法
[0207-0001 指紋センサーエラー] 指紋センサーの初期化に失敗しました。	指紋センサーの接続状態や、センサー面が汚れていないか確認してください。また、システム起動時など初期化中にはセンサーに指を置かないでください。
[0207-0002 指紋センサーエラー] 指紋センサーが応答しません。	指紋センサーを接続し直してください。
[0207-0003 指紋センサーエラー] 指紋センサーが複数接続されています。	片方の指紋センサーを取り外してプリンタを接続した後、本体の電源ケーブルをコンセントから抜き、再度接続して電源を入れ直してください。
[0207-0004 指紋センサーエラー] プリンタが複数接続されています。	片方のプリンタを取り外して指紋センサーを接続した後、本体の電源ケーブルをコンセントから抜き、再度接続して電源を入れ直してください。
[0400-0000 デバイスエラー] 未サポートの USB デバイスが接続されています。	接続されている装置が、本製品でサポートされているものか確認してください。 USB コネクタには、添付の指紋センサーおよびプリンタ以外は接続しないでください。
[0500-0000 通信エラー] クライアントとの通信が異常となりました。	本体とパソコン間の LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
[0700-0000 ハードエラー] ハードエラーが発生しました。	本体の電源ケーブルをコンセントから抜き、再度接続して電源を入れ直してください。 電源を入れ直しても現象が変わらない場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。「富士通ハードウェア修理相談センター」については、『はじめにお読みください』をご覧ください。

■「SecureLoginPrint ソフトウェア」メッセージ一覧

□ パソコンからの指紋入力時やパスワード入力時に表示されるメッセージ

［注］メッセージの ID が（1100-0002）のように（）で囲まれている場合は、メッセージ表示後、「指をスライドしてください」や「パスワードを入力してください」表示に切り替わります。

表：「SecureLoginPrint ソフトウェア」メッセージ一覧（パソコンからの指紋入力時やパスワード入力時に表示されるメッセージ）

メッセージ	説明・対処方法
初期化中です。	指紋センサーの初期化を行っています。しばらくお待ちください。
指をスライドさせてください。	指をスライドさせて指紋を入力してください。
指紋を読み取っています。	入力された指紋を読み取っています。
指をセンサーから離して下さい。	指紋センサーに指を置いている場合は離してください。

表：「SecureLoginPrint ソフトウェア」メッセージ一覧（パソコンからの指紋入力時やパスワード入力時に表示されるメッセージ）

メッセージ	説明・対処方法
指紋の特徴点を抽出しています。	指紋の特徴点を抽出中です。
指紋特徴データ取込み成功。	指紋特徴データの取込みに成功しました。
完了しました。	指紋の登録が完了しました。
パスワードを入力してください。	テキストボックスにパスワードを入力してください。
指紋を照合しています。	指紋照合中です。
良好です。	入力された指紋は良好です。
指紋特徴データ登録成功。 （品質指標値 = n）	指紋特徴データの登録に成功しました（n は品質指標値の値が入ります）。
管理者と認証できませんでした。 （1100-0000）	入力された指紋がこのパソコンに登録されている管理者のものと認証できませんでした。もう一度管理者の指紋を入力してください。
パスワードが正しくありません。 （1100-0001）	このパソコンに登録されている管理者のパスワードを正しく入力してください。
パスワードが正しくありません。 （1100-0002）	シングル認証モードのパスワードを正しく入力してください。
指紋特徴データの品質不足です。 （品質指標値 =n）（1200-0000）	・登録する指紋の品質レベル（→ P.78）を下げて、再度登録してください。 ・「指紋センサーの使い方」（→ P.172）の指紋入力時の注意事項をご覧になったうえで、再度指紋を入力してください。 （n は品質指標値の値が入ります）
指紋特徴データが無効です。（低品質指紋） （7200-0000）	・登録する指紋の品質レベル（→ P.78）を下げて、再度登録してください。 ・「指紋センサーの使い方」（→ P.172）の指紋入力時の注意事項をご覧になったうえで、再度指紋を入力してください。

表：「SecureLoginPrint ソフトウェア」メッセージ一覧（パソコンからの指紋入力時やパスワード入力時に表示されるメッセージ）

メッセージ	説明・対処方法
充分な特徴点を得られませんでした。 （7200-0001）	・指が濡れていませんか。乾いたハンカチなどで指の湿りけを拭き取ることで改善されることがあります。 ・指に傷があったり、指紋が薄くなったりしていないか確認し、他の指で登録してください。 ・シングル認証モード時／ SecureLoginBox 連携認証モード時： 登録している別の指で試してください。それでも改善されない場合は、印刷を中止して異なる指の指紋を登録し直してください。 ・ダブル認証モード時 印刷を中止して異なる指の指紋を登録し直してください。
指先側が映っていません。 （7200-0002）	指先まで映るように、指をスライドさせてください。
手前側が映っていません。 （7200-0003）	指を水平にして、指紋の中心が読み取れるようにまっすぐスライドさせてください。
指が左側にずれています。 （7200-0004）	指の中央が指紋センサーの中央に合うようにしてください。
指が右側にずれています。 （7200-0005）	指の中央が指紋センサーの中央に合うようにしてください。
指が左側に動きすぎています。 （7200-0006）	指を水平にして、指紋の中心が読み取れるようにまっすぐスライドさせてください。
指が右側に動きすぎています。 （7200-0007）	指を水平にして、指紋の中心が読み取れるようにまっすぐスライドさせてください。
指の動きが速すぎます。 （7200-0008）	もう少しゆっくり指をスライドさせてください。
指の動きが遅すぎます。 （7200-0009）	もう少し速く指をスライドさせてください。
指が止まったままです。 （7200-000a）	指をスライドさせてください。
スライドする距離が短いです。 （7200-000b）	指をもう少しセンサーに押しつけて指の第一関節から先端までしっかりとスライドさせてください。
指の動かし方が適切ではありません。 （7200-000c）	「指紋センサーの使い方」（→ P.172）の指紋入力時の注意事項をご覧になったうえで、再度指紋を入力してください。

表：「SecureLoginPrint ソフトウェア」メッセージ一覧（パソコンからの指紋入力時やパスワード入力時に表示されるメッセージ）

メッセージ	説明・対処方法
センサーの左側しか触れていません。(7200-000d)	指の中央が指紋センサーの中央に合うようにしてください。
センサーの右側しか触れていません。(7200-000e)	指の中央が指紋センサーの中央に合うようにしてください。
指が乾きすぎています。(7200-000f)	手を洗ったり、指に息を吹きかけたりしてから、再度スライドさせてください。
指が湿りすぎています。(7200-0010)	乾いたハンカチなどで指の湿りけを拭き取ってから、再度スライドさせてください。
押し方が弱いです。(7200-0011)	もう少しセンサーに押しつけてセンサーの中央を指紋の中心が通るようにまっすぐスライドさせてください。
センサーが汚れているかもしれません。(7200-0012)	乾いた柔らかい布で、センサー表面を拭き取ってください。
中断しました。	キャンセル処理により指紋入力処理が中断されました。
同じ指紋と判断できません。もう一度登録してください。(7201-000e)	指紋登録で指紋を複数回入力するときに、同じ指の指紋が入力されているか確認のうえ、再度登録してください。
[7201-0015] 他のソフトウェアで指紋入力画面が起動されています。	「SMARTACCESS/Premium」や「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」、「SecureLoginPrint Port」などの指紋入力画面が複数同時に起動されていないか確認してください。
[7201-nnnn] 指紋認識ドライバで異常が発生しています。(nnnn:16 進数)	パソコンを再起動してください。「SecureLoginPrint ソフトウェア」のインストール時に [7201-0001] のメッセージが表示された場合は、「「SecureLoginPrint ソフトウェア」インストール時のトラブル」(→ P.135)の確認項目をご覧ください。
[7207-0000] 指紋センサーが接続されていません。	指紋センサーを接続してください。
[7207-0001] 指紋センサーの初期化に失敗しました。	指紋センサーの接続状態や、センサー面が汚れていないか確認してください。また、初期化中にはセンサーに指を置かないでください。
[7207-0002] 指紋センサーが応答しません。	指紋センサーを接続し直してください。
[7207-0003] 未サポートの指紋センサーが接続されています。	使用している指紋センサーが本製品でサポートされているものか確認してください。

表：「SecureLoginPrint ソフトウェア」メッセージ一覧（パソコンからの指紋入力時やパスワード入力時に表示されるメッセージ）

メッセージ	説明・対処方法
SecureLoginBox との通信に失敗しました。 (8000-nnnn,8001-nnnn,8020-nnnn,8021-nnnn,8030-nnnn,8031-nnnn,8010-8001 ～ 800e,8011-8001 ～ 800e,8100-0000,8100-0003) （nnnn:16 進数）	「SecureLoginBox との通信ができません。」（→P.147）の確認項目をご覧ください。
ユーザーまたは指紋が登録されていません。（8010-f014,8011-f014）	入力されたユーザー名、またはユーザー名の指紋が SecureLoginBox に登録されていません。SecureLoginBox に正しくユーザー名および指紋が登録されているか確認してください。
登録されていないユーザーです。 （8010-f015,f103,8011-f015,f103）	入力されたユーザー名は SecureLoginBox に登録されていません。SecureLoginBox に登録されているユーザー名を管理者に指定してください。
管理者と認証できませんでした。 （8010-f011）	入力された指紋が SecureLoginBox に登録されている管理者のものと認証できませんでした。もう一度管理者の指紋を入力してください。
パスワードが正しくありません。 （8011-f011）	SecureLoginBox に登録されている管理者のバイオパスワードを正しく入力してください。
管理者認証処理に失敗しました。 （8010-nnnn,8011-nnnn,8100-nnnn） （nnnn:16 進数）	「SMARTACCESS/Premium」が正しくインストールされているか、SecureLoginBox でエラーが発生していないか確認してください。

□ 印刷時にパソコンに表示されるポップアップメッセージ

表：「SecureLoginPrint ソフトウェア」メッセージ一覧（印刷時にパソコンに表示されるポップアップメッセージ）

メッセージ	説明・対処方法
認証印刷ユニットの準備が整いました。印刷の準備が整いました。認証印刷ユニットより認証処理を行ってください。認証入力待ち時間以内に認証を行なわないとジョブが削除されます。正しく認証できない場合は、通知領域の SecureLoginPrint エージェントから InternetService のエラー内容を確認してください。	本製品の指紋センサーに指紋を入力してください。認証後、印刷が開始されます。
処理を待ち合わせています。 認証印刷ユニットへの同時アクセス可能数を超えたため、処理を待ち合わせています。	前の処理が終わると順次処理を開始します。しばらくお待ちください。
認証印刷ユニットとの通信を切断します。 印刷待ちのジョブが存在しないため、認証印刷ユニットとの通信を切断します。	「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」から印刷ジョブが削除されるなど、印刷待ちのジョブがなくなった場合に表示されます。
スプールジョブが削除されました。 認証印刷待ち時間を超えたため、ジョブが削除されました。	認証印刷待ち時間を超えたため、ジョブが削除されました。 削除されたジョブは「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」の印刷履歴で確認することができます。
通信エラーが発生しました。 [1500-0801] 認証印刷ユニットと接続できませんでした。	SecureLoginPrint Port のホスト名が正しく指定されているか確認してください。 または、IP アドレス指定に変更してください。
通信エラーが発生しました。 [1500-080n] 認証印刷ユニットと接続できませんでした。 (n:2 ～ 4)	次の点を確認してください。 ・SecureLoginPrint Port に設定した本製品のホスト名または IP アドレスが間違っていないか ・本製品と SecureLoginPrint Port の印刷ポート番号が異なる値に設定されていないか ・本製品が起動しているか ・本製品の電源ケーブルや LAN ケーブルが抜けていないか
通信エラーが発生しました。 [1500-0805] 認証印刷ユニットとの通信中にエラーが発生しました。	本製品の電源ケーブルや LAN ケーブルが抜けたりしていないか、本製品で異常が発生していないか確認してください。

表：「SecureLoginPrint ソフトウェア」メッセージ一覧（印刷時にパソコンに表示されるポップアップメッセージ）

メッセージ	説明・対処方法
通信エラーが発生しました。 [1500-0806] 認証印刷ユニットとの通信中にエラーが発生しました。印刷中のジョブは削除されました。	印刷中に通信エラーが発生したため、ジョブが削除されました。本製品の電源ケーブルや LAN ケーブルが抜けたりしていないか、本製品で異常が発生していないか確認し、再度印刷を行ってください。
印刷できませんでした。 [1500-180n]（シングル | ダブル |SecureLoginBox 連携）認証モードでの印刷処理に失敗しました。 （n:1 ～ 3）	各認証モードでの印刷に失敗しました。 プリンタでエラーが発生している場合は、エラーを解除してください。印刷ジョブがすべて出力されていない場合は、再度印刷してください。
通信エラーが発生しました。 [1500-480n] 認証印刷ユニットとの通信中にエラーが発生しました。 （n:1 ～ 3）	次の点を確認してください。 ・本製品側でエラーが発生していないか、「SecureLoginPrint Internet Service」で詳しい内容を確認してください。 ・LAN　環境やパソコンでの処理に負荷がかかっていないか エラーが解除されない場合は、パソコンを再起動してください。また、本体の電源ケーブルをコンセントから抜き、再度接続して電源を入れ直してください。
プリンタ装置が、印刷可能な状態ではありません。 [1600-0000] プリンタでエラーが発生しています。プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。	プリンタのオペレータパネルのエラー表示を確認し、対処してください。
プリンタ装置が、印刷可能な状態ではありません。 [1600-0008] プリンタがオフラインとなっています。プリンタをオンラインにしてください。	プリンタをオンラインにしてください。
プリンタ装置が、印刷可能な状態ではありません。 [1600-0020] プリンタの用紙がありません。用紙を補給してください。	プリンタに用紙を補給してください。
プリンタ装置が、印刷可能な状態ではありません。 [1600-00ff] プリンタが接続されていません。	本製品にプリンタを接続してください。

表：「SecureLoginPrint ソフトウェア」メッセージ一覧（印刷時にパソコンに表示されるポップアップメッセージ）

メッセージ	説明・対処方法
プリンタ装置が、印刷可能な状態ではありません。 [1600-00nn] プリンタが正しく稼働していません。 （nn:16 進数）	プリンタが正しく稼働しているか確認してください。
認証印刷ユニットに装置が正しく接続されていません。 [1601-00nn] 認証印刷ユニットに認証装置が接続されていません。 （nn:00 ～ 7f までの 16 進数）	本製品に指紋センサーを接続してください。
認証印刷ユニットに装置が正しく接続されていません。 [1601-00nn] 認証印刷ユニットに接続されているデバイスを確認してください。 （nn:00 または 40）	本製品に指紋センサーとプリンタがそれぞれ正しく接続されているか確認してください。
認証が完了しました。 印刷処理を開始しました。	指紋認証が完了し、印刷処理を開始しました。
印刷が終了しました。 すべての印刷処理が終了しました。	印刷処理が終了しました。 注：印刷中のジョブを「SecureLoginPrint ジョブマネージャ」から削除すると、本メッセージが表示されることがあります。

■ SYSLOG 一覧

□ SYSLOG 仕様

○：出力あり

－：出力なし

表：ログレベル

	出力ファシリティ					出力プライオリティ			
ログレベル	local0	local1	local2	local3	local4	info	notice	err	emerg
印刷履歴	－	－	○	－	－	○	○	○	○
印刷＋認証	－	○	○	－	－	○	○	○	○
すべて	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表：ファシリティ

ファシリティ	項目	内容
local0	Printer	プリンタ関連のステータス／エラー履歴
local1	Sensor	指紋センサー関連のステータス／エラー履歴
local2	Lpdr	印刷履歴
local3	System	本体の各種ステータス／エラー履歴
local4	Udhcpc	DHCP 関連のステータス

表：プライオリティ

プライオリティ	内容
info	インフォメーションメッセージ
notice	通常だが重要な状態
err	エラーの状態
emerg	システムが使用不可

□ SYSLOG 出力例

表：SYSLOG 出力例

SYSLOG サーバーログ受信日時	ファシリティ．プライオリティ	本体 IP アドレス	Syslog メッセージ内容
2006/4/25 18:46	Local3.Info	10.18.20.141	System: [0000-0000] Ready 意味：本体の状態が Ready（準備完了）
2006/4/25 18:55	Local1.Info	0.18.20.141	Sensor: Sensor Input OK 意味：指紋センサーからの指紋入力が正常終了
2006/4/25 18:55	Local2.Notice	10.18.20.141	Lpdr: [0000-0002] Auth_OK Client_IP=10.18.20.176 Date=2007/1/19 12:14:7 意味：パソコンと認証に成功。パソコンの IP アドレス＝ 10.18.20.176、パソコンの日時＝ 2007/1/19 12:14:7
2006/4/25 18:56	Local2.Notice	10.18.20.141	Lpdr: Job_OK Client_IP=10.18.20.176 Date=2007/1/19 12:14:7 Size=27322 byte 意味：パソコンからの印刷データの受信を完了。パソコンの IP アドレス＝ 10.18.20.176、パソコンの日時＝ 2007/1/19 12:14:7、印刷データサイズ＝ 27322 バイト

■標準 MIB 対応オブジェクト一覧

本製品がサポートする標準 MIB の一覧です。

・「system グループ」（→ P.162）
・「interface グループ」（→ P.162）
・「at(address translation) グループ」（→ P.163）
・「ip グループ」（→ P.163）
・「ipAddrTable グループ」（→ P.163）
・「ipRoute グループ」（→ P.164）
・「ipNetToMedia グループ」（→ P.164）
・「その他の ip グループ」（→ P.164）
・「icmp グループ」（→ P.164）
・「tcp グループ」（→ P.165）
・「udp グループ」（→ P.165）
・「snmp グループ」（→ P.166）

☐ system グループ

表：標準 MIB:system グループ一覧

名称	オブジェクト識別子	SYNTAX(データタイプ)	ACCESS
sysDescr	system.1	DisplayString(OCTET STRING(0x04))	RO
sysObjectID	system.2	ObjectID(OBJECT IDENTIFIER(0x06))	RO
sysUpTime	system.3	TimeTicks(TimeTicks(0x43))	RO
sysContact	system.4	DisplayString(OCTET STRING(0x04))	RW
sysName	system.5	DisplayString(OCTET STRING(0x04))	RW
sysLocation	system.6	DisplayString(OCTET STRING(0x04))	RW
sysServices	system.7	INTEGER(0x02)	RO
sysORLastChange	system.8	TimeTicks(TimeTicks(0x43))	RO
sysORTable	system.9	SEQUENCE OF	NA
sysOREntry	sysORTable.1	SysOREntry	NA
sysORIndex	sysOREntry.1	INTEGER(0x02)	NA
sysORID	sysOREntry.2	ObjectID(OBJECT IDENTIFIER(0x06))	RO
sysORDescr	sysOREntry.3	DisplayString(OCTET STRING(0x04))	RO
sysORUpTime	sysOREntry.4	TimeTicks(TimeTicks(0x43))	RO

☐ interface グループ

表：標準 MIB:interface グループ一覧

名称	オブジェクト識別子	SYNTAX(データタイプ)	ACCESS
ifNumber	interfaces.1	INTEGER(0x02)	RO
ifTable	interfaces.2	SEQUENCE OF	NA
ifEntry	ifTable.1	ifEntry	NA
ifIndex	ifEntry.1	INTEGER(0x02)	RO
ifDescr	ifEntry.2	DisplayString(OCTET STRING(0x04))	RO
ifType	ifEntry.3	INTEGER(0x02)	RO
ifMtu	ifEntry.4	INTEGER(0x02)	RO
ifSpeed	ifEntry.5	Gauge(Gauge(0x42))	RO
ifPhysAddress	ifEntry.6	PhysAddress(OCTET STRING(0x04))	RO
ifAdminStatus	ifEntry.7	INTEGER(0x02)	RW
ifOperStatus	ifEntry.8	INTEGER(0x02)	RO
ifInOctets	ifEntry.10	Counter(0x41)	RO
ifInUcastPkts	ifEntry.11	Counter(0x41)	RO
ifInDiscards	ifEntry.13	Counter(0x41)	RO
ifInErrors	ifEntry.14	Counter(0x41)	RO
ifInUnknownProtos	ifEntry.15	Counter(0x41)	RO
ifOutOctets	ifEntry.16	Counter(0x41)	RO
ifOutUcastPkts	ifEntry.17	Counter(0x41)	RO
ifOutDiscards	ifEntry.19	Counter(0x41)	RO
ifOutErrors	ifEntry.20	Counter(0x41)	RO
ifOutQLen	ifEntry.21	Gauge(Gauge(0x42))	RO
ifSpecific	ifEntry.22	ObjectID(OBJECT IDENTIFIER(0x06))	RO

☐ at(address translation) グループ

表：標準 MIB:at(address translation) グループ一覧

名称	オブジェクト識別子	SYNTAX(データタイプ)	ACCESS
atTable	at.1	SEQUENCE OF	NA
atEntry	atTable.1	AtEntry	NA
atIfIndex	atEntry.1	INTEGER(0x02)	RO
atPhysAddress	atEntry.2	PhysAddress(OCTET STRING(0x04))	RO
atNetAddress	atEntry.3	NetworkAddress(IpAddress(0x40))	RO

☐ ip グループ

表：標準 MIB:ip グループ一覧

名称	オブジェクト識別子	SYNTAX(データタイプ)	ACCESS
ipForwarding	ip.1	INTEGER(0x02)	RW
ipDefaultTTL	ip.2	INTEGER(0x02)	RW
ipInReceives	ip.3	Counter(0x41)	RO
ipInHdrErrors	ip.4	Counter(0x41)	RO
ipInAddrErrors	ip.5	Counter(0x41)	RO
ipForwDatagrams	ip.6	Counter(0x41)	RO
ipInUnknownProtos	ip.7	Counter(0x41)	RO
ipInDiscards	ip.8	Counter(0x41)	RO
ipInDelivers	ip.9	Counter(0x41)	RO
ipOutRequests	ip.10	Counter(0x41)	RO
ipOutDiscards	ip.11	Counter(0x41)	RO
ipOutNoRoutes	ip.12	Counter(0x41)	RO
ipReasmTimeout	ip.13	INTEGER(0x02)	RO
ipReasmReqds	ip.14	Counter(0x41)	RO
ipReasmOKs	ip.15	Counter(0x41)	RO
ipReasmFails	ip.16	Counter(0x41)	RO
ipFragOKs	ip.17	Counter(0x41)	RO
ipFragFails	ip.18	Counter(0x41)	RO
ipFragCreates	ip.19	Counter(0x41)	RO

☐ ipAddrTable グループ

表：標準 MIB:ipAddrTable グループ一覧

名称	オブジェクト識別子	SYNTAX(データタイプ)	ACCESS
ipAddrTable	ip.20	SEQUENCE OF	NA
ipAddrEntry	ipAddrTable.1	ipAddrEntry	NA
ipAdEntAddr	ipAddrEntry.	IpAddress(0x40)	RO
ipAdEntIfIndex	ipAddrEntry.	INTEGER(0x02)	RO
ipAdEntNetMask	ipAddrEntry.	IpAddress(0x40)	RO
ipAdEntBcastAddr	ipAddrEntry.	INTEGER(0x02)	RO
ipAdEntReasmMaxSize	ipAddrEntry.	INTEGER(0x02)	RO

☐ ipRoute グループ

表：標準 MIB:ipRoute グループ一覧

名称	オブジェクト識別子	SYNTAX(データタイプ)	ACCESS
ipRouteTable	ip.21	SEQUENCE OF	NA
ipRouteEntry	ipRouteTable.1	ipRouteEntry	NA
ipRouteDest	ipRouteEntry.1	IpAddress(0x40)	RW
ipRouteIfIndex	ipRouteEntry.2	INTEGER(0x02)	RW
ipRouteMetric1	ipRouteEntry.3	INTEGER(0x02)	RW
ipRouteNextHop	ipRouteEntry.7	IpAddress(0x40)	RW
ipRouteType	ipRouteEntry.8	INTEGER(0x02)	RW
ipRouteProto	ipRouteEntry.9	INTEGER(0x02)	RO
ipRouteAge	ipRouteEntry.10	INTEGER(0x02)	RW
ipRouteMask	ipRouteEntry.11	IpAddress(0x40)	RW
ipRouteInfo	ipRouteEntry.13	ObjectID(OBJECT IDENTIFIER(0x06))	RO

☐ ipNetToMedia グループ

表：標準 MIB:ipNetToMedia グループ一覧

名称	オブジェクト識別子	SYNTAX(データタイプ)	ACCESS
ipNetToMediaTable	ip.22	SEQUENCE OF	NA
ipNetToMediaEntry	ipNetToMediaTable.1	ipNetToMediaEntry	NA
ipNetToMediaIfIndex	ipNetToMediaEntry.1	INTEGER(0x02)	RO
ipNetToMediaPhysAddress	ipNetToMediaEntry.2	PhysAddress(OCTET STRING(0x04))	RO
ipNetToMediaNetAddress	ipNetToMediaEntry.3	IpAddress(0x40)	RO
ipNetToMediaType	ipNetToMediaEntry.4	Integer(INTEGER(0x02))	RO

☐ その他の ip グループ

表：標準 MIB: その他の ip グループ一覧

名称	オブジェクト識別子	SYNTAX(データタイプ)	ACCESS
ipRoutingDiscards	ip.23	Counter(0x41)	RO

☐ icmp グループ

表：標準 MIB:icmp グループ一覧

名称	オブジェクト識別子	SYNTAX(データタイプ)	ACCESS
icmpInMsgs	icmp.1	Counter(0x41)	RO
icmpInErrors	icmp.2	Counter(0x41)	RO
icmpInDestUnreachs	icmp.3	Counter(0x41)	RO
icmpInTimeExcds	icmp.4	Counter(0x41)	RO
icmpInParmProbs	icmp.5	Counter(0x41)	RO
icmpInSrcQuenchs	icmp.6	Counter(0x41)	RO
icmpInRedirects	icmp.7	Counter(0x41)	RO
icmpInEchos	icmp.8	Counter(0x41)	RO
icmpInEchoReps	icmp.9	Counter(0x41)	RO
icmpInTimestamps	icmp.10	Counter(0x41)	RO
icmpInTimestampReps	icmp.11	Counter(0x41)	RO
icmpInAddrMasks	icmp.12	Counter(0x41)	RO
icmpInAddrMaskReps	icmp.13	Counter(0x41)	RO
icmpOutMsgs	icmp.14	Counter(0x41)	RO
icmpOutErrors	icmp.15	Counter(0x41)	RO
icmpOutDestUnreachs	icmp.16	Counter(0x41)	RO

表：標準 MIB:icmp グループ一覧

名称	オブジェクト識別子	SYNTAX(データタイプ)	ACCESS
icmpOutTimeExcds	icmp.17	Counter(0x41)	RO
icmpOutParmProbs	icmp.18	Counter(0x41)	RO
icmpOutSrcQuenchs	icmp.19	Counter(0x41)	RO
icmpOutRedirects	icmp.20	Counter(0x41)	RO
icmpOutEchos	icmp.21	Counter(0x41)	RO
icmpOutEchoReps	icmp.22	Counter(0x41)	RO
icmpOutTimestamps	icmp.23	Counter(0x41)	RO
icmpOutTimestampReps	icmp.24	Counter(0x41)	RO
icmpOutAddrMasks	icmp.25	Counter(0x41)	RO
icmpOutAddrMaskReps	icmp.26	Counter(0x41)	RO

☐ tcp グループ

表：標準 MIB:tcp グループ一覧

名称	オブジェクト識別子	SYNTAX(データタイプ)	ACCESS
tcpRtoAlgorithm	tcp.1	INTEGER(0x02)	RO
tcpRtoMin	tcp.2	INTEGER(0x02)	RO
tcpRtoMax	tcp.3	INTEGER(0x02)	RO
tcpMaxConn	tcp.4	INTEGER(0x02)	RO
tcpActiveOpens	tcp.5	Counter(0x41)	RO
tcpPassiveOpens	tcp.6	Counter(0x41)	RO
tcpAttemptFails	tcp.7	Counter(0x41)	RO
tcpEstabResets	tcp.8	Counter(0x41)	RO
tcpCurrEstab	tcp.9	Gauge(0x42)	RO
tcpInSegs	tcp.10	Counter(0x41)	RO
tcpOutSegs	tcp.11	Counter(0x41)	RO
tcpRetransSegs	tcp.12	Counter(0x41)	RO
tcpConnTable	tcp.13	SEQUENCE OF	NA
tcpConnEntry	tcpConnTable.1	tcpConnEntry	NA
tcpConnState	tcpConnEntry.1	INTEGER(0x02)	RO
tcpConnLocalAddress	tcpConnEntry.2	IpAddress(0x40)	RO
tcpConnLocalPort	tcpConnEntry.3	INTEGER(0x02)	RO
tcpConnRemAddress	tcpConnEntry.4	IpAddress(0x40)	RO
tcpConnRemPort	tcpConnEntry.5	INTEGER(0x02)	RO
tcpInErrs	tcp.14	Counter(0x41)	RO
tcpOutRsts	tcp.15	Counter(0x41)	RO

☐ udp グループ

表：標準 MIB:udp グループ一覧

名称	オブジェクト識別子	SYNTAX(データタイプ)	ACCESS
udpInDatagrams	udp.1	Counter(0x41)	RO
udpNoPorts	udp.2	Counter(0x41)	RO
udpInErrors	udp.3	Counter(0x41)	RO
udpOutDatagrams	udp.4	Counter(0x41)	RO
udpTable	udp.5	SEQUENCE OF	NA
udpEntry	udpTable.1	udpEntry	NA
udpLocalAddress	udpEntry.1	IpAddress(0x40)	RO
udpLocalPort	udpEntry.2	INTEGER(0x02)	RO

□ snmp グループ

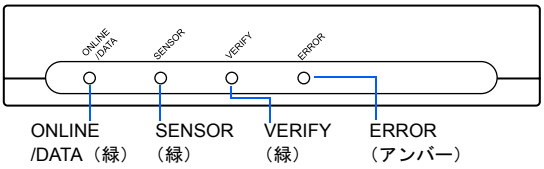
表：標準 MIB:snmp グループ一覧

名称	オブジェクト識別子	SYNTAX(データタイプ)	ACCESS
snmpInPkts	snmp.1	Counter(0x41)	RO
snmpOutPkts	snmp.2	Counter(0x41)	RO
snmpInBadVersions	snmp.3	Counter(0x41)	RO
snmpInBadCommunityNames	snmp.4	Counter(0x41)	RO
snmpInBadCommunityUses	snmp.5	Counter(0x41)	RO
snmpInASNParseErrs	snmp.6	Counter(0x41)	RO
snmpInTooBigs	snmp.8	Counter(0x41)	RO
snmpInNoSuchNames	snmp.9	Counter(0x41)	RO
snmpInBadValues	snmp.10	Counter(0x41)	RO
snmpInReadOnlys	snmp.11	Counter(0x41)	RO
snmpInGenErrs	snmp.12	Counter(0x41)	RO
snmpInTotalReqVars	snmp.13	Counter(0x41)	RO
snmpInTotalSetVars	snmp.14	Counter(0x41)	RO
snmpInGetRequests	snmp.15	Counter(0x41)	RO
snmpInGetNexts	snmp.16	Counter(0x41)	RO
snmpInSetRequests	snmp.17	Counter(0x41)	RO
snmpInGetResponses	snmp.18	Counter(0x41)	RO
snmpInTraps	snmp.19	Counter(0x41)	RO
snmpOutTooBigs	snmp.20	Counter(0x41)	RO
snmpOutNoSuchNames	snmp.21	Counter(0x41)	RO
snmpOutBadValues	snmp.22	Counter(0x41)	RO
snmpOutGenErrs	snmp.24	Counter(0x41)	RO
snmpOutGetRequests	snmp.25	Counter(0x41)	RO
snmpOutGetNexts	snmp.26	Counter(0x41)	RO
snmpOutSetRequests	snmp.27	Counter(0x41)	RO
snmpOutGetResponses	snmp.28	Counter(0x41)	RO
snmpOutTraps	snmp.29	Counter(0x41)	RO
snmpEnableAuthenTraps	snmp.30	INTEGER(0x02)	RW
snmpSilentDrops	snmp.31	Counter(0x41)	RO
snmpProxyDrops	snmp.32	Counter(0x41)	RO

3 ステータスランプ表示一覧

本体前面にあるステータスランプの表示と意味を説明します。

■点灯／点滅状態の詳細



□ 初期化中の状態

表：初期化中のステータスランプの状態と意味

ステータスランプの状態				意味（エラーに対する対処）
ONLINE/DATA	SENSOR	VERIFY	ERROR	
点灯 ●	点灯 ●	点灯 ●	点灯 ●	システムの初期化開始
点灯 ●	点灯 ●	点灯 ●	消灯 ●	ブートローダ処理完了
点灯 ●	点灯 ●	消灯 ●	消灯 ●	システムのロード開始
点滅 ☀	点滅 ☀	点滅 ☀	点滅 ☀	初期化時検出エラー（ハード異常） 初期化時検出エラーは次の種類があり、ランプの点滅回数で内容を識別します。 1 回点滅：RAM 異常 2 回点滅：EEPROM 異常 3 回点滅：FlashROM 異常 4 回点滅：PHY 異常 5 回点滅：USB 異常 注：エラー中は、「0.5 秒間隔で上記回数点滅」→「2 秒消灯」のパターンを繰り返します。 ・対処:「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。「富士通ハードウェア修理相談センター」については、『はじめにお読みください』をご覧ください。

表：初期化中のステータスランプの状態と意味

ステータスランプの状態				意味 （エラーに対する対処）
ONLINE/DATA	SENSOR	VERIFY	ERROR	
点滅	点滅	消灯	点滅	初期化時検出エラー（ファームウェア異常） ・対処:「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。「富士通ハードウェア修理相談センター」については、『はじめにお読みください』をご覧ください。
点滅	点滅	点滅	消灯	設定の初期化完了（0.5 秒間隔で 3 回点滅後、準備完了になります）。 初期化については、「ご購入時の状態に戻すには」（→ P.171）をご覧ください。

□ 装置起動中の状態

表：装置起動中のステータスランプの状態と意味

ステータスランプの状態				意味 （エラーに対する対処）
ONLINE/DATA	SENSOR	VERIFY	ERROR	
点灯	消灯	消灯	消灯	準備完了または印刷完了
点滅	消灯	消灯	消灯	印刷受付完了（指紋入力待ち）
点灯	点滅	消灯	消灯	指紋特徴点検出中
点灯	点灯	消灯	消灯	指紋特徴点検出正常終了
点灯	点灯	点滅	消灯	ユーザー照合中
点灯	点灯	点灯	消灯	ユーザー照合正常終了
点滅	点灯	点灯	消灯	印刷中
点灯	点滅	消灯	点灯	指紋入力エラー ・対処：ブザーの音が止まってから、もう一度指をスライドしてください。何度も本エラーが発生する場合は、「SecureLoginPrint Internet Service」でエラー内容を確認し、再度指紋入力してください。

表：装置起動中のステータスランプの状態と意味

ステータスランプの状態				意味 （エラーに対する対処）
ONLINE/ DATA	SENSOR	VERIFY	ERROR	
点灯 ●	点灯 ●	点滅 ☀	点灯 ●	照合エラー ・対処：入力した指を間違えていないか確認してください。何度も本エラーが発生する場合は、「SecureLoginPrint Internet Service」でエラー内容を確認し、登録済みのユーザーかどうかなどを確認してください。
点滅 ☀	点灯 ●	点灯 ●	点灯 ●	印刷エラー ・対処：プリンタがオフラインになっている、または「用紙なし」などのエラーが発生しています。プリンタのオペレータパネルを確認しエラーを解除してください。
点滅 ☀	消灯 ●	消灯 ●	点灯 ●	プリンタ未接続エラー ・対処:プリンタの電源が入っているか、または正しく接続されているか確認してください。
消灯 ●	点滅 ☀	消灯 ●	点灯 ●	指紋センサー未接続エラー ・対処：指紋センサーが正しく接続されているか確認してください。
点滅 ☀	点滅 ☀	消灯 ●	点灯 ●	未サポート USB デバイス接続 ・対処：接続されている装置が、本製品でサポートされているものか確認してください。USB コネクタには、添付の指紋センサーおよびプリンタ以外は接続しないでください。
消灯 ●	消灯 ●	消灯 ●	点灯 ●	システムエラー ・対処：本体の電源ケーブルをコンセントから抜き、再度接続して電源を入れ直してください。現象が改善しない場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。「富士通ハードウェア修理相談センター」については、『はじめにお読みください』をご覧ください。

表：装置起動中のステータスランプの状態と意味

ステータスランプの状態				意味 （エラーに対する対処）
ONLINE/ DATA	SENSOR	VERIFY	ERROR	
（次の3つのパターンで上から順に繰り返し表示）				IP アドレス重複エラー ・対処：ネットワーク上の他の装置と IP アドレスが重複していないか確認してください。
消灯 ●	消灯 ●	消灯 ●	点灯 ●	
↓				
消灯 ●	消灯 ●	点灯 ●	点灯 ●	
↓				
消灯 ●	点灯 ●	点灯 ●	点灯 ●	

□ その他の状態

表：その他のステータスランプの状態と意味

ステータスランプの状態				意味
ONLINE/ DATA	SENSOR	VERIFY	ERROR	
点滅	消灯 ●	点滅	消灯 ●	「SecureLoginPrint Internet Service」－「保守機能（管理者モード）」の「ファームウェアの更新」の実行中
点滅	点滅	点滅	消灯 ●	ファームウェア更新完了

4 ご購入時の状態に戻すには

本製品の設定をご購入時の状態に戻したい場合は、次の方法で初期化できます。

■「SecureLoginPrint Internet Service」画面から初期化

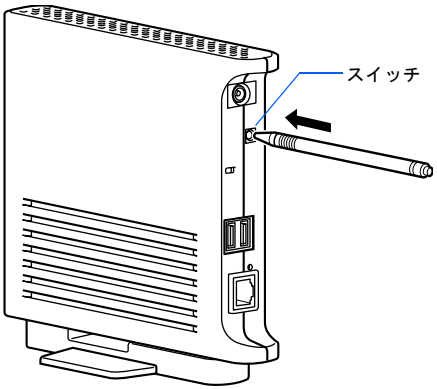
「SecureLoginPrint Internet Service」の「保守機能」メニューから初期化できます。「保守機能（管理者モードのみ）」（→ P.124）をご覧ください。

■本体背面のスイッチで初期化

初期化するには、本体背面のスイッチをボールペンの先などで押したまま、AC アダプタを接続して電源を入れてください。

重要

・「ONLINE/DATA」、「SENSOR」、「VERIFY」の 3 つのランプが 3 回点滅するまで、スイッチは押したままにしてください。



設定の初期化が正常に行われると、「ONLINE/DATA」、「SENSOR」、「VERIFY」の 3 つのランプが 3 回点滅します。その後、「ONLINE/DATA」ランプが点灯し、準備完了になります（「ステータスランプ表示一覧」（→ P.167）参照）。

POINT

・設定の初期化が完了するまで、約 50 秒かかります。
・本製品の IP アドレスを手動設定していた場合などは、初期化後に IP アドレスを再設定してください（→ P.21）。

5 指紋センサーの使い方

指紋の登録や認証を行う場合は、次のように指をスライドさせてください。認証の失敗を減らすことができます。

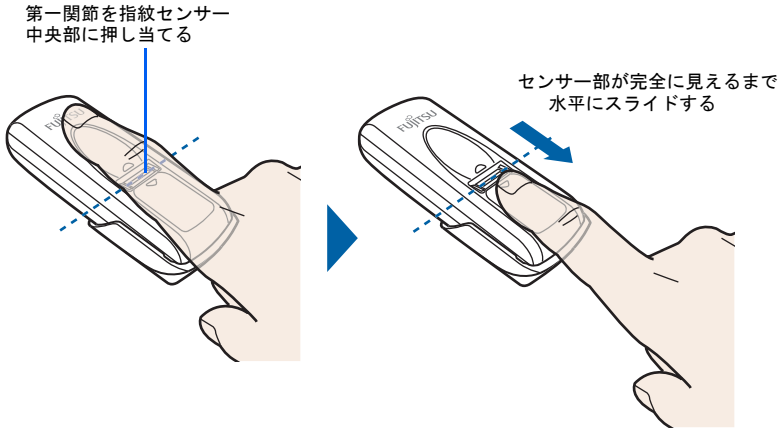
スライドのさせ方

1 操作する指の第一関節が、指紋センサーの中央部に当たるように準備します。

第一関節より先の部分が読み取り範囲となります。

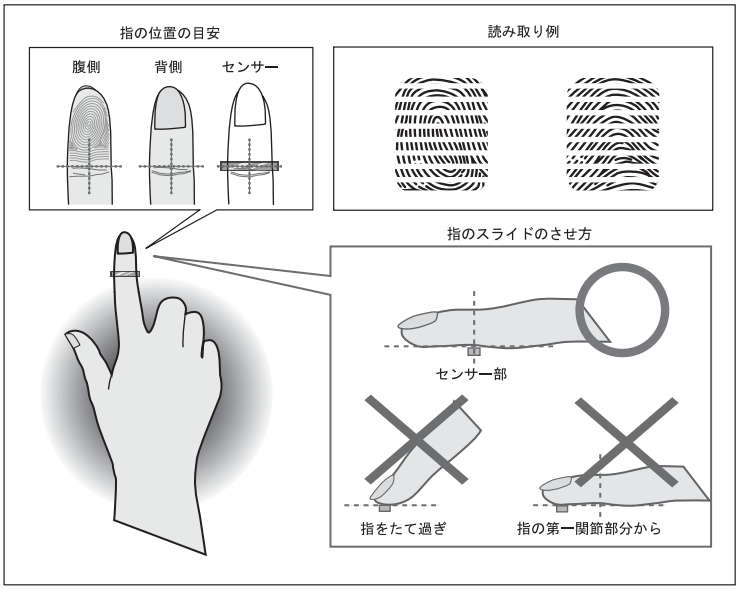


2 第一関節を指紋センサー中央部に押し当てると同時に指を動かし、センサー部が完全に見えるまで水平にスライドします。

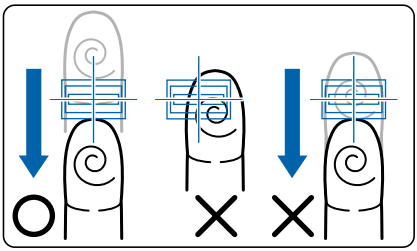


重要

・正しく指紋を読み取らせるため、次の図のように指を置いてください。

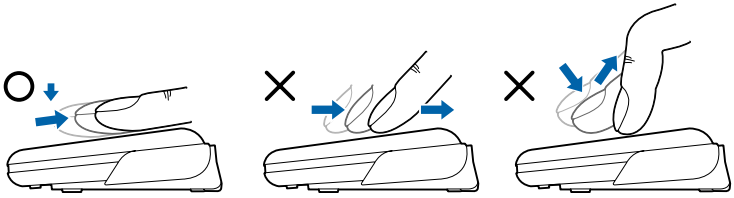


・うまく認識されないときは
次の点に気を付けて操作してください。
・指の第一関節より先の部分が、指紋センサー上を通過するようにする
・指紋の渦の中心が、指紋センサーの中心を通過するようにする
・1 秒程度で通過するくらいの速さで、スーッと動かす



なお、親指など、指紋の渦の中心を合わせにくい指は、うまく認識できないことがあります。
その際は、中心を通過させやすい指を登録してください。

・指を突き立てたり、引っかけるようにスライドさせたりしないでください
指紋センサーに指のはら（指紋の中心部）が接触していなかったり、指を引っかけるようにスライドさせたりすると指紋の読み取りがうまくいかない場合があります。
必ず、指のはら（指紋の中心部）が指紋センサーに接触するようにスライドさせてください。



（イラストは機種や状況により異なります）

・指紋の読み取りがうまくいかない場合
・指のスライドが速すぎたり遅すぎたりした場合、正常に認識できないことがあります。ウィンドウのメッセージに従って、スライドの速さを調節してください。
・指紋センサーの設置場所の状態によっては、指をスライドさせたときに指紋センサーが滑ることがあります。このような場合には指紋センサー底面のラバーが密着しやすい場所で操作するか、他方の手で指紋センサーを押さえながら操作してください。

使用上の注意

■指紋センサーのセンサー部の清掃について

・指紋センサーのセンサー部は直接指で触れる部分であるため、汚れやすくなっています。センサー表面が汚れていると、指紋の読み取りが困難になったり、照合率が低下したりすることがありますので、ときどき清掃を行ってください。清掃の際には、乾いた柔らかい布でセンサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。
・清掃の際に、センサー表面に水などの液体をたらさないでください。また、ベンジンなどの揮発性有機溶剤や化学雑巾は使用しないでください。
・指紋の登録失敗や照合失敗が頻発するときには、センサー表面を清掃してください。
・清掃の際に、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は使用しないでください。

■指紋登録時／照合時のご注意

・指紋の登録や照合を行うときには、「スライドのさせ方」（→ P.172）をご覧になり、指紋センサー上で正しく指をスライドさせてください。指が正しく置かれていないと、指紋を読み取ることが困難になったり、照合率が低下したりすることがあります。
・指紋センサーの設置場所の状態によっては、指をスライドさせたときに指紋センサーが滑ることがあります。このような場合には指紋センサー底面のラバーが密着しやすい場所で操作するか、他方の手で指紋センサーを押さえながら操作してください。

・指の状態が次のような場合には、指紋の登録や照合が困難になったり、照合率が低下したりすることがあります。
- 汗や脂が多い
- 手が荒れたり、極端に乾燥したりしている
- 指に傷がある、または磨耗して指紋が薄い
- 急に太ったり、やせたりして指紋が変化した

手を洗う、手を拭う、登録する指を変えるなどお客様の指の状態に合わせて対処することで、状況が改善されることがあります。

■指紋センサーをパソコンに接続するときのご注意

・USB ハブに接続する場合は、自己電源を持っているハブ（AC アダプタなどで電源が供給されるタイプ）に接続し、直列接続は 2 段以内にしてください。
・1 台のパソコンに、指紋センサーを複数台接続しないでください。また、本製品添付の指紋センサーと別売の指紋センサーおよびパソコン内蔵指紋センサーを同時に使用することはできません。

■その他のご注意

・指紋認識技術は完全な本人認識・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、いっさい責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品はパソコン・プリンタ用周辺機器として設計されております。人命に関わる用途、または高度な信頼性、安全性を要する用途での使用は考慮されておりません。このような用途で使用される設備、機器、システムなどへの組み込みは避けてください。

索引

I

IP アドレス設定
　1 台ずつ設定 24
　複数台まとめて設定 29
IP アドレス設定ユーティリティ . . 9, 11, 22

S

SecureLoginBox 連携認証モード 16
　印刷手順 72
SecureLoginPrint Internet Service 98
　画面例 103
　起動 82, 101
　設定項目 99, 105
　動作環境 98
SecureLoginPrint JobService 81
　起動 82
　状態確認 82
SecureLoginPrint Port 11, 74
　構成ウィンドウ 76, 77
　ポートの削除 78
　ポートの詳細設定 74
　ポートの追加 60
SecureLoginPrint エージェント 81
　起動 82
SecureLoginPrint ジョブマネージャ 86
　画面例 88
　起動 86
SecureLoginPrint ソフトウェア 10, 11
　コンポーネントの変更／修正／削除 . . 54
　新規インストール 40
SecureLoginPrint ユーティリティ 9
SNMP 情報 113
SYSLOG 122

T

TCP/IP 情報 112

U

USB ステータス 109

W

Web サーバー機能 98

あ行

アクセス制御 116
　設定方法 116
アンインストール
　SecureLoginPrint ソフトウェア 54
暗号化方式 120
印刷手順 69
　SecureLoginBox 連携認証モード . . . 72
　シングル認証モード 69
　ダブル認証モード 71
印刷ポート番号 76, 113
インストール
　SecureLoginPrint ソフトウェアの
　更新インストール 54
　SecureLoginPrint ソフトウェアの
　新規インストール 40
　作業全体の流れ 13
　指紋センサードライバ 34
　ドライバの確認 36
迂回印刷 129
　設定 128
エラーメッセージ 109
エラー履歴 110

か行

管理者 18
　登録 44
　認証 58
　パスワードの変更 119
　変更 92
基本情報 112
検索
　IP アドレス設定時 25
　ポート追加時 65
コミュニティ名 114
コンポーネントの再インストール 58
コンポーネントの削除 58
コンポーネントの変更 56

さ行

サーバー証明書 121
再起動 125
システム時刻 121
システム情報 120
指紋センサードライバ 9, 12
　インストール 34
　インストール後の確認 36
指紋入力
　指紋センサーの使い方 172
　入力時の注意点 173
指紋の登録 45
情報 114
情報更新設定 111
初期化 125, 171
ジョブの一覧表示・削除 86
シングル認証モード 14
　印刷手順 69
スイッチ 171
ステータスランプ 167
　印刷時の動き 69
接続クライアント一覧 110
設定の初期化 125, 171
装置エラー履歴保存 124
装置情報 109
装置ステータス 109
装置バージョン 123

た行

ダブル認証モード 15
　印刷手順 71
トラップ通知先 114

な行

認証方式 14
　SecureLoginBox 連携認証モード . . . 16
　シングル認証モード 14
　ダブル認証モード 15
ネットワークサービス 115
ネットワークサービス設定 115

は行

バージョン情報 123
ファームウェアの更新 126
ブザー 121
ポートの削除 78
ポートの詳細設定 74
ポートの追加 60
保守機能 124

ま行

メッセージ 148

ら行

ログ情報 122

Memo

Printia LASER XL シリーズ
認証印刷ユニット SecureLoginPrint（XL-SE100F）
ユーザーズガイド

B5WY-1191-03 Z0-00

発 行 日　2008 年 1 月
発行責任　富士通株式会社

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。